

富加町  
高齢者福祉に関するアンケート調査・  
在宅介護実態調査  
調査結果報告書

令和5年3月  
富加町



# 目 次

## I 調査の概要

1 調査の目的 .....	1
2 調査の対象及び調査方法 .....	1
3 調査の実施時期 .....	1
4 配布・回収の結果 .....	1
5 報告書の表記及び注意点について .....	2

## II 高齢者福祉に関するアンケート調査

1 はじめに .....	3
(1) 調査票記入者 .....	3
(2) 地区 .....	3
(3) 性別 .....	4
(4) 年齢 .....	5
2 あなたのご家族や生活状況について .....	6
(1) 家族構成 .....	6
(2) 普段、介護・介助が必要か .....	6
(3) 介護・介助が必要になった主な原因 .....	7
(4) 主な介護者 .....	8
(5) 現在の暮らしの状況 .....	9
(6) 一戸建てか集合住宅か .....	9
3 からだを動かすことについて .....	10
(1) 日常の生活動作 .....	10
(2) 運動器の機能低下について .....	11
(3) 転倒リスクについて .....	13
(4) 外出について .....	14
(5) 閉じこもり傾向について .....	15
(6) 外出回数 .....	17
(7) 外出を控えているか .....	17
(8) 外出を控える理由 .....	18
(9) 外出する際の移動手段 .....	19
(10) 外出する際の困りごと .....	20
(11) 高齢者移動支援事業について .....	21
4 食べることについて .....	22
(1) 本人の身長、体重 .....	22
(2) 口腔・栄養 .....	23
(3) 咀嚼機能の低下 .....	24
(4) 口腔機能の低下について .....	25
(5) 低栄養状態について .....	26
(6) 歯磨きについて .....	27
(7) 入れ歯について .....	28
(8) 入れ歯の手入れ .....	28
(9) 噛み合わせ .....	29
(10) どなたかと食事をとる機会があるか .....	29
5 毎日の生活について .....	30
(1) 物忘れについて .....	30
(2) 認知機能の低下について .....	31
(3) 日常生活の状況 .....	33

(4) IADLの低下について	34
(5) 社会参加の状況	36
(6) 知的能動性の低下について	37
(7) 社会的役割の低下について	39
(8) 趣味について	41
(9) 生きがいについて	41
6 地域での活動について	42
(1) グループ活動等の参加頻度	42
(2) 社会参加について	43
7 たすけあいについて	44
(1) 「たすけあい」について	44
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手	45
(3) 友人関係について	46
8 健康について	48
(1) 健康状態について	48
(2) 現在どの程度幸せか	49
(3) こころの健康について	50
(4) うつ傾向について	51
(5) 飲酒について	53
(6) 喫煙について	53
(7) 治療中、または後遺症のある病気	54
9 認知症への対応について	55
(1) 認知症状の有無	55
(2) 認知症の相談窓口	55
(3) 認知症について知りたいこと	56
10 地域生活とその支援について	57
(1) 近所づきあい	57
(2) 不安に思っていること	58
(3) 高齢者を地域で支える生活支援	59
11 ボランティア活動への参加について	60
(1) ボランティア活動への参加について	60
(2) できること、やってみたいこと	62
12 在宅医療・終末期医療について	63
(1) 人生の最期を迎えたい場所について	63
(2) 在宅医療について	63
(3) 人生会議（ACP）について	64
13 町施策について	65
(1) 参加したい介護予防事業	65
(2) 介護保険サービスの費用負担について	66
(3) 町がちからを入れるべきこと	67

### Ⅲ 在宅介護実態調査

1 A票 調査対象者本人について	69
(1) 調査票記入者	69
(2) 世帯	69
(3) 性別	70
(4) 年齢	71
(5) 要介護度	71
(6) 現在抱えている傷病について	72
(7) 介護保険サービスを利用について	73
(8) 介護保険サービスを利用状況について	74
(9) 介護保険サービスを利用していない理由	75
(10) 施設等への入所・入居の検討状況	76

(11) 施設整備のあり方について .....	76
(12) 訪問診療について .....	77
(13) 「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて.....	78
(14) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて.....	79
(15) 今後改善してほしい支援・サービスについて.....	80
(16) 介護保険料について .....	81
(17) これからの生活について .....	82
(18) 町がちからを入れるべきこと .....	83
(19) ご家族やご親族の方からの介護について.....	84
<b>2 主な介護者について .....</b>	<b>85</b>
(1) 介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるか.....	85
(2) 主な介護者 .....	86
(3) 主な介護者の性別 .....	86
(4) 主な介護者の年齢 .....	87
(5) 主な介護者の方が行っている介護等について.....	88
(6) 主な介護者の方が不安を感じる介護等について.....	89
(7) 主な介護者の方の現在の勤務形態について.....	90
(8) 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしたか.....	91
(9) 仕事と介護の両立に効果がある支援について.....	92
(10) 今後も働きながら介護を続けていけそうか.....	93



# I 調査の概要





# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、高齢者の日常生活の実態や健康状態、介護保険制度に対する意見・要望等を把握し、令和5年度に見直しを行う本町の「第9期富加町介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画」策定の基礎資料とすることを目的としています。

## 2 調査の対象及び調査方法

種 類	高齢者福祉に関するアンケート調査	在宅介護実態調査
調査対象	町内在住の要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者	町内在住の要介護認定を受けられている方の中で在宅サービスを受けている高齢者
調査方法	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収

## 3 調査の実施時期

種 類	高齢者福祉に関するアンケート調査	在宅介護実態調査
実施時期	令和5年1月から2月まで	令和5年1月から2月まで

## 4 配布・回収の結果

種 類	高齢者福祉に関するアンケート調査	在宅介護実態調査
発送数	1,554	142
回収数	1,086	78
有効回答数	1,086	78
有効回収率	69.9%	54.9%

※有効回収数・・・回収された調査票を精査し、白票や回答が著しく少なかったものを除いた数

## 5 報告書の表記及び注意点について

1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（％）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表しています。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「回答者」と表記し、その数を表しています。

## Ⅱ 高齢者福祉に関するアンケート調査

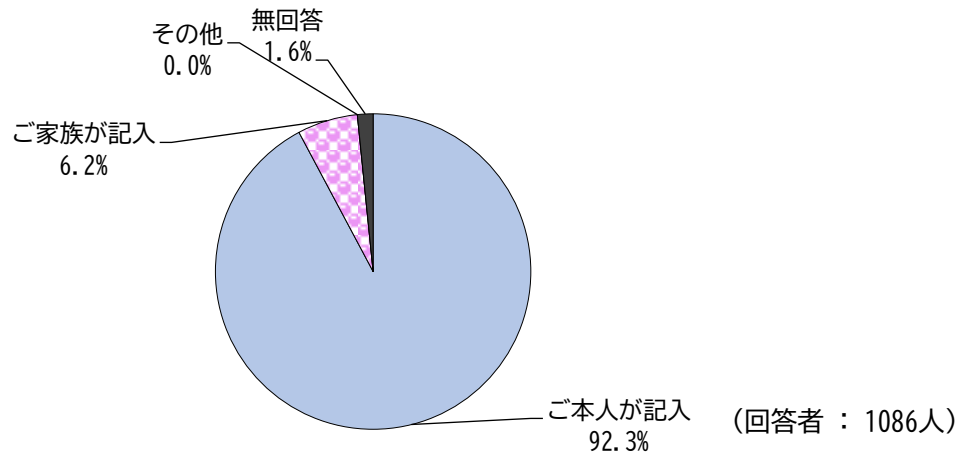


## Ⅱ 高齢者福祉に関するアンケート調査

### 1 はじめに

#### (1) 調査票記入者

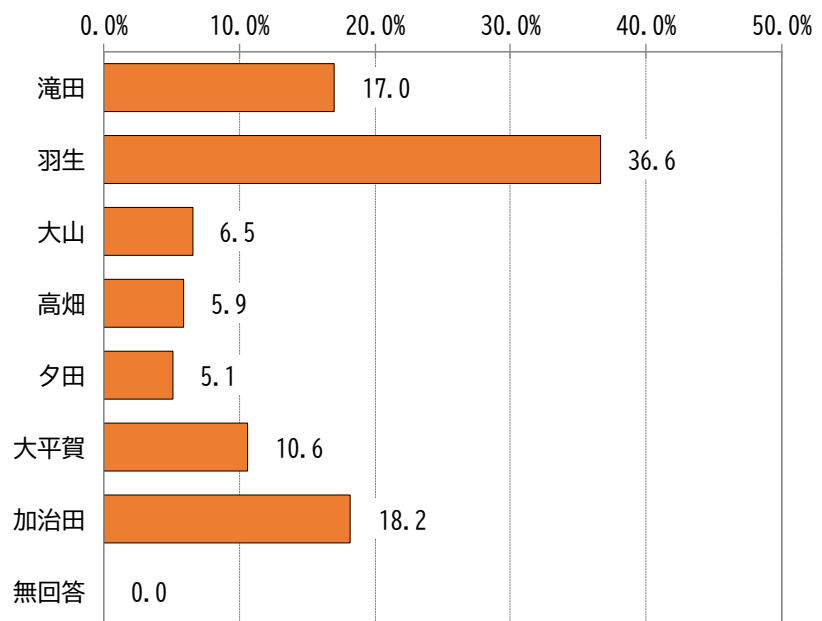
問1 調査票をご記入いただくのはどなたですか。(○は1つ)



調査票の記入者は、「ご本人が記入」が92.3%、「ご家族が記入」が6.2%となっています。

#### (2) 地区

問2 お住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

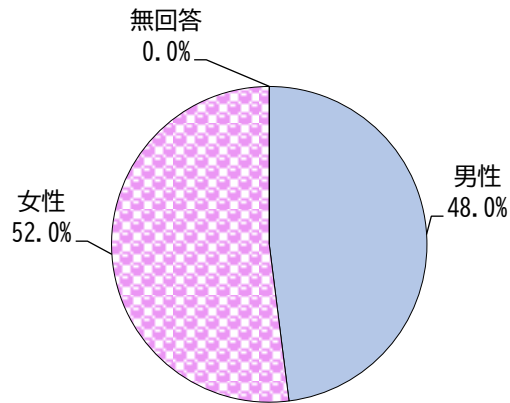


(回答者：1086人)

居住地区は、「羽生」が36.6%と最も多く、次いで「加治田」(18.2%)、「滝田」(17.0%)、「大平賀」(10.6%)と続いています。

### (3) 性別

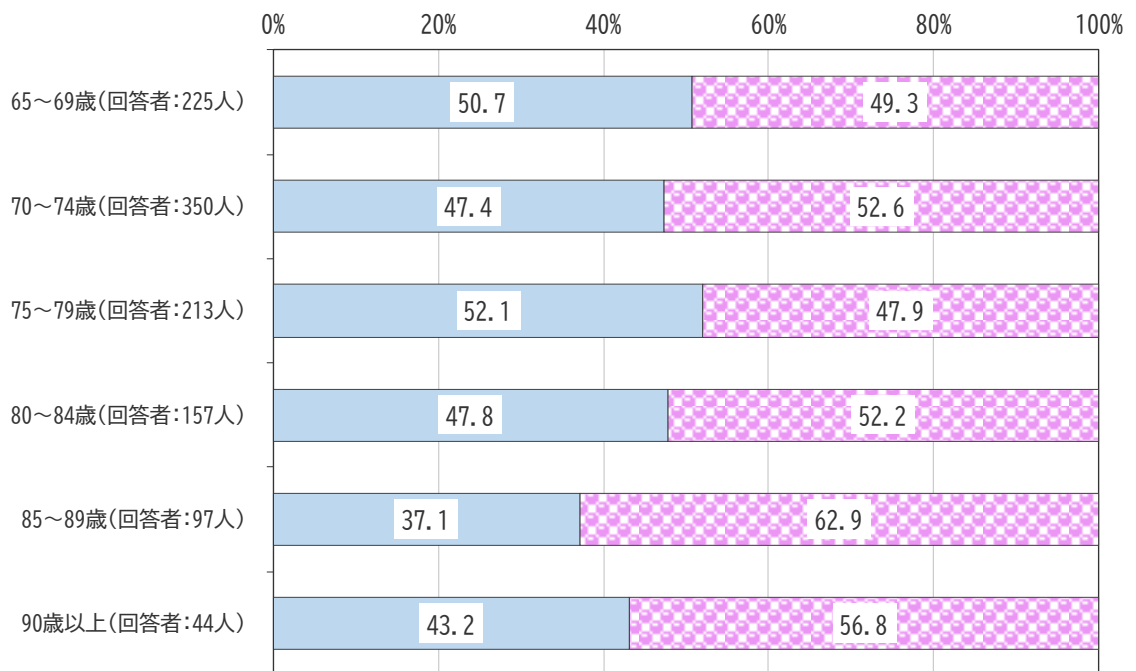
問3 ご本人の性別はどちらですか。(○は1つ)



(回答者 : 1086人)

性別は、「男性」が48.0%、「女性」が52.0%となっています。

#### ●年齢別男女比



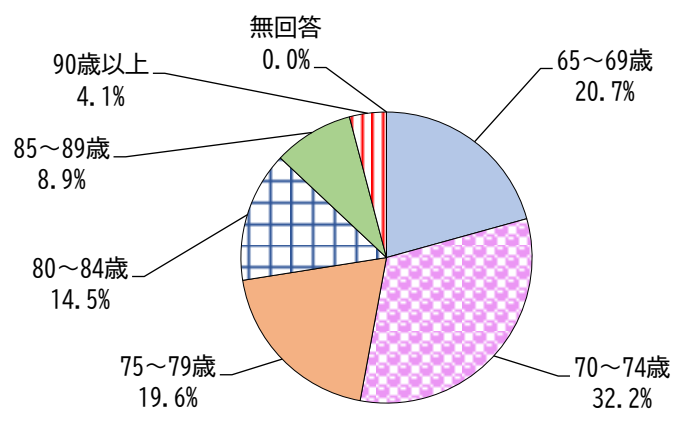
■男性

■女性

■無回答

## (4) 年齢

問4 ご本人の年齢は何歳ですか。(○は1つ)

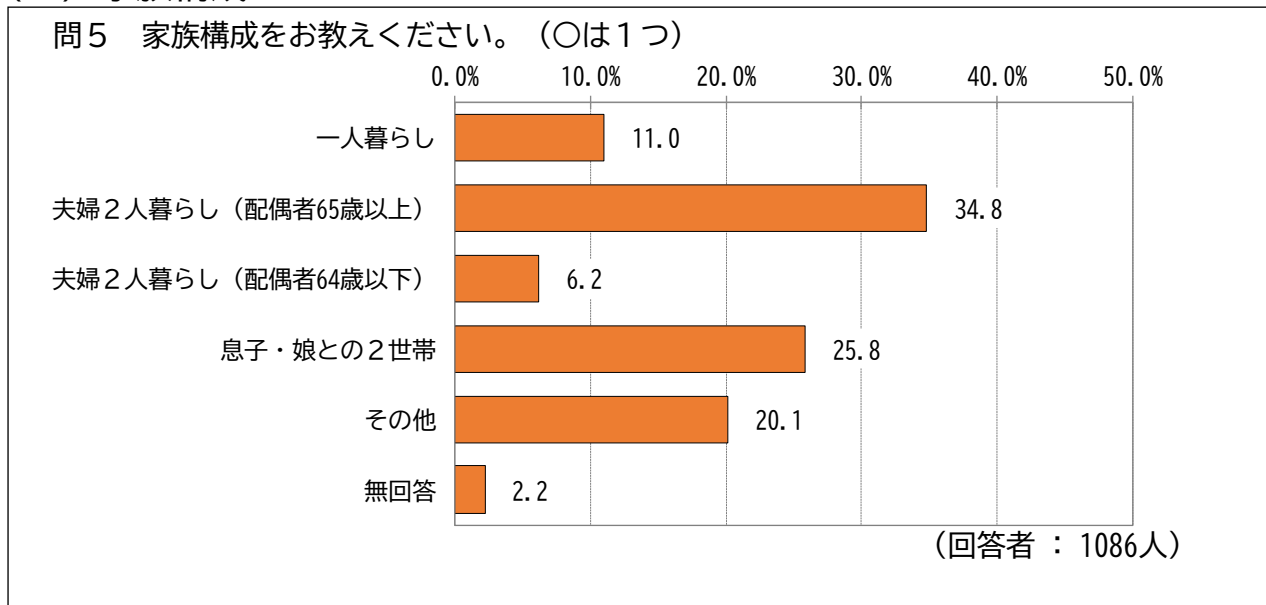


(回答者：1086人)

年齢は、「70～74歳」が32.2%で最も多く、次いで「65～69歳」(20.7%)、「75～79歳」(19.6%)、「80～84歳」(14.5%)、「85～89歳」(8.9%)、「90歳以上」(4.1%)となっています。

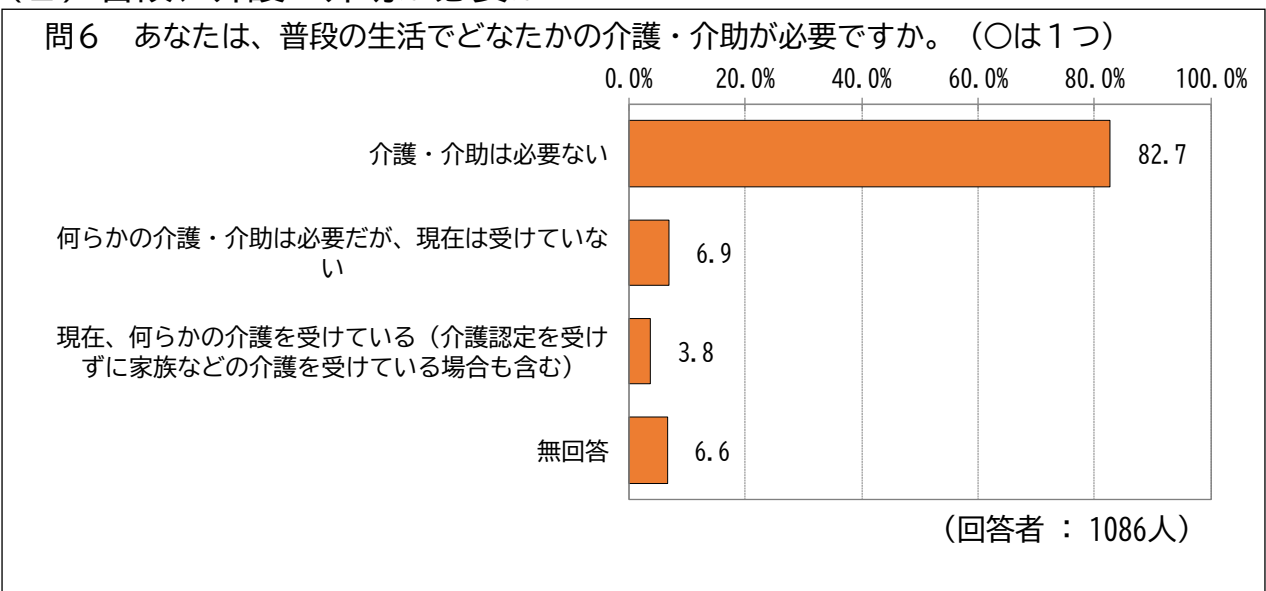
## 2 あなたのご家族や生活状況について

### (1) 家族構成



家族構成は、「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」が34.8%と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」(25.8%)、「1人暮らし」(11.0%)、「夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)」(6.2%)となっています。

### (2) 普段、介護・介助が必要か

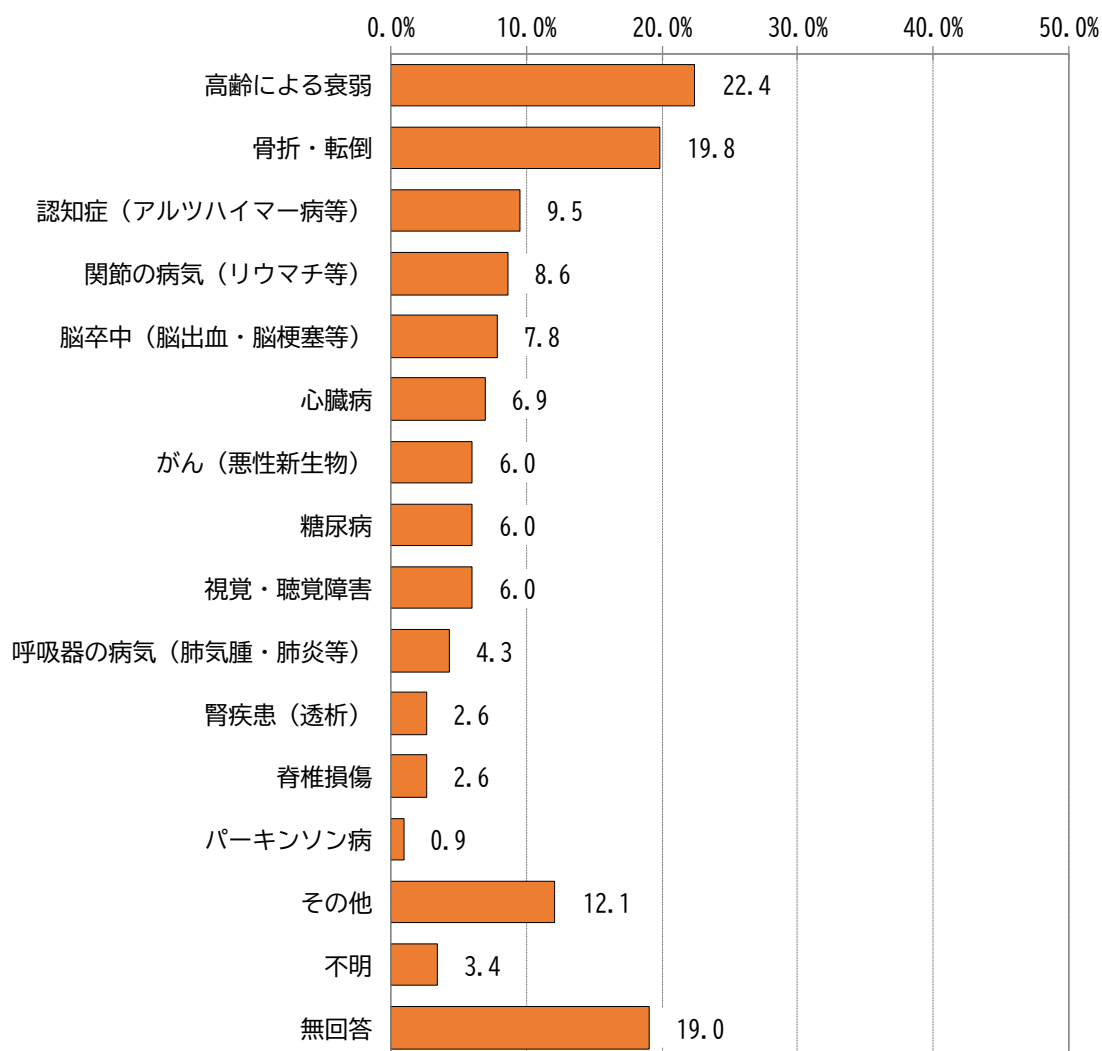


普段の生活で介護・介助が必要かでは、82.7%が「介護・介助は必要ない」と回答しています。その他「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(6.9%)、「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(3.8%)となっています。



## (3) 介護・介助が必要になった主な原因

問6-1 問6で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方にお聞きします。介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（〇はいくつでも）



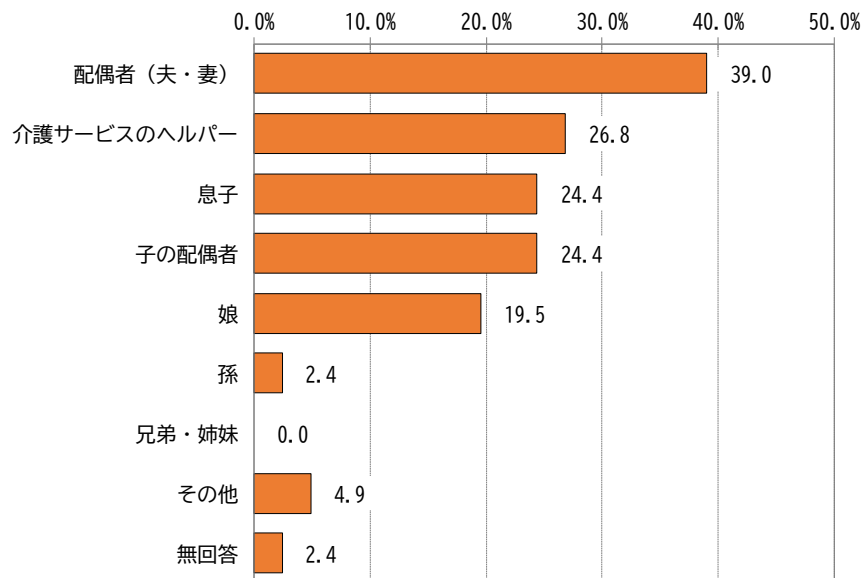
(回答者：116人)

問6で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した116人に、介護・介助が必要になった原因を尋ねると、「高齢による衰弱」が22.4%で最も多く、次いで「骨折・転倒」（19.8%）、「認知症（アルツハイマー病等）」（9.5%）と続いています。

前回調査では、「高齢による衰弱」が20.5%で最も多く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（12.0%）、「糖尿病」（11.1%）という結果でした。「骨折・転倒」は9.4%から10.4ポイント増加しています。

## (4) 主な介護者

問6-2 問6で「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方にお聞きします。主にどなたの介護・介助を受けていますか。（〇はいくつでも）

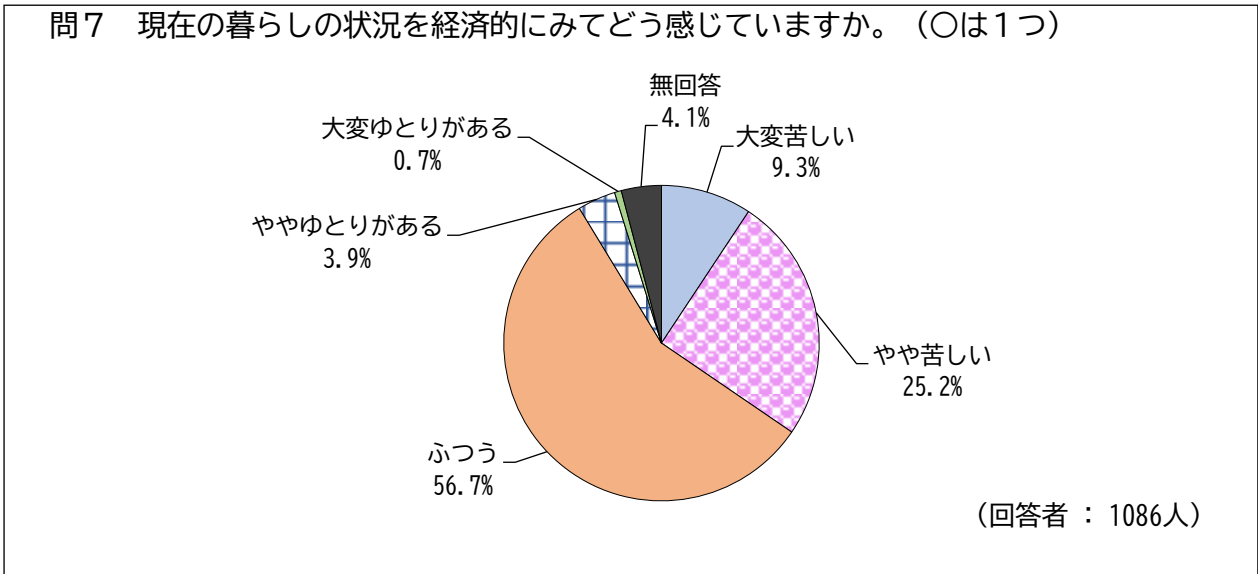


(回答者：41人)

問6で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した41人に、主な介護者・介助者を尋ねると、「配偶者（夫・妻）」が39.0%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」（26.8%）、「息子」「子の配偶者」（ともに24.4%）、「娘」（19.5%）となっています。

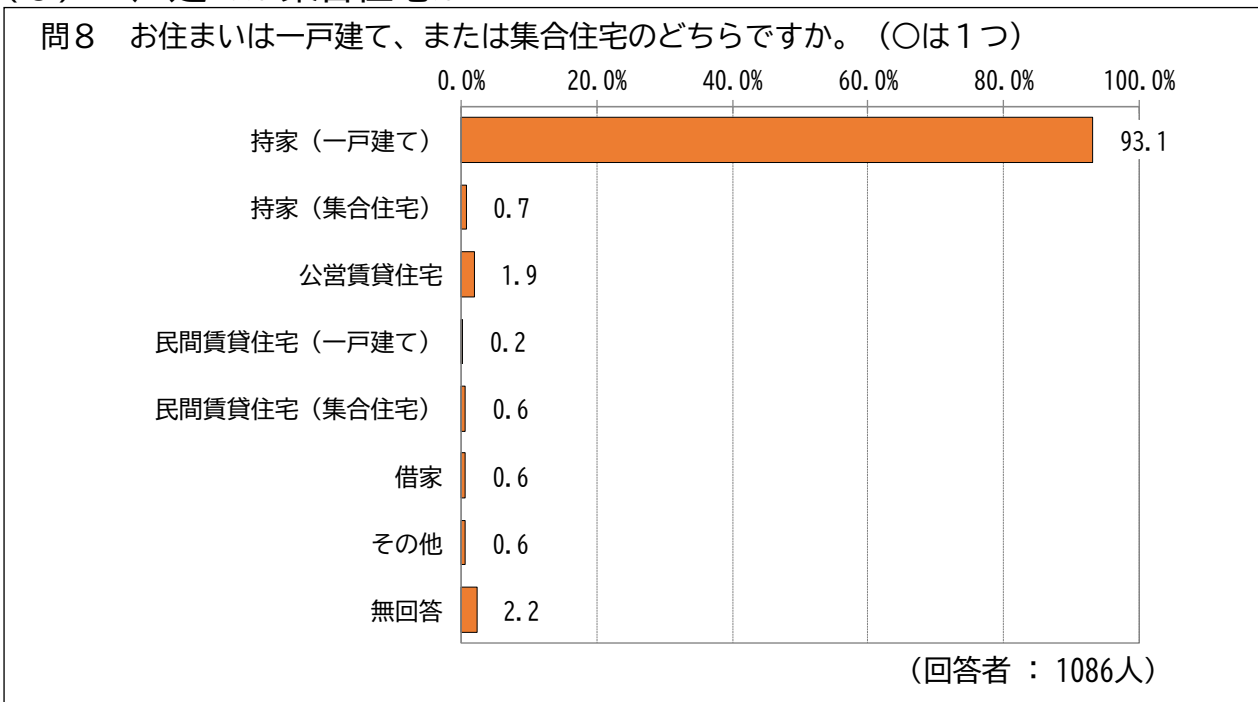
前回調査では、「配偶者（夫・妻）」「息子」がともに31.9%で最も多く、次いで「介護サービスヘルパー」（17.0%）という結果でした。

### (5) 現在の暮らしの状況



現在の暮らしの状況では、「ふつう」という回答が56.7%で最も多くなっています。  
 また、「大変苦しい」(9.3%)、「やや苦しい」(25.2%)を合わせると、34.5%が苦しいと回答しています。  
 前回調査では、「ふつう」という回答が60.4%で最も多く、「大変苦しい」(7.3%)、「やや苦しい」(22.4%)を合わせると、29.7%が苦しいという結果でした。

### (6) 一戸建てか集合住宅か



一戸建てか集合住宅かについては、「持家(一戸建て)」が93.1%と圧倒的に多くなっています。

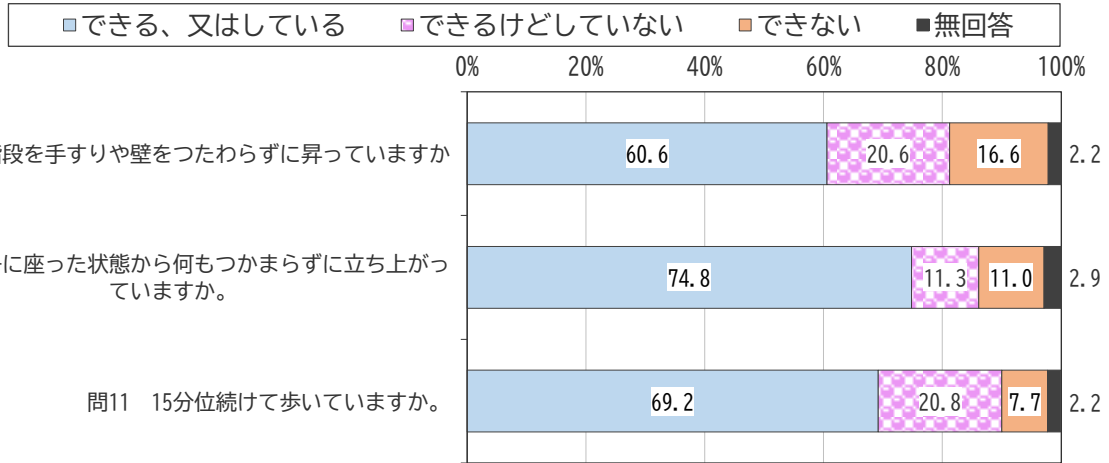
### 3 からだを動かすことについて

#### (1) 日常の生活動作

問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

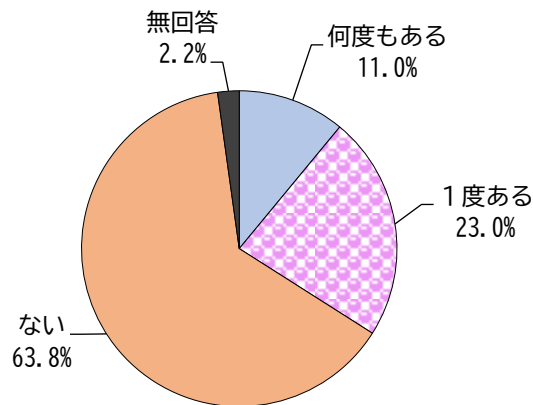
問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

問11 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)



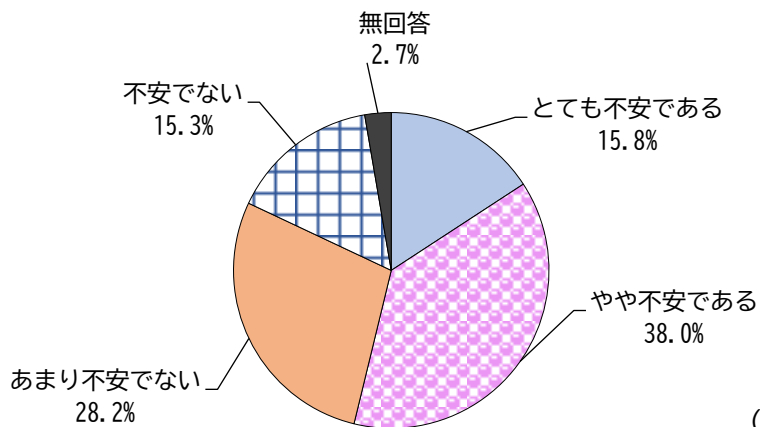
(回答者：1086人)

問12 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)



(回答者：1086人)

問13 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)



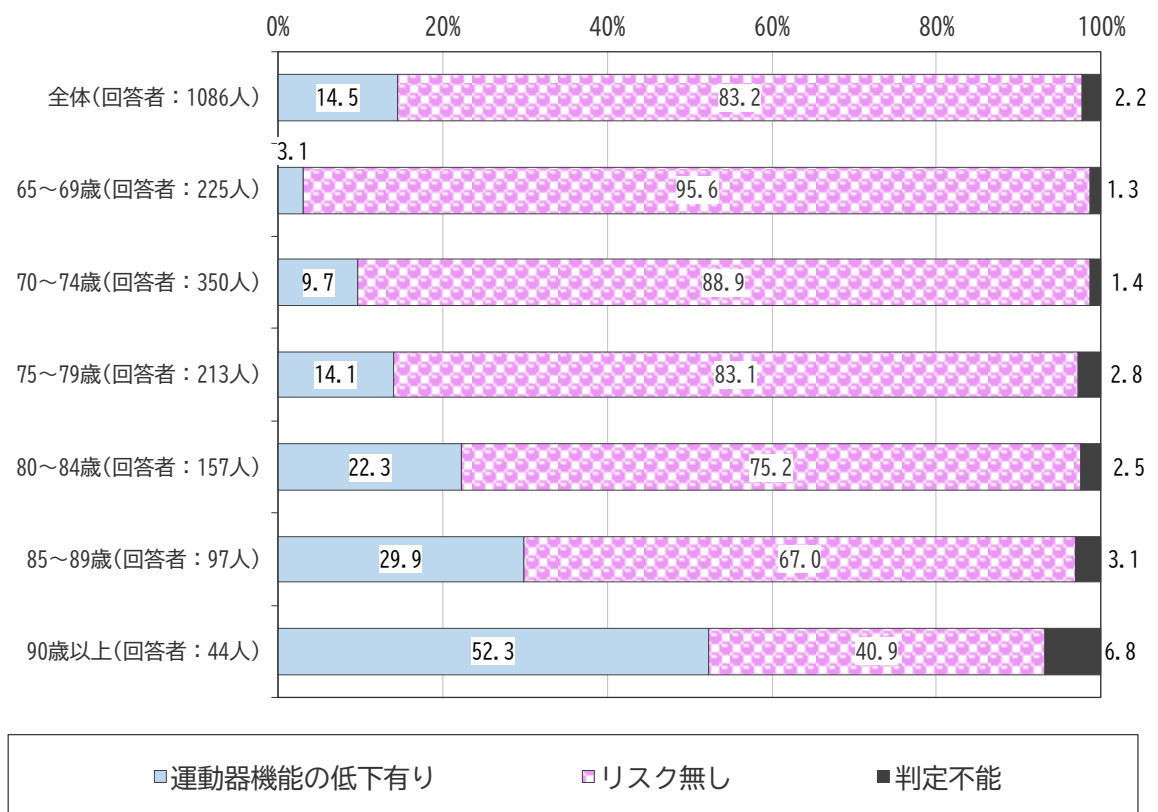
(回答者：1086人)

問9～13は、運動器の機能低下を問う設問です。各項目の該当割合は、「問9 階段をすすりや壁をつたわずに昇っていますか」（16.6%：「できない」）、「問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」（11.0%：「できない」）、「問11 15分位続けて歩いていますか」（7.7%：「できない」）、「問12 過去1年間に転んだ経験がありますか」（11.0%：「何度もある」、23.0%：「1度ある」）、「問13 転倒に対する不安は大きいですか」（15.8%：「とても不安である」、38.0%「やや不安である」）となっており、これらの設問で、3問以上該当すると、運動機能が低下していると判定されます。

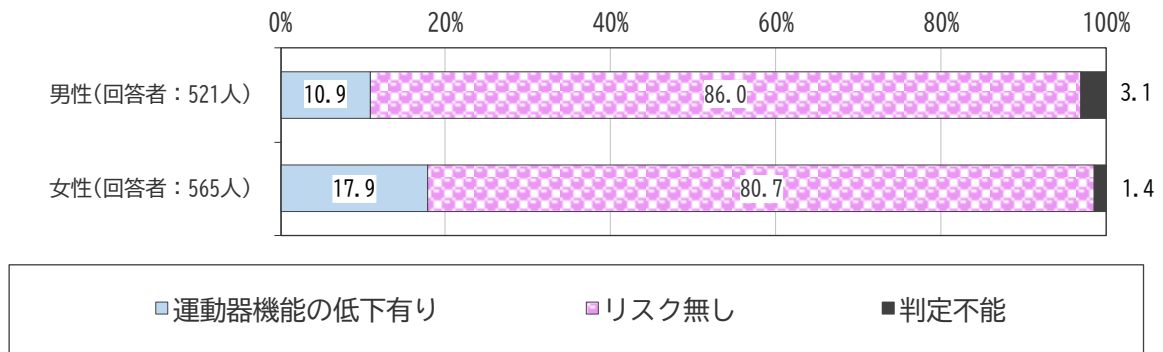
また、「問12 過去1年間に転んだ経験がありますか」において（11.0%：「何度もある」、23.0%：「1度ある」）と回答した場合は、転倒リスクがあると判定されます。

## （2）運動器の機能低下について

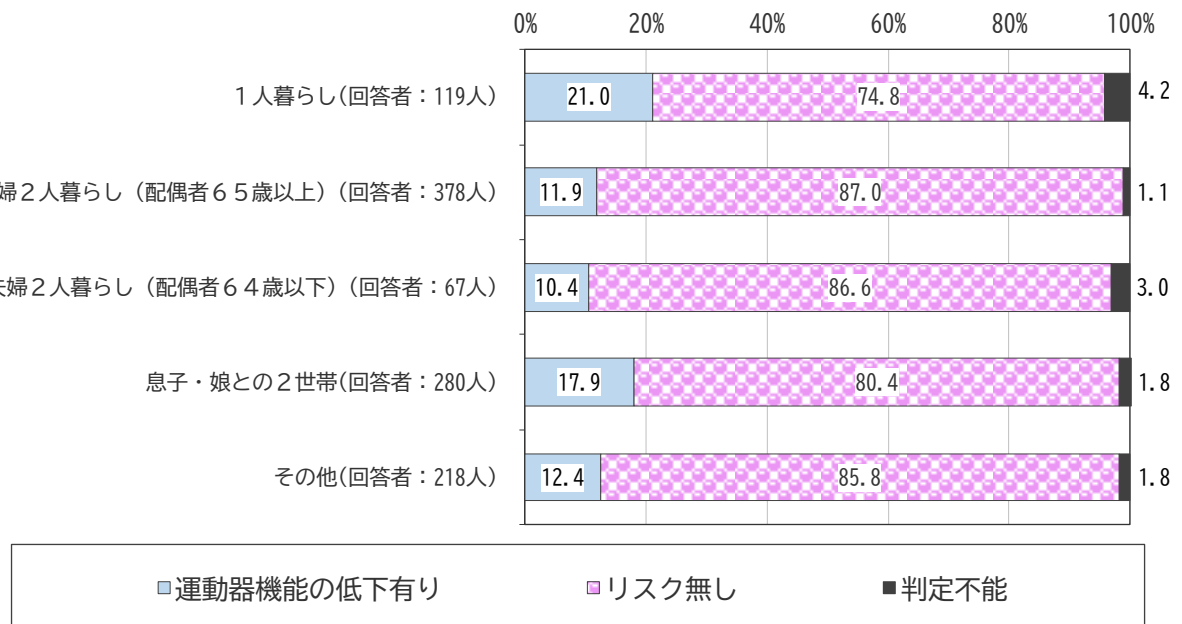
### ●年齢別運動器の機能低下状況



●男女別運動器の機能低下状況



●家族構成別運動器の機能低下状況



運動器の機能低下は、全体の14.5%が該当者となっています。

前回調査では、全体の13.9%が該当者となっており、0.6ポイント増加しています。

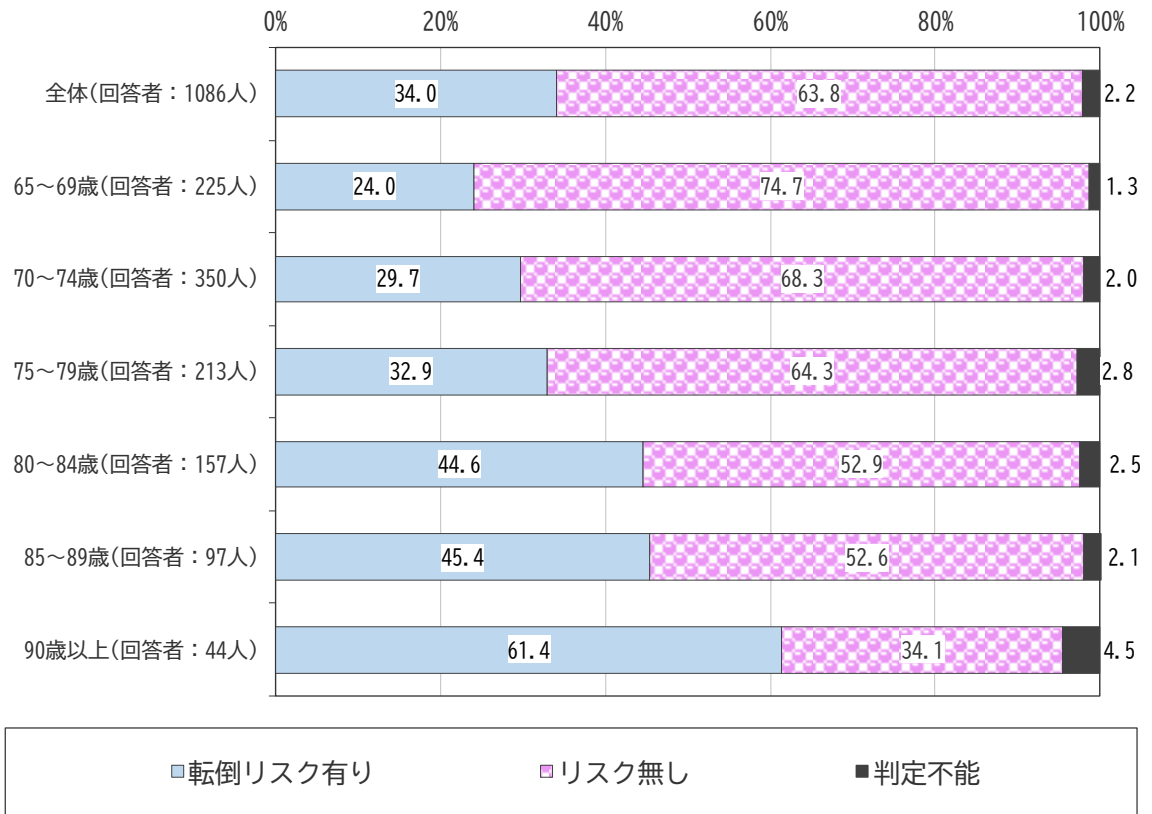
年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、90歳以上の5割以上が該当者となっています。

男女別では、「男性」の10.9%、「女」の17.9%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっています。

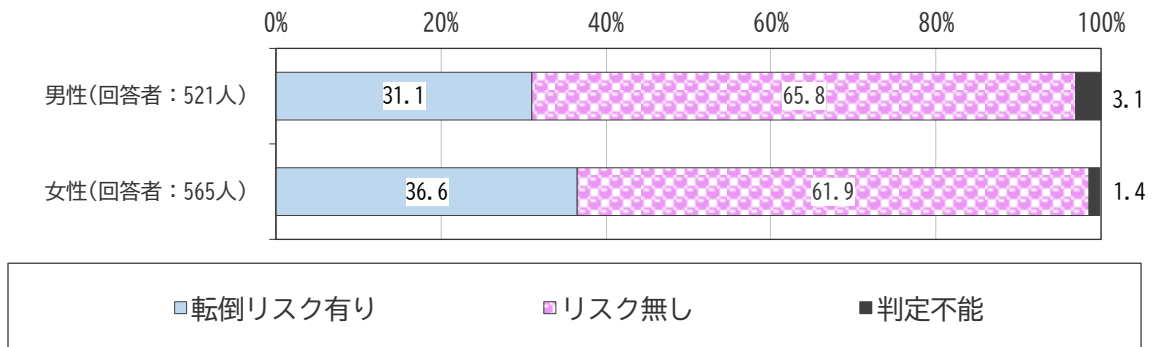
家族構成別では、「1人暮らし」の21.0%が該当者となっています。

### (3) 転倒リスクについて

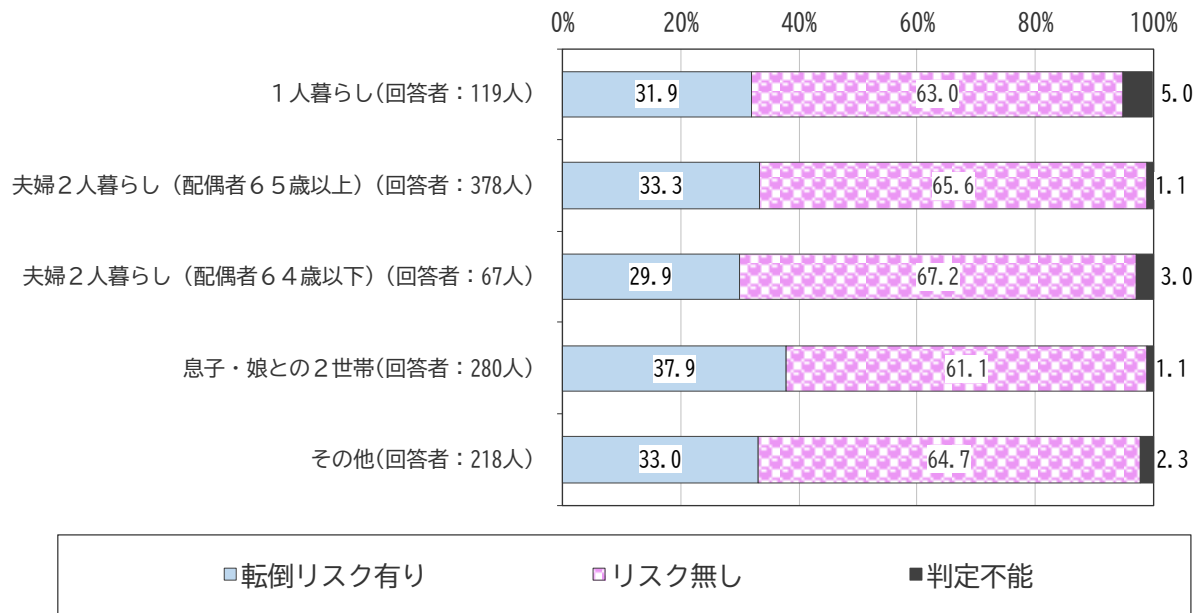
#### ●年齢別転倒リスク状況



#### ●男女別転倒リスク状況

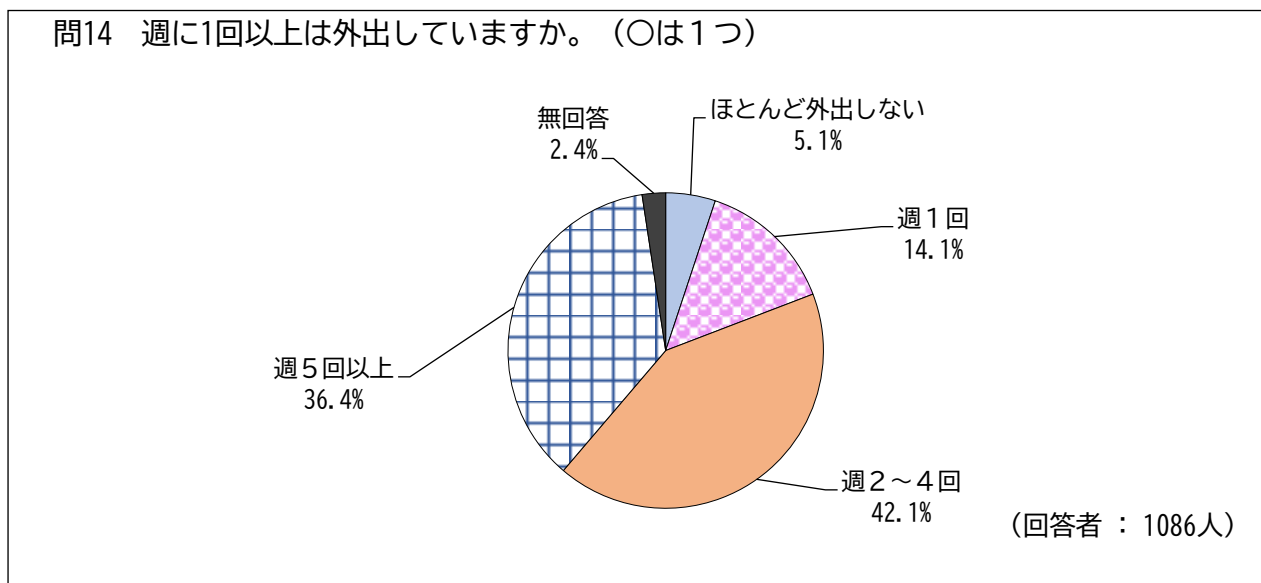


●家族構成別転倒リスク状況



転倒リスクは、全体の34.0%が該当者となっています。  
 前回調査では、全体の31.2%が該当者となっており、2.8ポイント増加しています。  
 年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、80歳以上の4割以上が該当者となっています。  
 男女別では、「男性」の31.1%、「女性」の36.6%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっています。  
 家族構成別では、「1人暮らし」の31.9%が該当者となっています。

(4) 外出について

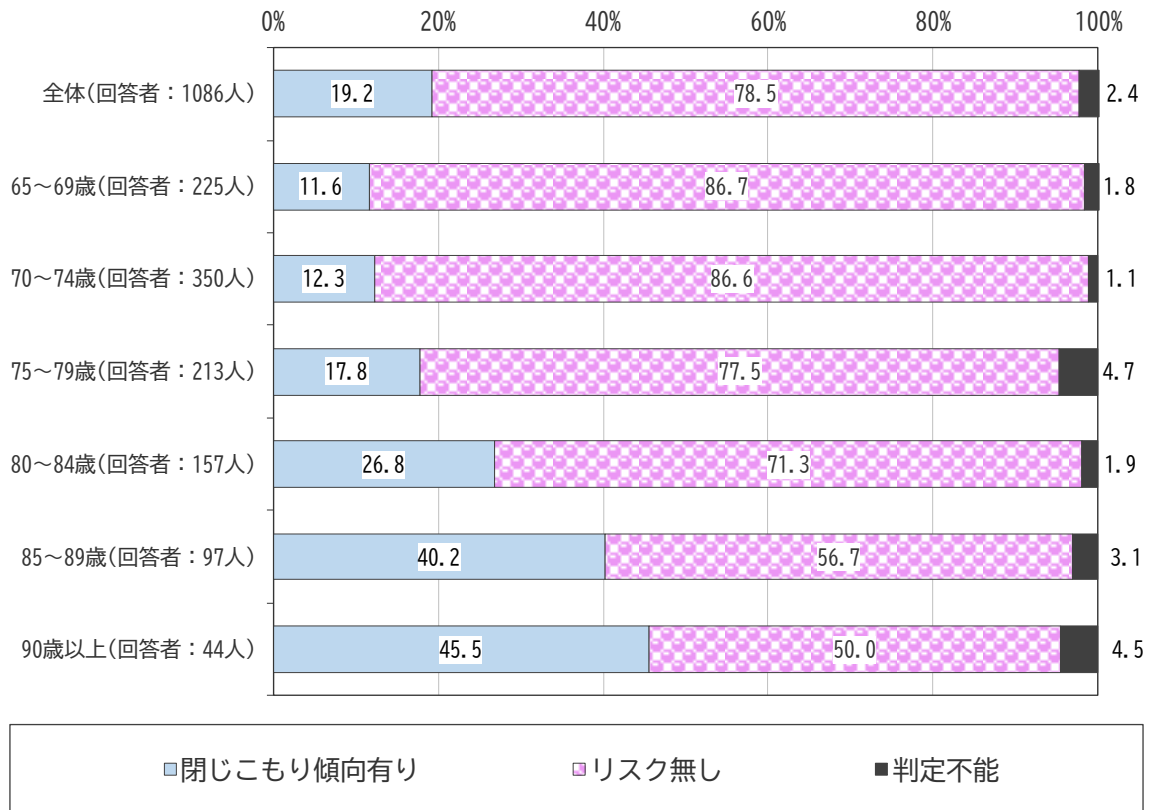


問14は、閉じこもり傾向を問う設問です。「週に1回以上は外出していますか」において(5.1%：「ほとんど外出していない」、14.1%：「週1回」と回答した場合は、閉じこもりリスクがあると判定されます。

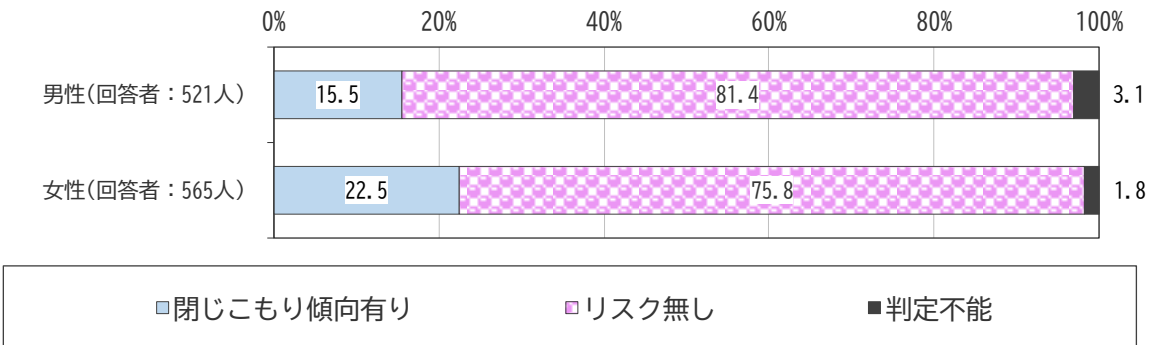


## (5) 閉じこもり傾向について

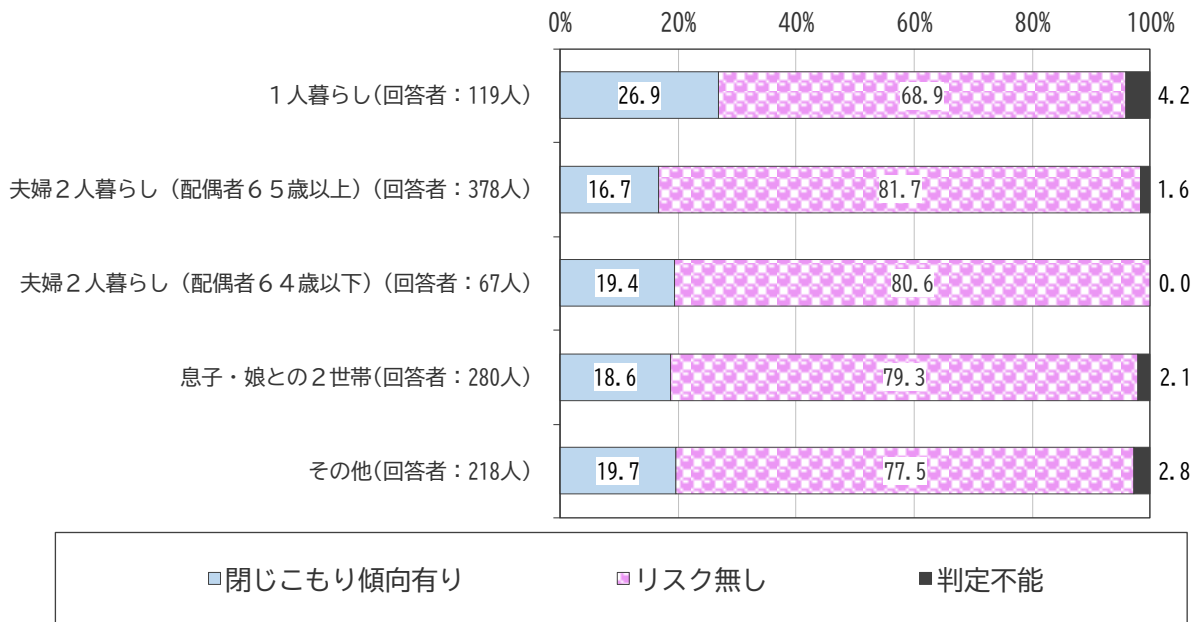
### ●年齢別閉じこもり傾向



### ●男女別閉じこもり傾向



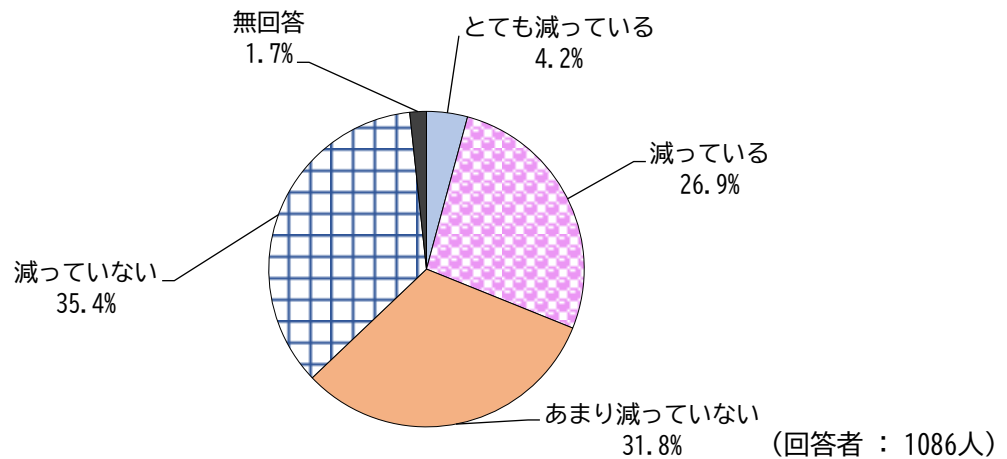
●家族構成別閉じこもり傾向



閉じこもり傾向は、全体の19.2%が該当者となっています。  
 前回調査では、全体の14.3%が該当者となっており、4.9ポイント増加しています。  
 年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85歳以上の4割以上が該当者となっています。  
 男女別では、「男性」の15.5%、「女性」の22.5%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっています。  
 家族構成別では、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」の19.4%が該当者となっています。

## (6) 外出回数

問15 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)



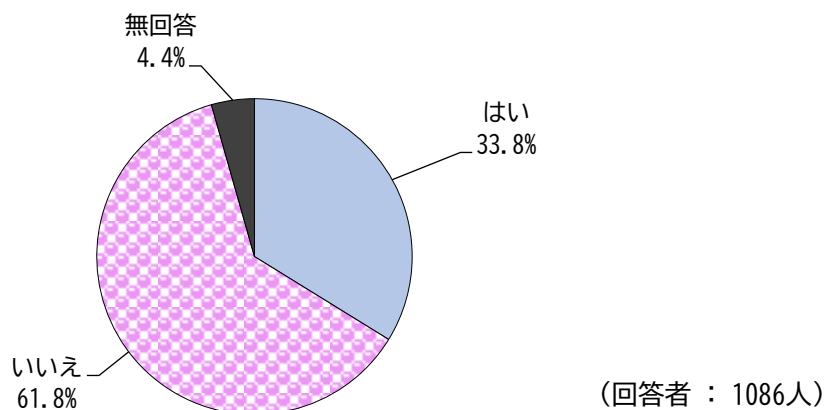
昨年と比べて外出の回数が減っているかは、「とても減っている」(4.2%)、「減っている」(26.9%)を合わせると、31.1%が減っていると回答しています。

また、「減っていない」(35.4%)、「あまり減っていない」(31.8%)を合わせると、67.2%が減っていないと回答しています。

前回調査では、「とても減っている」(2.6%)、「減っている」(14.3%)を合わせると、16.9%が減っていると回答しており、14.2ポイント増加しています。

## (7) 外出を控えているか

問16 外出を控えていますか。(○は1つ)

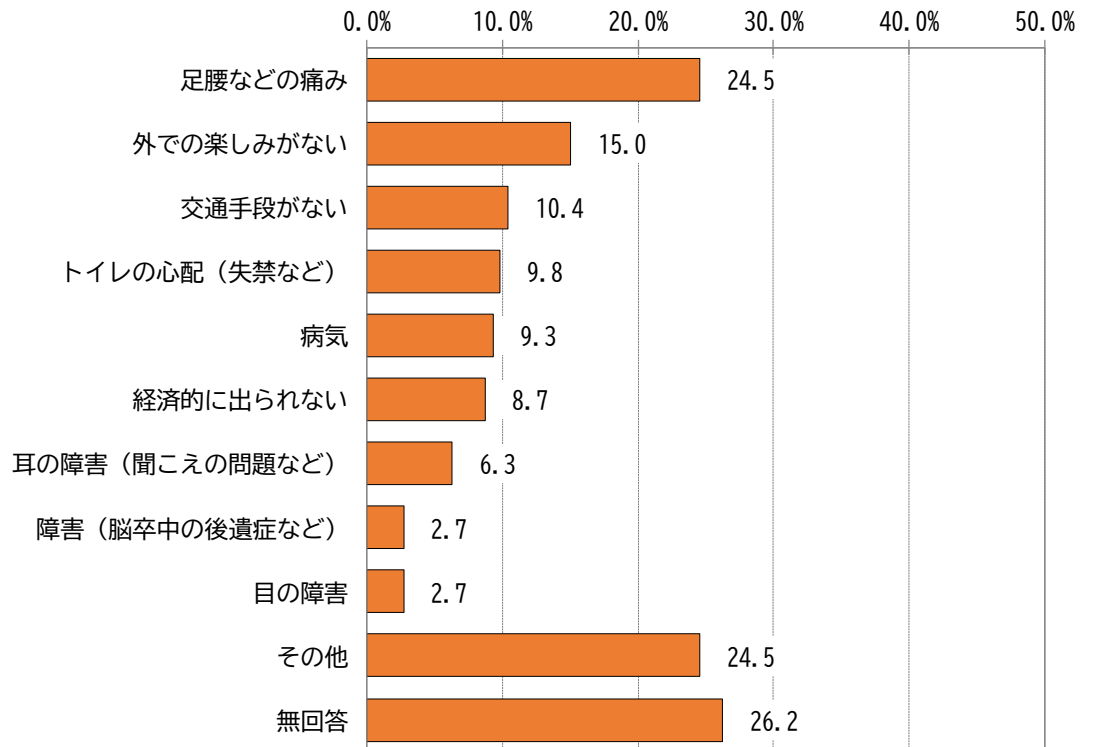


外出を控えているかは、「はい」が33.8%、「いいえ」が61.8%となっています。

前回調査では、「はい」が15.3%、「いいえ」が80.3%と回答しており、「はい」が18.5ポイント増加しています。

## (8) 外出を控える理由

問16-1 問16で「1. はい」とお答えの方にお聞きします。外出を控えている理由は、次のどれですか。（〇はいくつでも）



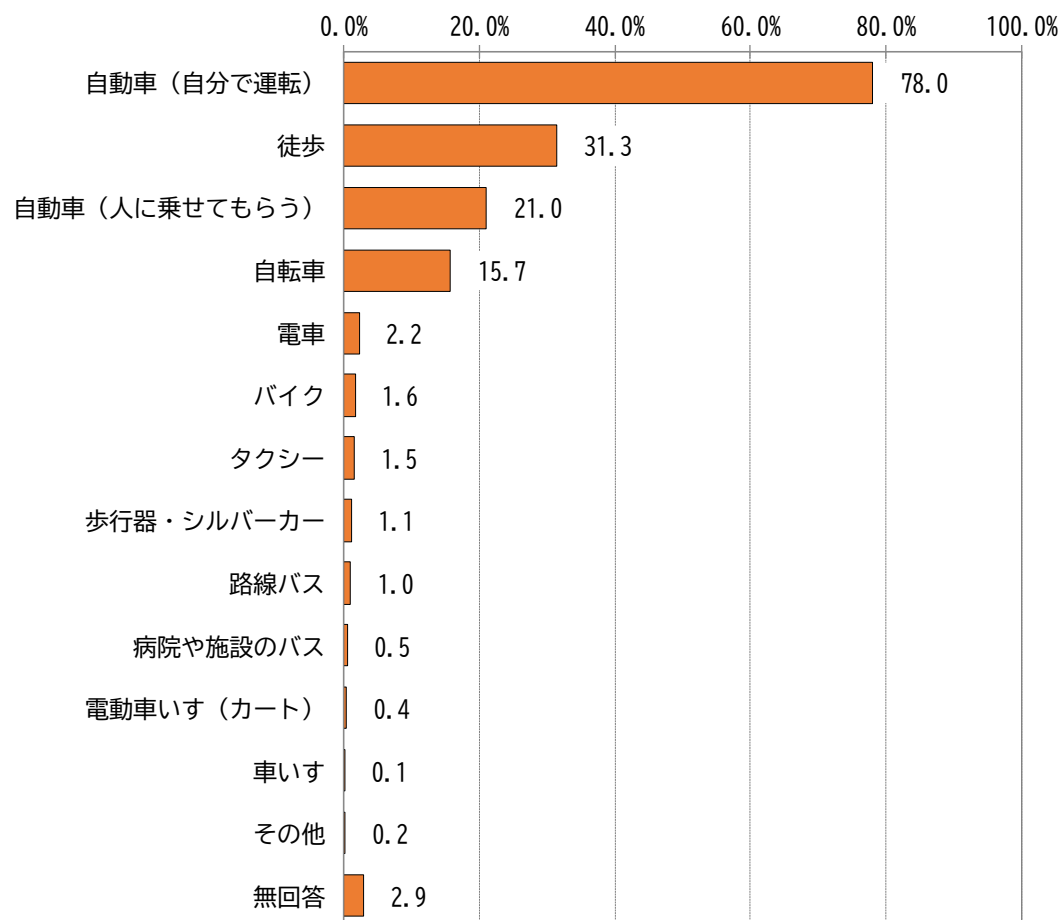
(回答者：367人)

問16で外出を控えていると回答した367人に、その理由を尋ねたところ、「足腰などの痛み」が24.5%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」（15.0%）、「交通手段がない」（10.4%）と続いています。

前回調査では、「足腰などの痛み」が47.3%と最も多く、次いで「トイレの心配（失禁など）」（17.1%）、「経済的に出られない」（15.1%）という結果でした。

## (9) 外出する際の移動手段

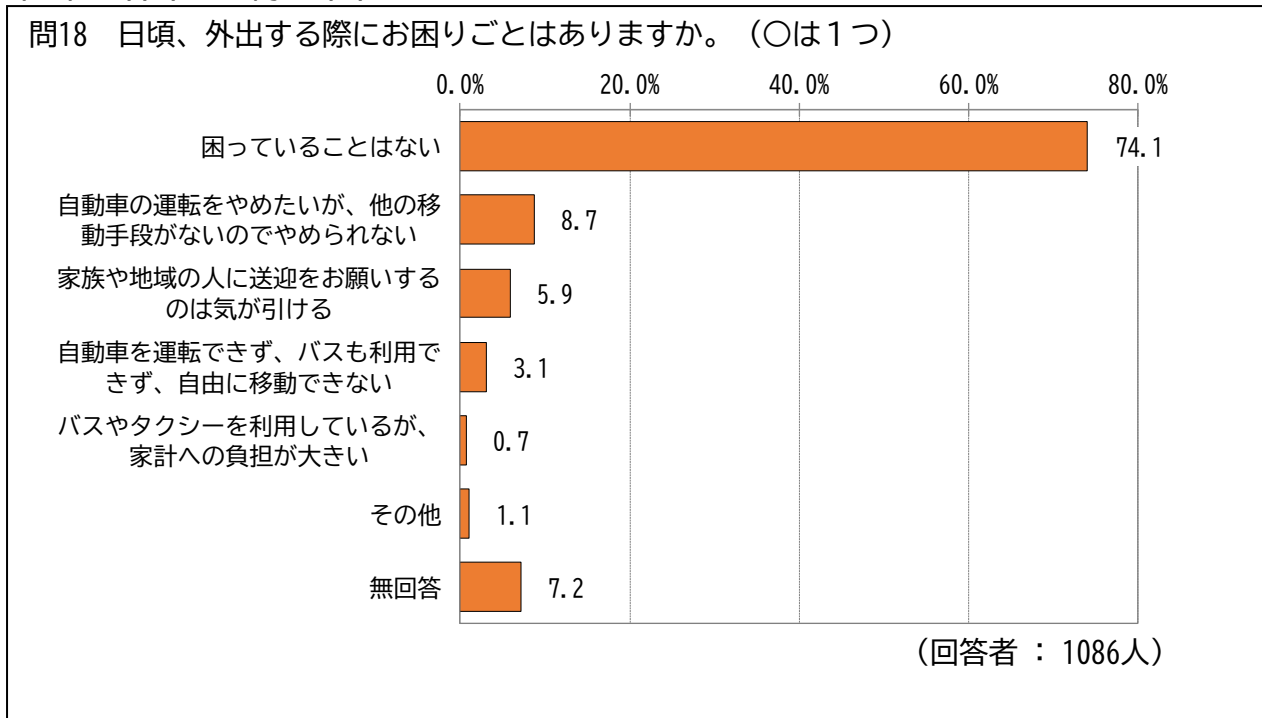
問17 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)



(回答者：1086人)

外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が78.0%で最も多く、次いで「徒歩」（31.3%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（21.0%）と続いています。

(10) 外出する際の困りごと



外出する際の困りごとは、「自動車の運転をやめたいが、他の移動手段がないのでやめられない」が8.7%で最も多く、次いで「家族や地域の人に送迎をお願いするのは気が引ける」(5.9%)、「自動車を運転できず、バスも利用できず、自由に移動できない」(3.1%)と続いています。

また、74.1%は「困っていることはない」と回答しています。

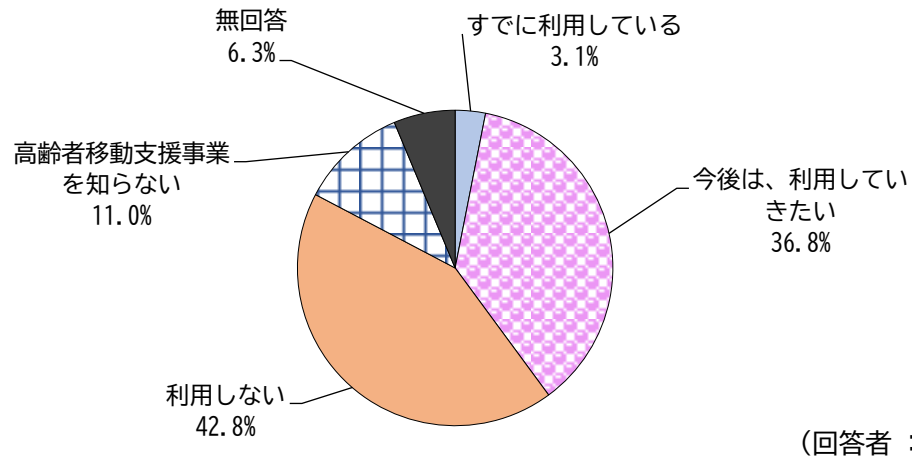
●年齢別・地区別の困りごとについて

単位: %

	有効回答数(件)	困っていることはない	困っていること					その他	無回答
			が自動車の運転をやめたいが、他の移動手段がない	自動車を運転できず、自由にバスも利用できない	家族や地域の人が送迎を頼むのが気が引ける	バスやタクシーを利用しているが、家計への負担が大きい	その他		
全体	1086	74.1	8.7	3.1	5.9	0.7	1.1	7.2	
年齢	65～69歳	225	90.2	2.7	0.9	0.4	-	1.8	4.0
	70～74歳	350	85.4	5.1	1.4	2.6	0.3	0.9	4.9
	75～79歳	213	74.2	12.2	2.8	2.8	0.5	0.9	7.5
	80～84歳	157	56.1	17.2	4.5	8.9	2.5	1.9	10.2
	85～89歳	97	44.3	16.5	8.2	18.6	2.1	-	14.4
	90歳以上	44	31.8	4.5	13.6	36.4	-	-	13.6
地域別	滝田	185	77.8	8.1	1.1	6.5	-	0.5	6.5
	羽生	398	73.6	8.5	2.3	7.5	1.3	0.8	6.5
	大山	71	80.3	4.2	2.8	5.6	-	-	7.0
	高畑	64	68.8	9.4	4.7	4.7	-	4.7	9.4
	夕田	55	80.0	7.3	1.8	3.6	-	3.6	5.5
	大平賀	115	66.1	19.1	3.5	3.5	0.9	-	7.8
	加治田	198	74.2	5.6	6.6	4.5	1.0	1.5	8.6

(11) 高齢者移動支援事業について

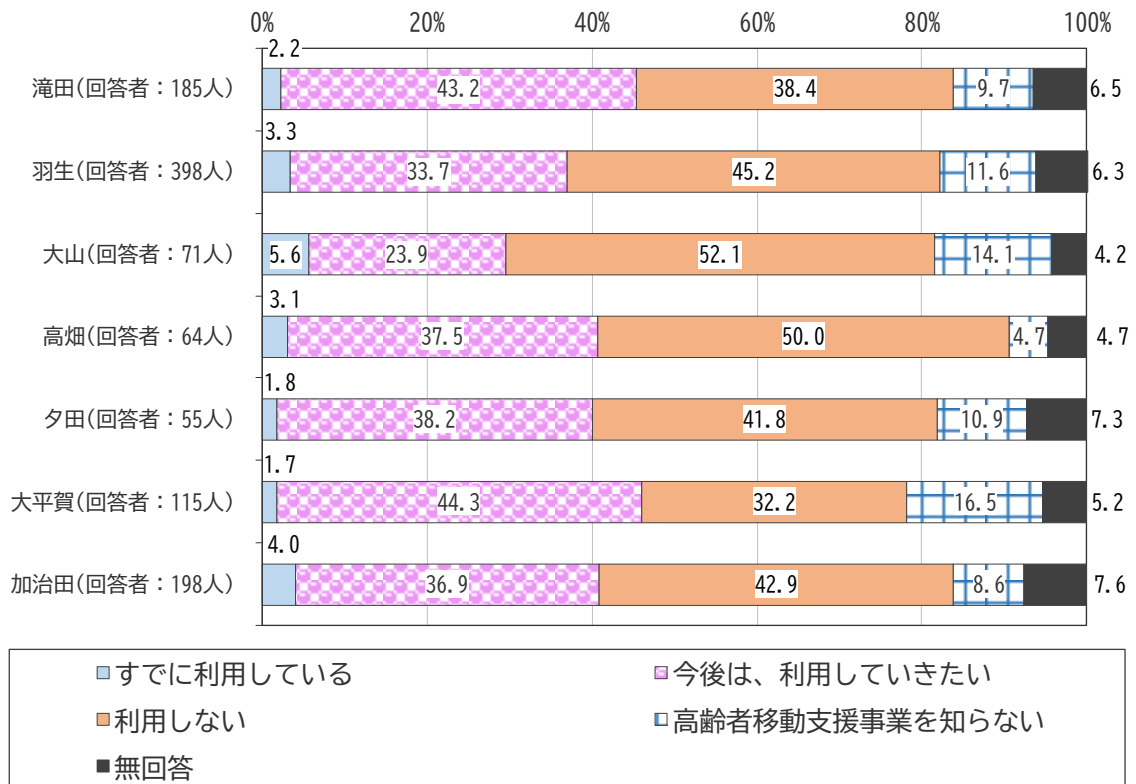
問19 富加町社会福祉協議会で、自宅の近くまで行き、希望の店舗まで無料送迎する高齢者移動支援事業を行っています。その事業の利用についてお伺いします。(〇は1つ)



高齢者移動支援事業の利用については、「すでに利用している」が3.1%、「今後は、利用していきたい」が36.8%、「高齢者移動支援事業を知らない」が11.0%となっています。

前回調査では、「すでに利用している」が1.2%、「今後は、利用していきたい」が35.1%、「高齢者移動支援事業を知らない」が10.9%という結果でした。

●地区別高齢者移動支援事業について

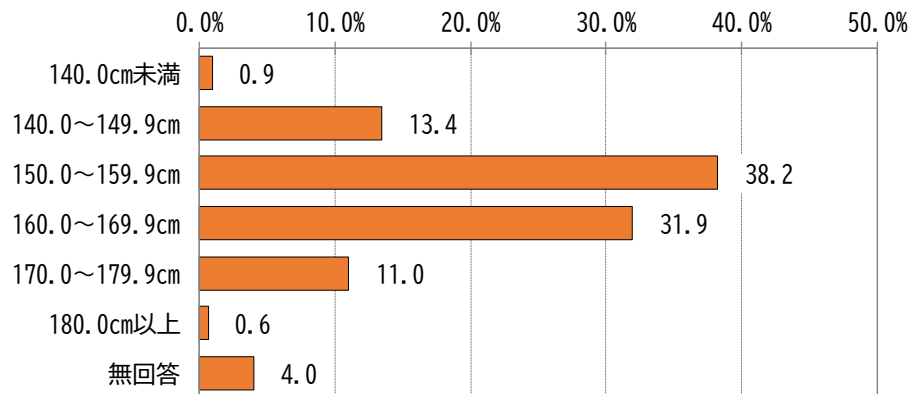


## 4 食べることについて

### (1) 本人の身長、体重

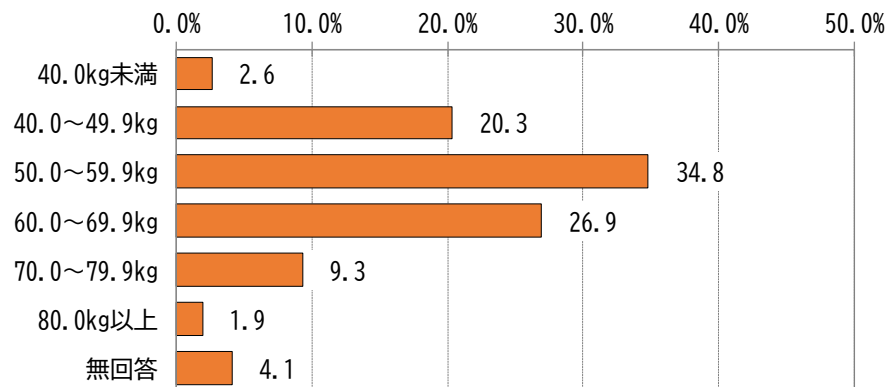
問20 身長と体重をお書きください。

身長



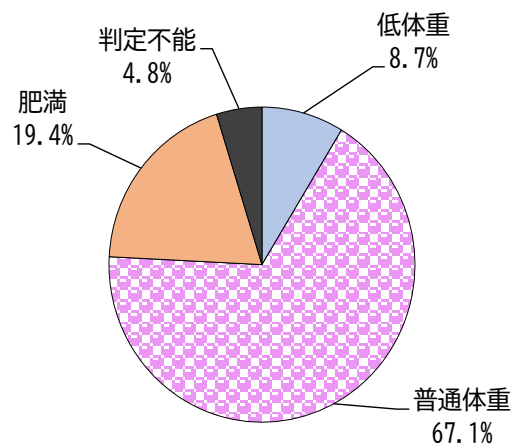
(回答者：1086人)

体重



(回答者：1086人)

BMI



(回答者：1086人)

身長は、「150.0~159.9cm」が38.2%で最も多く、次いで「160.0~169.9cm」(31.9%)、「140.0~149.9cm」(13.4%)などとなっています。

体重は、「50.0~59.9kg」が34.8%で最も多く、次いで「60.0~69.9kg」(26.9%)、「40.0~49.9kg」(20.3%)などとなっています。

BMIについては、「18.5~25未満(普通体重)」が67.1%で最も多く、次いで「25以上(肥満)」(19.4%)、「18.5未満(低体重)」(8.7%)となっています。



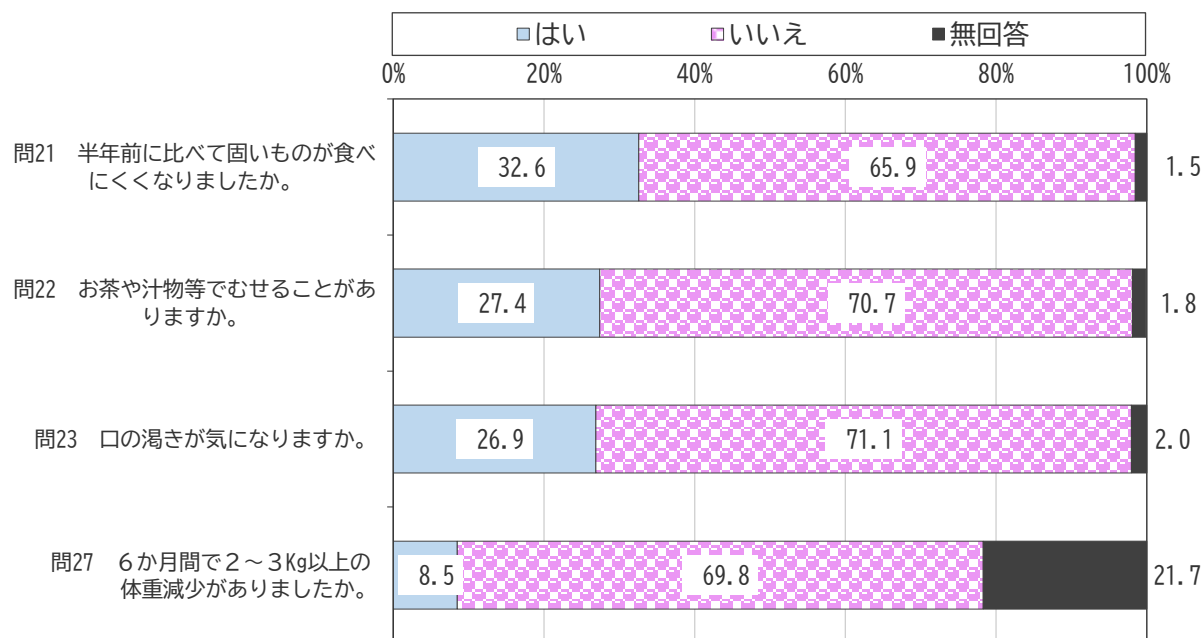
## (2) 口腔・栄養

問21 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

問22 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

問23 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

問27 6か月間で2～3Kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)



(回答者：1086人)

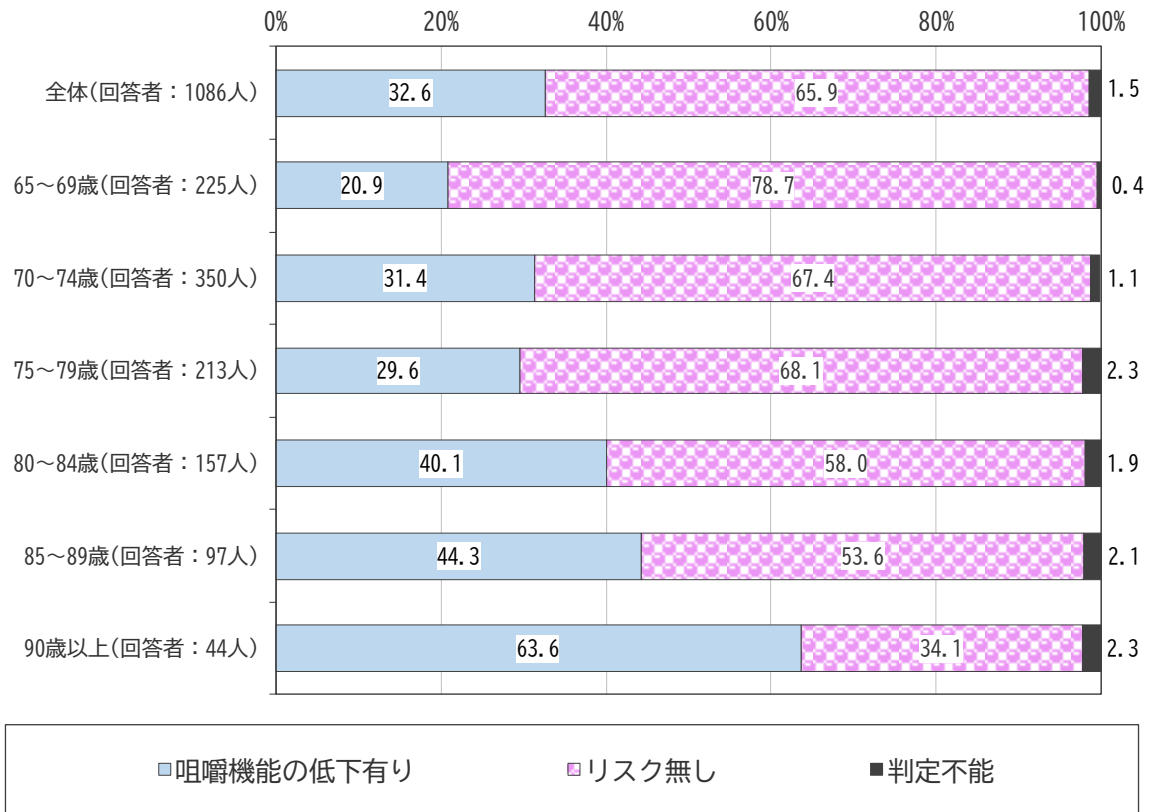
問21は咀嚼機能の低下を問う設問です。「問21 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」(32.6%：「はい」)と回答した場合は、咀嚼機能の低下があると判定される。

問21～問23は口腔機能の低下を問う設問です。「問21 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」(32.6%：「はい」)、「問22 お茶や汁物等でむせることがありますか」(27.4%：「はい」)、「問23 口の渇きが気になりますか」(26.9%：「はい」)の回答のうち、2問以上に該当すると、口腔機能が低下していると判定されます。

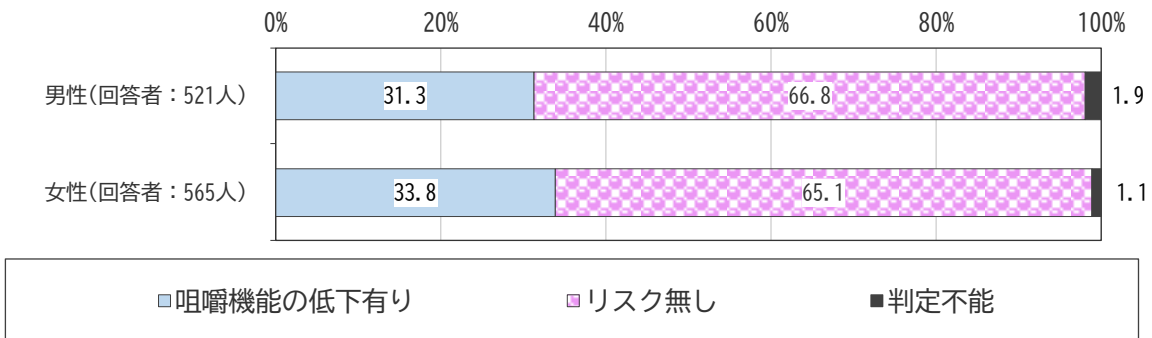
「問20 BMI 18.5未満(低体重)(18.9%)」に該当し、「問27 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか」で(8.5%：「はい」)と回答した場合は、低栄養状態と判定されます。

### (3) 咀嚼機能の低下

#### ●年齢別咀嚼機能の低下状況



#### ●男女別咀嚼機能の低下状況



咀嚼機能の低下は、全体の32.6%が該当者となっています。

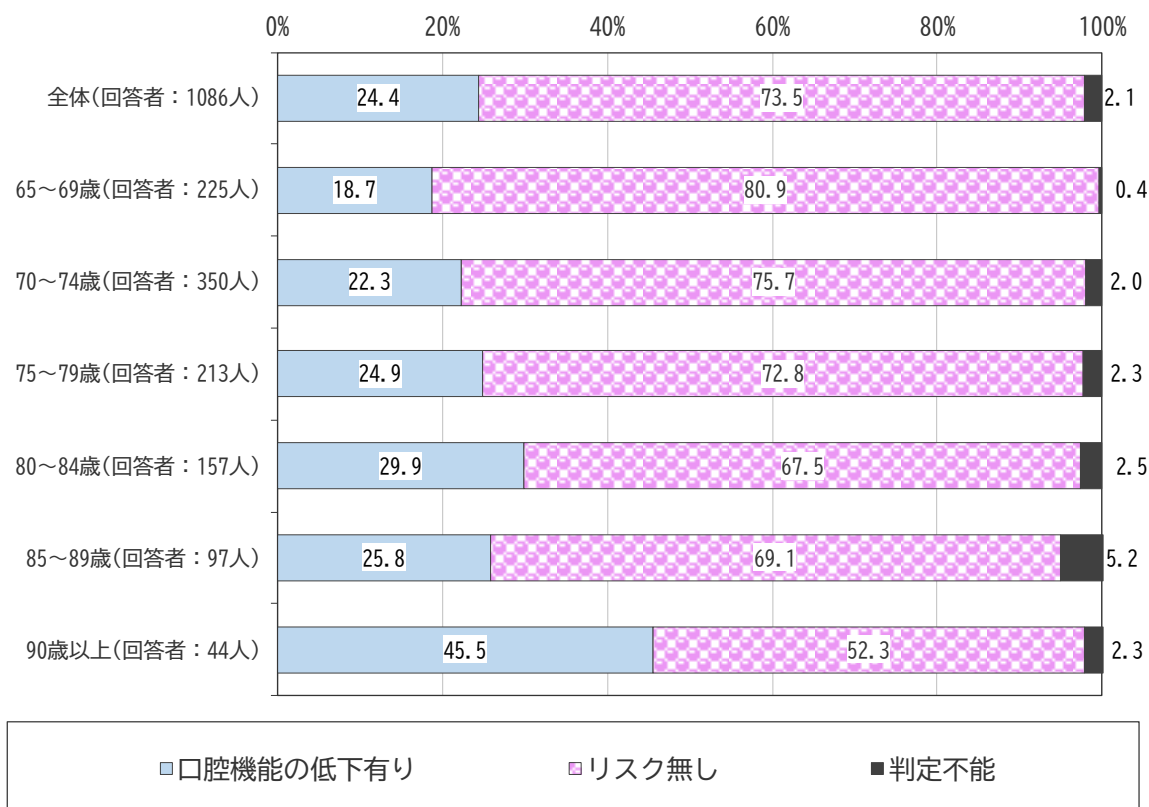
前回調査では、全体の29.8%が該当者となっており、2.8ポイント増加しています。

年齢別では、概ね年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、80歳以上の4割以上が該当者となっています。

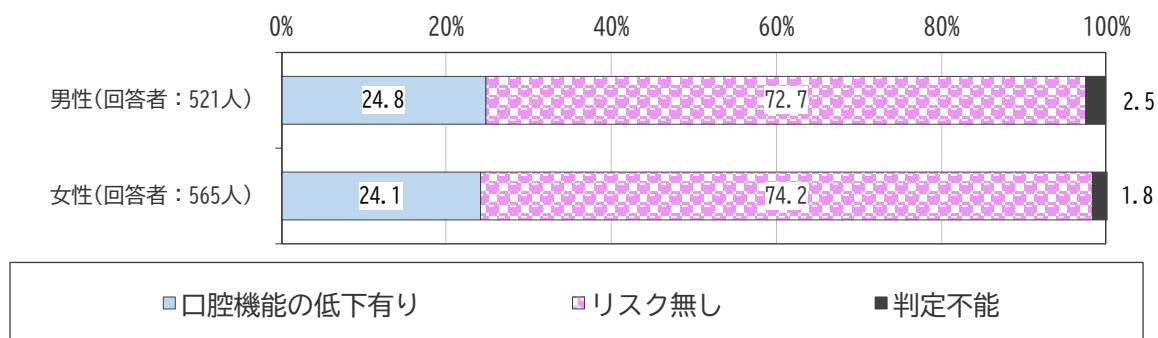
男女別では、「男性」の31.3%、「女性」の33.8%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっています。

## (4) 口腔機能の低下について

### ●年齢別口腔機能の低下状況



### ●男女別口腔機能の低下状況

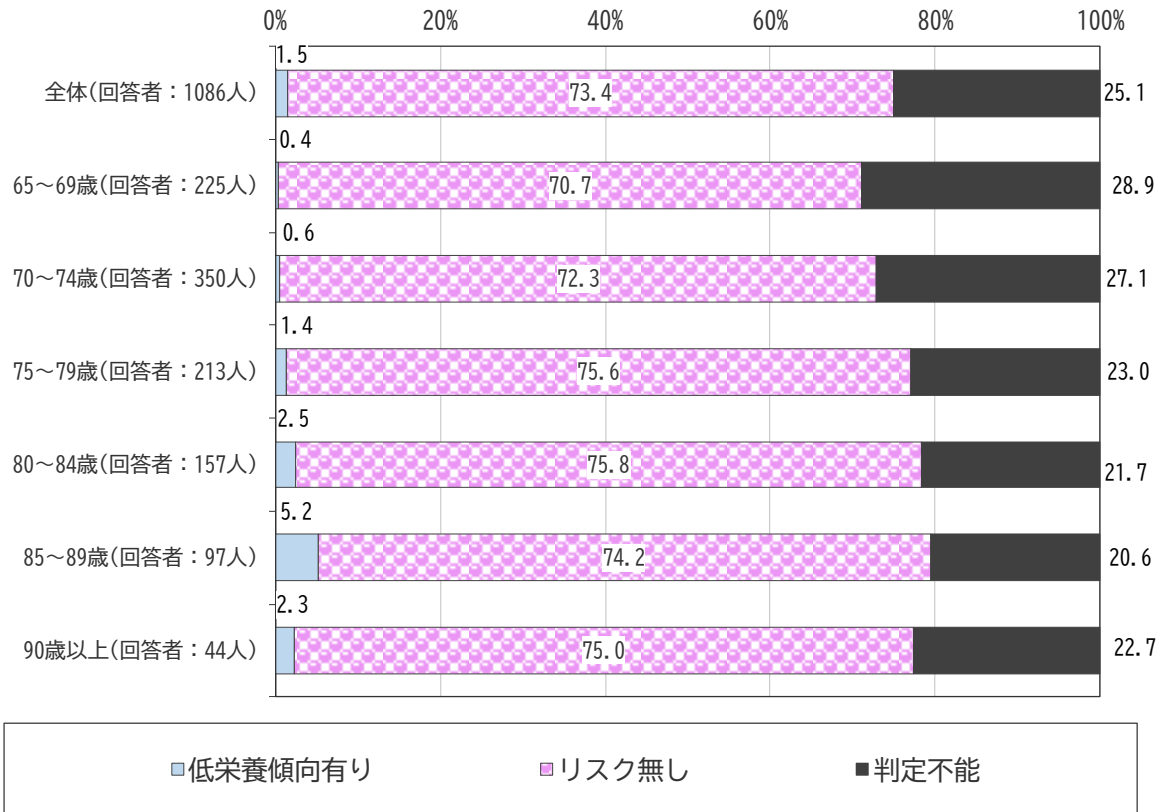


口腔機能低下は、全体の24.4%が該当者となっています。  
 前回調査では、全体の19.7%が該当者となっており、4.7ポイント増加しています。  
 年齢別では、概ね年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、90歳以上の4割以上が該当者となっています。

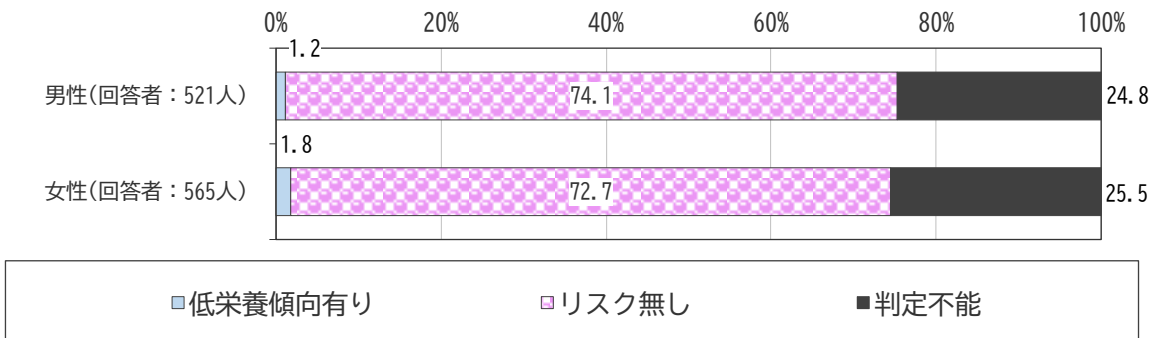
男女別では、「男性」の24.8%、「女性」の24.1%が該当者となっており、男性に該当者がやや多くなっています。

## (5) 低栄養状態について

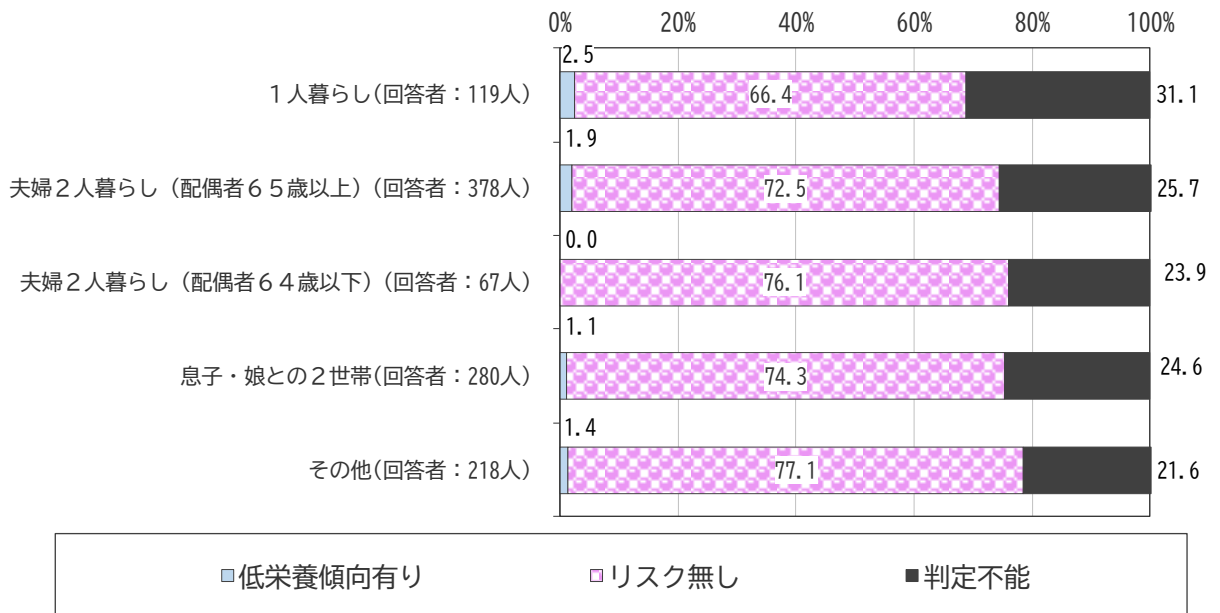
### ●年齢別低栄養傾向の状況



### ●男女別低栄養傾向の状況



●世帯構成別低栄養傾向の状況



低栄養傾向の状況は、全体の1.5%が該当者となっています。

前回調査では、全体の1.5%が該当者となっており、同値となっています。

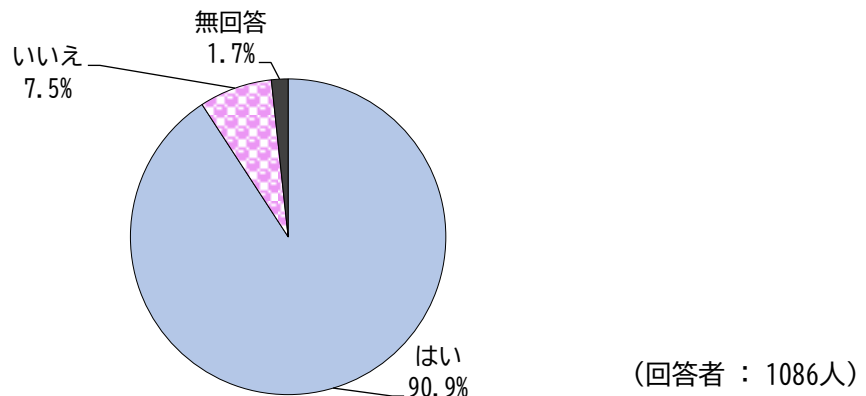
年齢別では、全体的に1から2%程度が該当者となっているが、85～89歳では5.2%が該当者となっており、ほかの年齢層より割合が高くなっています。

男女別では、「男性」の1.2%、「女性」の1.8%が該当者となっており、女性に該当者がやや多くなっています。

世帯構成別では、「1人暮らし」の2.5%が該当者となっています。

(6) 歯磨きについて

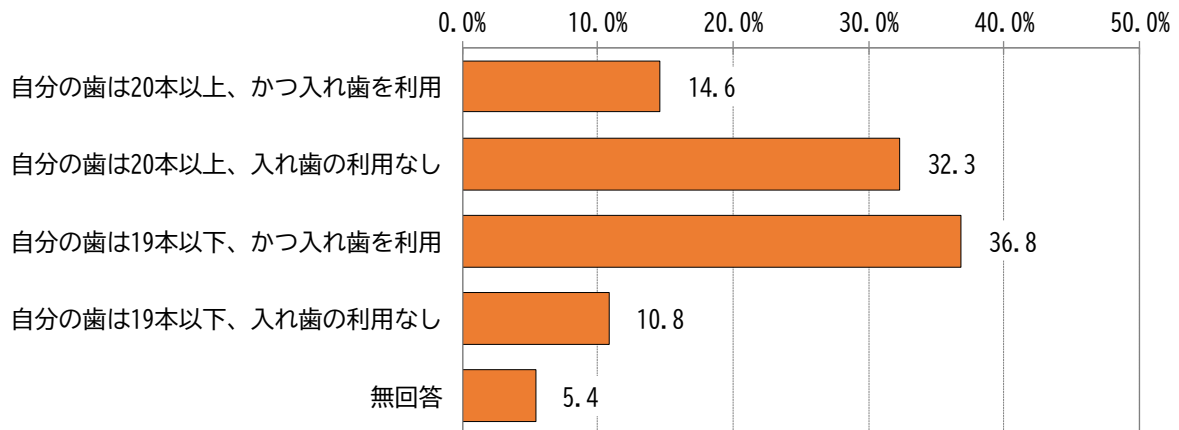
問24 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ）



歯磨きを毎日しているかは、90.9%が「はい」と回答しています。一方、「いいえ」という回答も7.5%ありました。

### (7) 入れ歯について

問25 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

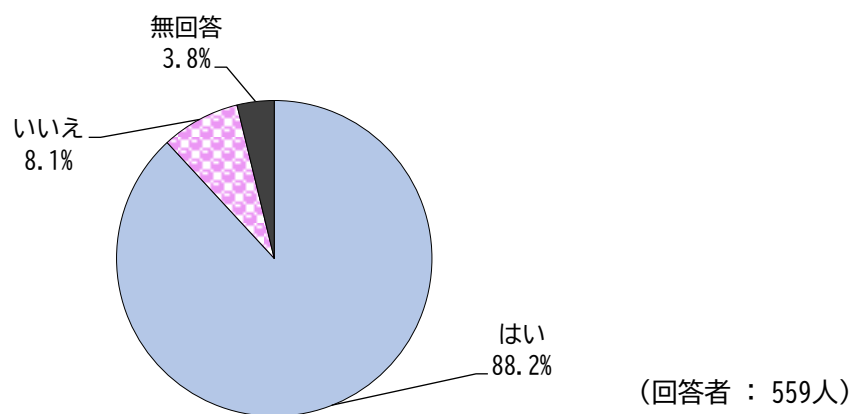


(回答者：1086人)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が36.8%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(32.3%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(14.6%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(10.8%)となっています。

### (8) 入れ歯の手入れ

問25-1 問25で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方にお聞きします。毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

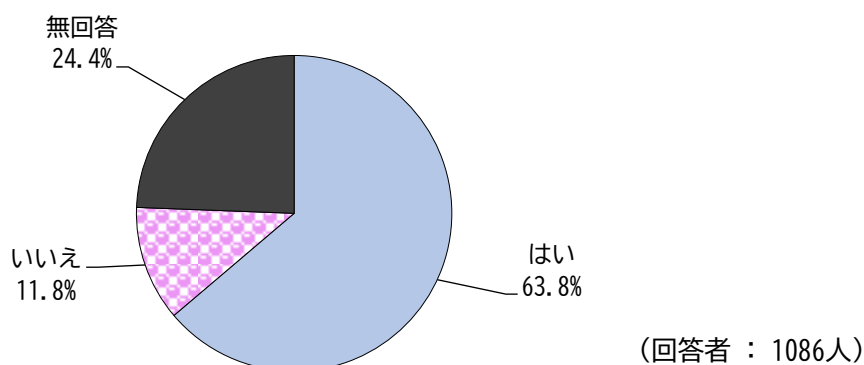


(回答者：559人)

問25で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した559人に、毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねると、88.2%が「はい」と回答しています。

### (9) 噛み合わせ

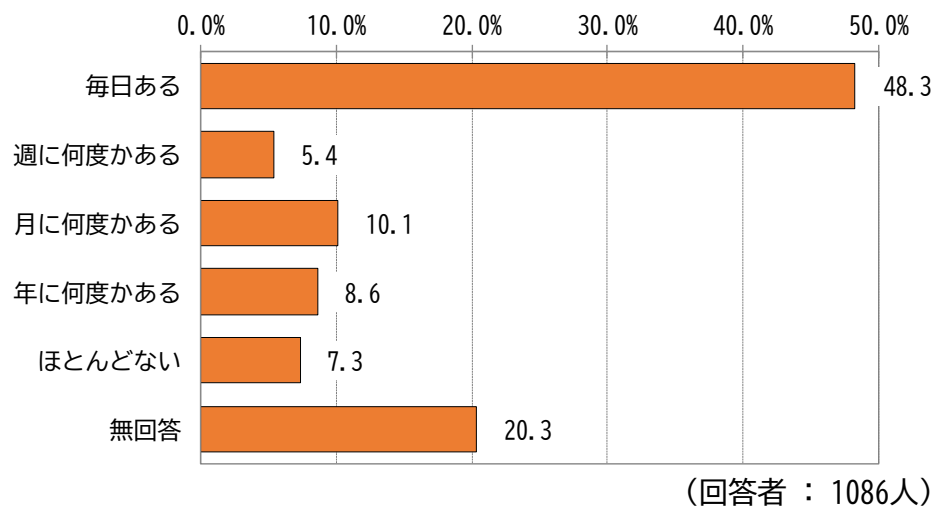
問26 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)



噛み合わせが良いかは、63.8%が「はい」、11.8%が「いいえ」と回答しています。

### (10) どなたかと食事をとにもする機会があるか

問28 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)



どなたかと食事をとにもする機会があるかは、「毎日ある」が48.3%と最も多く、次いで「月に何度かある」(10.1%)、「年に何度かある」(8.6%)、「週に何度かある」(5.4%)となっています。また、「ほとんどない」という回答も7.3%ありました。

前回調査では、「毎日ある」が48.7%と最も多く、次いで「月に何度かある」(13.1%)、「年に何度かある」(9.8%)、「週に何度かある」(6.4%)という結果でした。

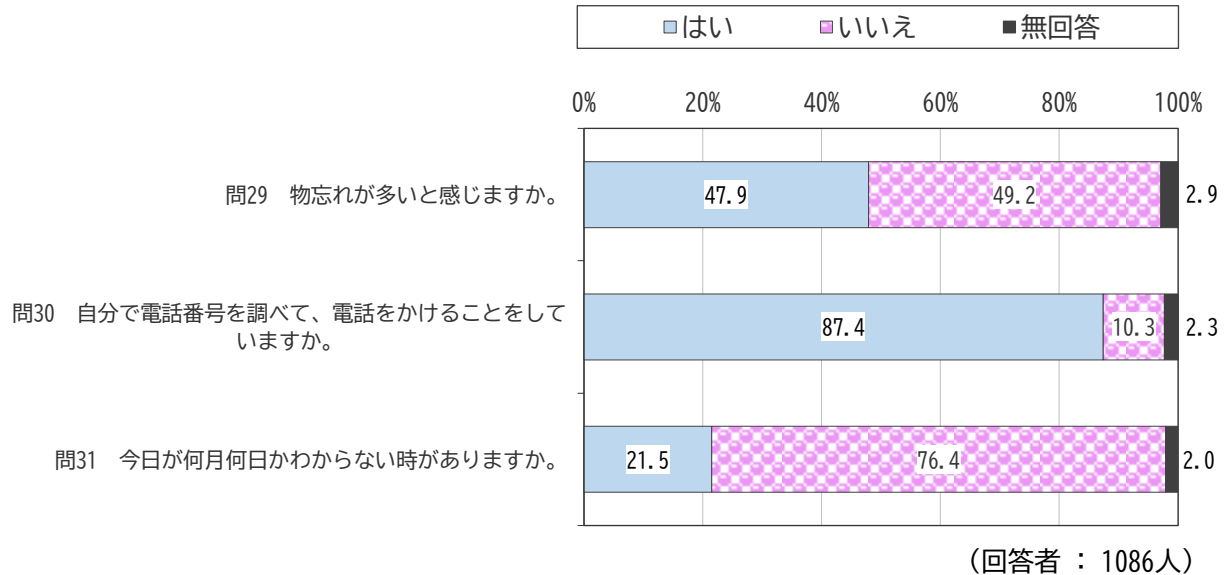
## 5 毎日の生活について

### (1) 物忘れについて

問29 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

問30 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

問31 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)



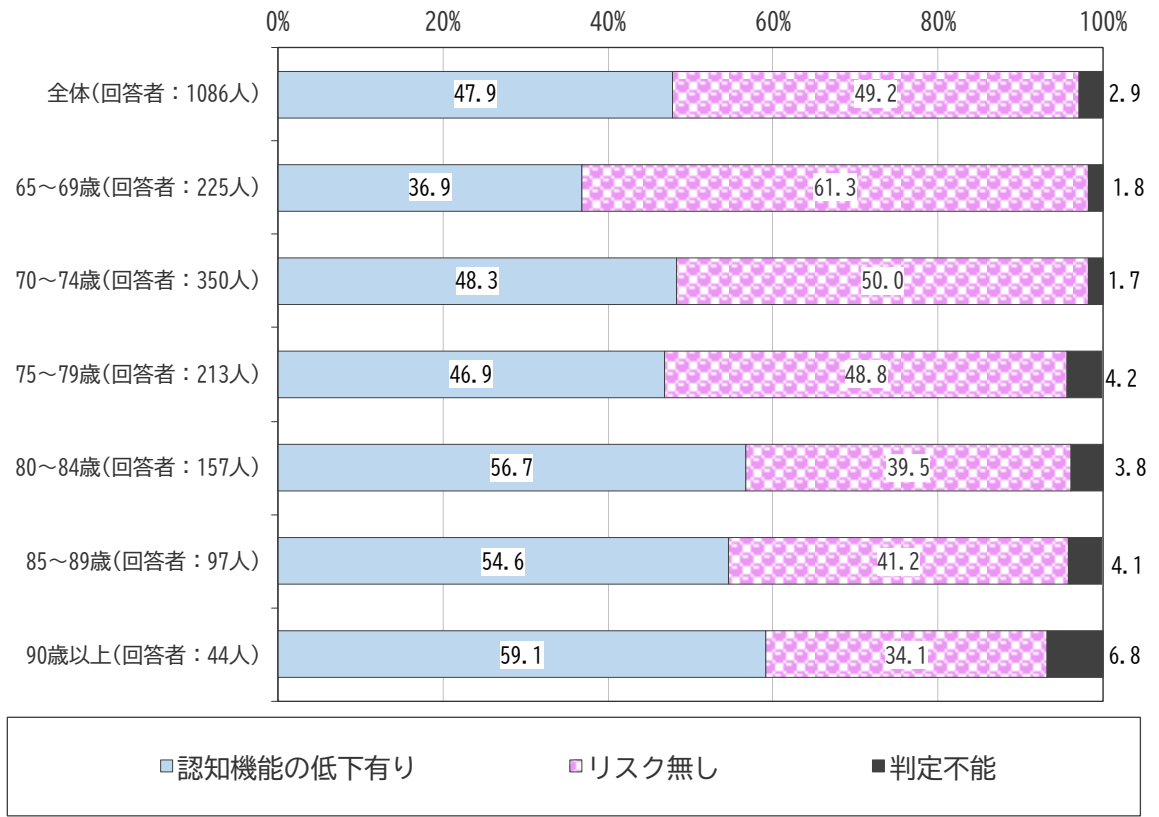
問29は認知機能の低下を問う設問です。「問29 物忘れが多いと感じますか」(47.9%：「はい」)と回答した場合は、認知機能の低下があると判定されます。

その他、「問30 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」では「はい」が87.4%、「問31 今日が何月何日かわからない時がありますか」では「はい」が21.5%となっています。

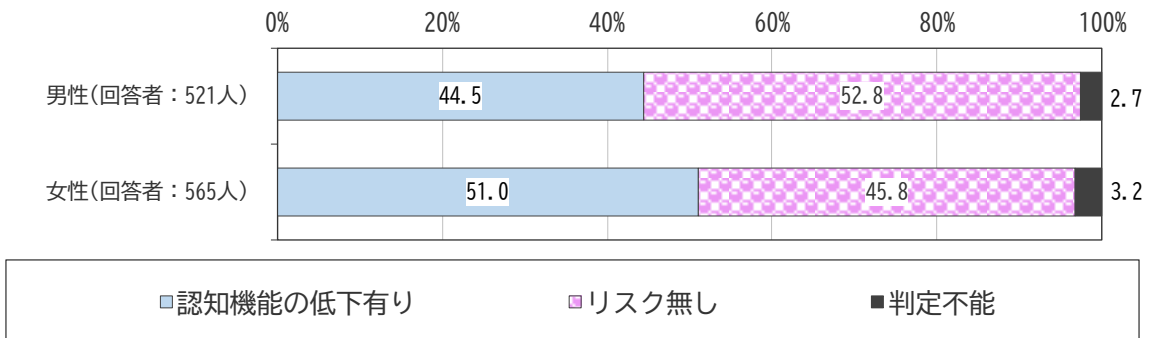


## (2) 認知機能の低下について

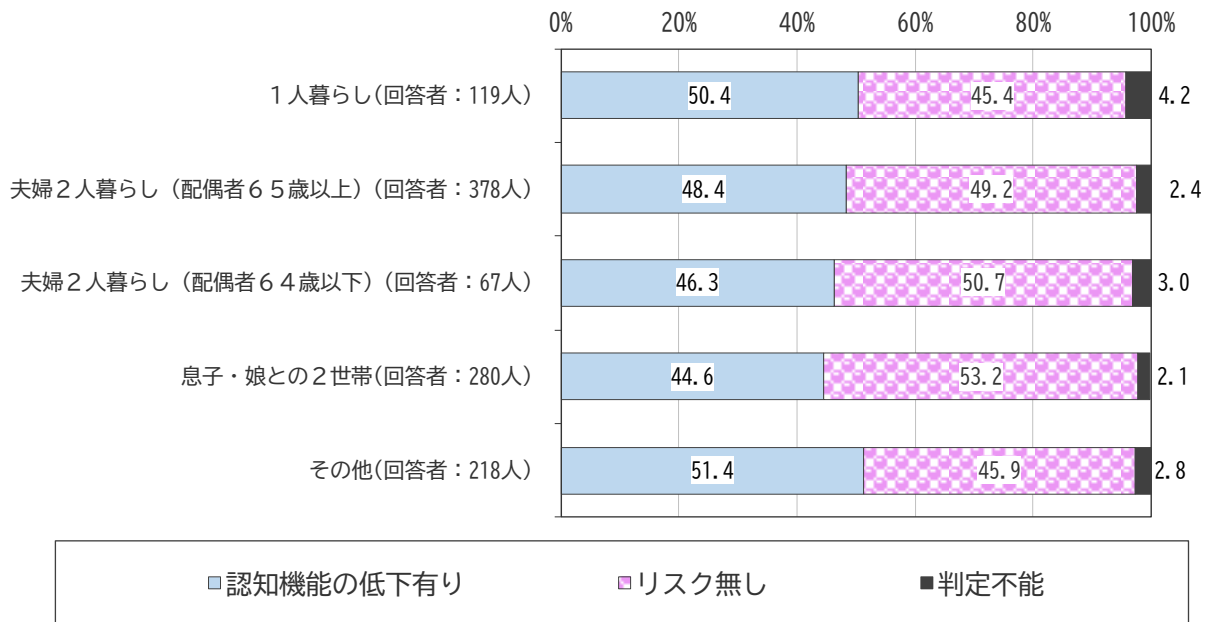
### ●年齢別認知機能の低下状況



### ●男女別認知機能の低下状況



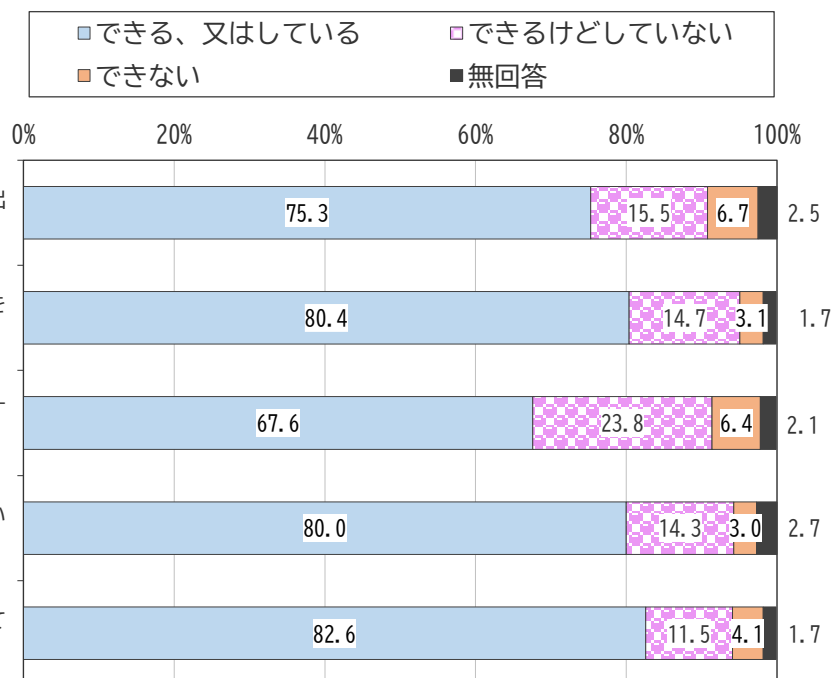
●世帯構成別認知機能の状況



認知機能の低下は、全体の47.9%が該当者となっています。  
 前回調査では、全体の47.4%が該当者となっており、0.5ポイント増加しています。  
 年齢別では、概ね年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、80歳以上の5割以上が該当者となっています。  
 男女別では、「男性」の44.5%、「女性」の51.0%が該当者となっており、女性に該当者がやや多くなっています。  
 世帯構成別では、「1人暮らし」に該当者が多く、50.4%が該当者となっています。

## (3) 日常生活の状況

- 問32 バスや電車を使って一人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)  
 問33 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)  
 問34 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)  
 問35 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)  
 問36 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)



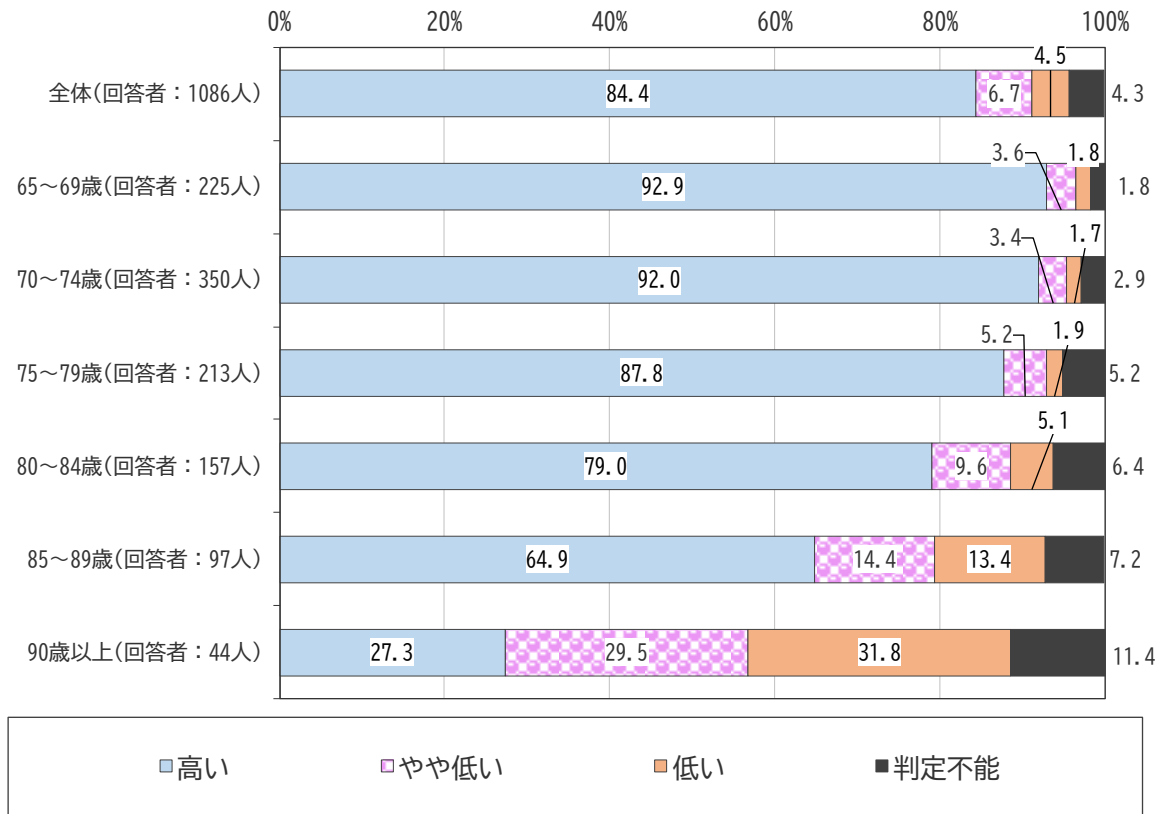
(回答者：1086人)

問32～36は、IADL※の低下を問う設問です。問32～36の項目について、「1. できるし、している」、「2. できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点でIADLを評価します。(5点：高い、4点：やや低い、3点以下：低い)。「問32 バスや電車一人で外出していますか(自家用車でも可)」(75.3%：「できるし、している」、15.5%：「できるけどしていない」)、「問33 自分で食品・日用品の買物をしていますか」(80.4%：「できるし、している」、14.7%：「できるけどしていない」)、「問34 自分で食事の用意をしていますか」(67.6%：「できるし、している」、23.8%：「できるけどしていない」)、「問35 自分で請求書の支払いをしていますか」(80.0%：「できるし、している」、14.3%：「できるけどしていない」)、「問36 自分で預貯金の出し入れをしていますか」(82.6%：「できるし、している」、11.5%：「できるけどしていない」)となっています。

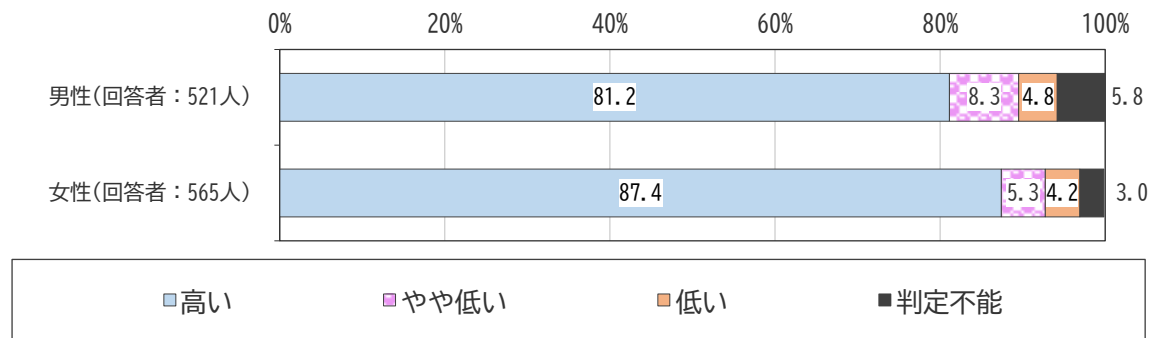
※IADL(手段的日常生活動作)：電話の使い方、買い物、家事、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理などADL(日常生活動作)よりも高い自立した日常生活をおくる能力

## (4) IADLの低下について

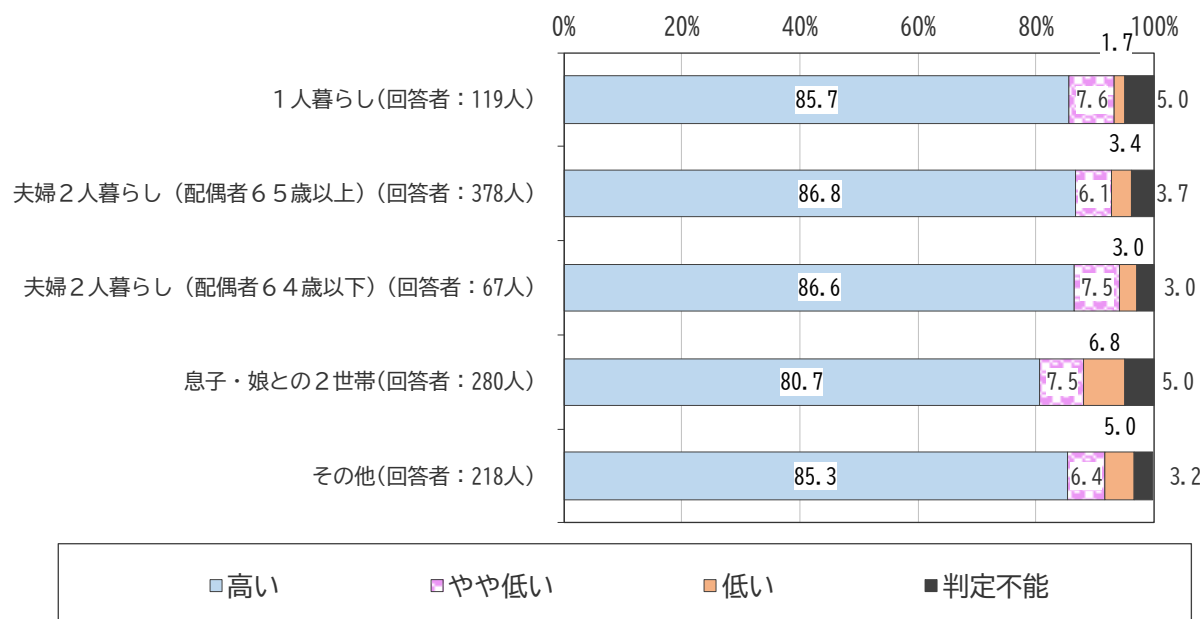
### ●年齢別 IADLの低下状況



### ●男女別 IADLの低下状況



●世帯構成別 I A D L の低下状況



IADLの低下は、「やや低い」、「低い」を低下者とする、全体の11.2%が該当者となっています。

前回調査では、全体の11.5%が該当者となっており、0.3ポイント減少しています。

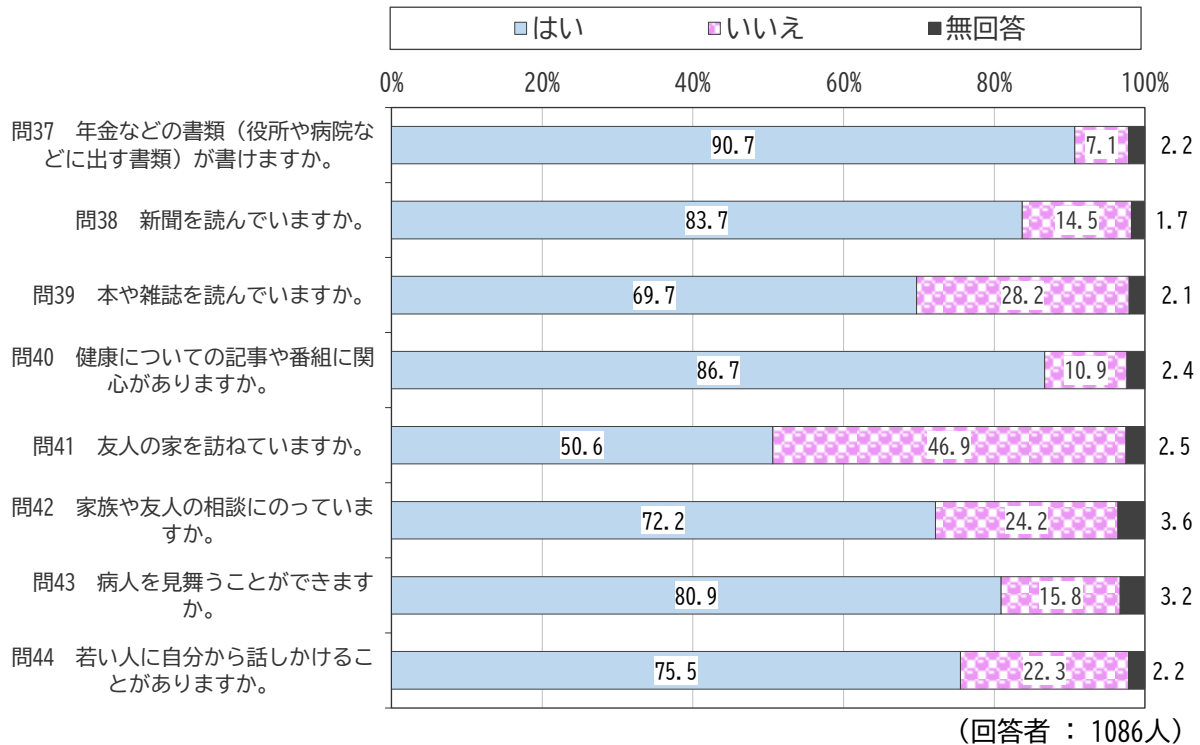
年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、90歳以上の約6割が該当者となっています。

男女別では、「男性」の13.1%、「女性」の9.5%が該当者となっており、男性に該当者が多くなっています。

世帯構成別では、「息子・娘との2世帯」に該当者が多く、14.3%が該当者となっています。

### (5) 社会参加の状況

- 問37 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○は1つ）  
 問38 新聞を読んでいますか。（○は1つ）  
 問39 本や雑誌を読んでいますか。（○は1つ）  
 問40 健康についての記事や番組に関心がありますか。（○は1つ）  
 問41 友人の家を訪ねていますか。（○は1つ）  
 問42 家族や友人の相談にのっていますか。（○は1つ）  
 問43 病人を見舞うことができますか。（○は1つ）  
 問44 若い人に自分から話しかけることができますか。（○は1つ）



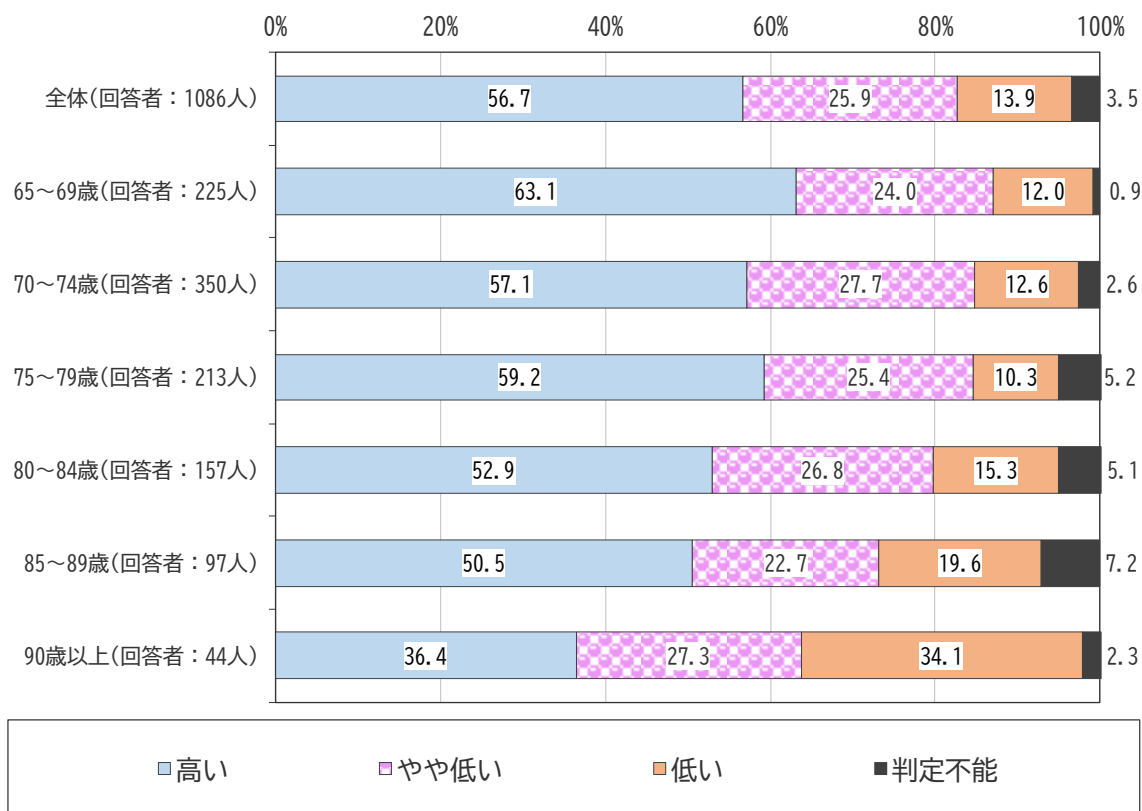
問37～40は知的能動性※について問う設問です。問37～40の項目について、「1. はい」と回答した場合を1点として、4点満点で知的能動性を評価します。（4点：高い、3点：やや低い、2点以下：低い）。「問37 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか」（90.7%：「はい」）、「問38 新聞を読んでいますか」（83.7%：「はい」）、「問39 本や雑誌を読んでいますか」（69.7%：「はい」）、「問40 健康についての記事や番組に関心がありますか」（86.7%：「はい」）となっています。

また、問41～44は社会的役割について問う設問です。問41～44の項目について、「1. はい」と回答した場合を1点として、4点満点で社会的役割を評価します。（4点：高い、3点：やや低い、2点以下：低い）。「問41 友人の家を訪ねていますか」（50.6%：「はい」）、「問42 家族や友人の相談にのっていますか」（72.2%：「はい」）、「問43 病人を見舞うことができますか」（80.9%：「はい」）、「問44 若い人に自分から話しかけることができますか」（75.5%：「はい」）となっています。

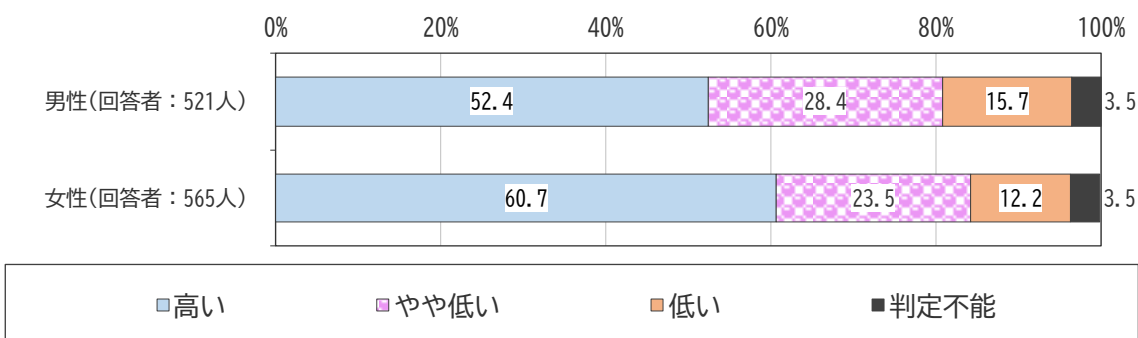
※知的能動性：情報を自ら収集して表現できる、探索、創作、余暇活動などの知的な活動をする事

## (6) 知的能動性の低下について

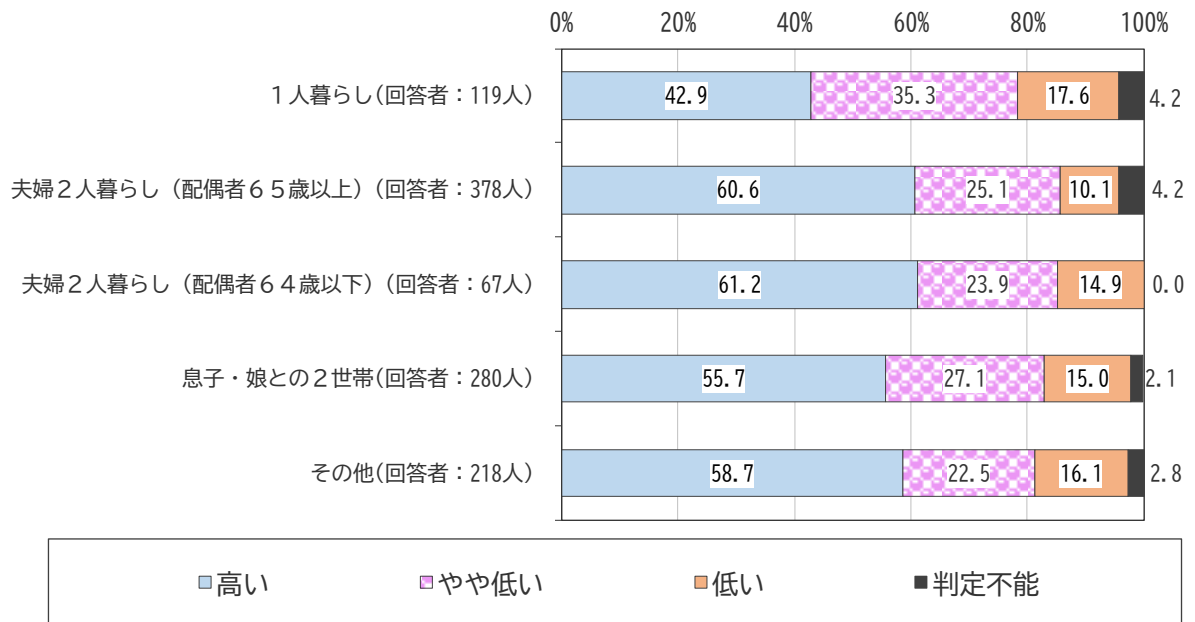
### ●年齢別知的能動性の低下状況



### ●男女別知的能動性の低下状況



●世帯構成別知的能動性の低下状況



知的能動性の低下は、「やや低い」、「低い」を低下者とする、全体の39.8%が該当者となっています。

前回調査では、全体の31.2%が該当者となっており、8.6ポイント増加しています。

年齢別では、概ね年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、90歳以上の6割が該当者となっています。

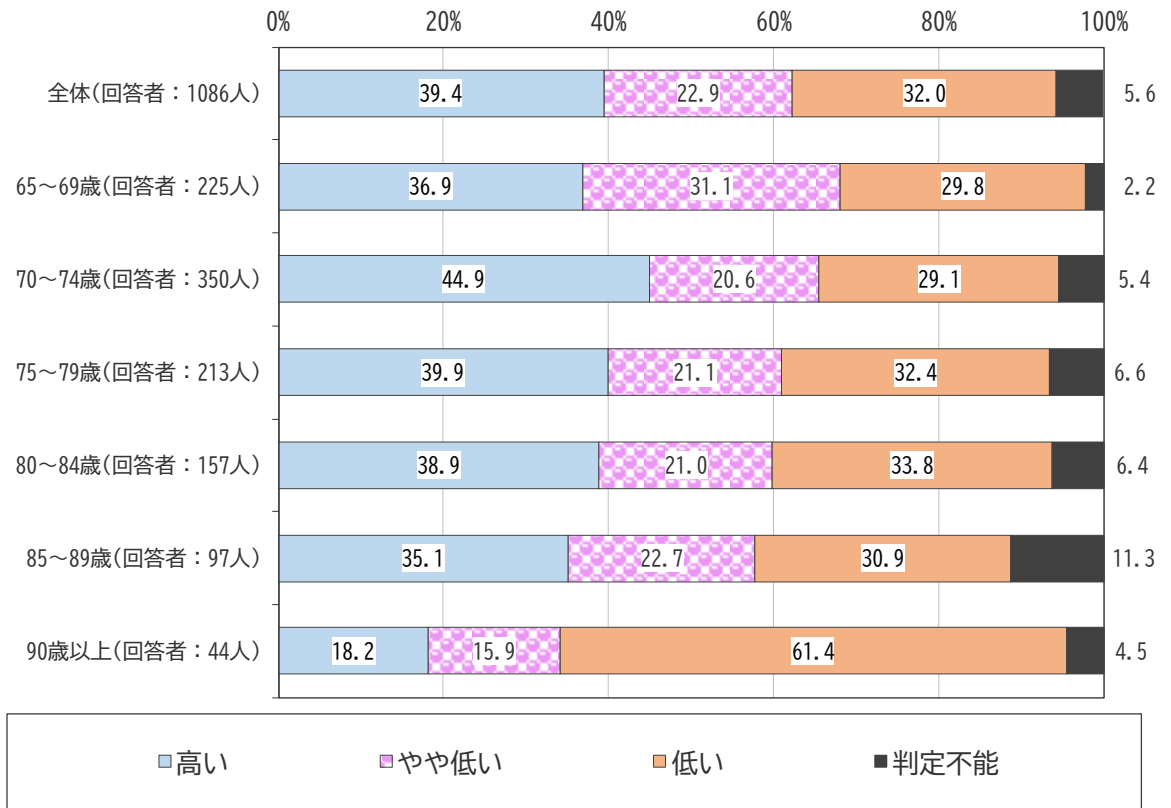
男女別では、「男性」の44.1%、「女性」の35.7%が該当者となっています。

世帯構成別では、「1人暮らし」に該当者が多く、52.9%が該当者となっています。

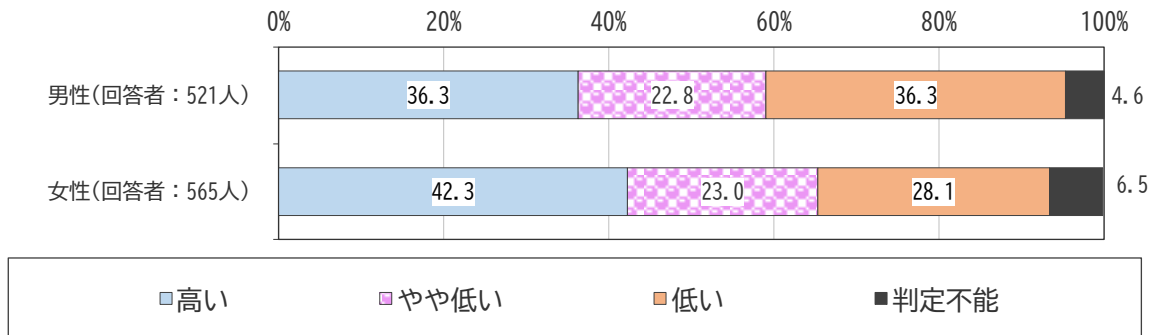


(7) 社会的役割の低下について

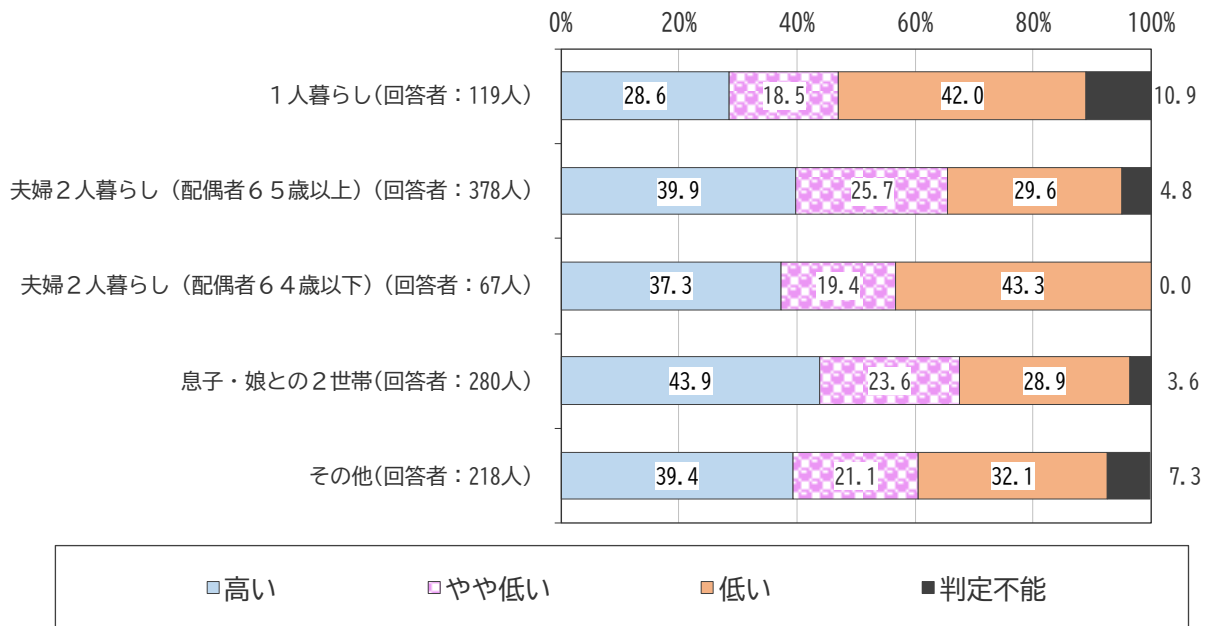
●年齢別社会的役割の低下状況



●男女別社会的役割の低下状況



●世帯構成別社会的役割の低下状況



社会的役割の低下は、「やや低い」、「低い」を低下者とする、全体の54.9%が該当者となっています。

前回調査では、全体の44.2%が該当者となっており、10.7ポイント増加しています。

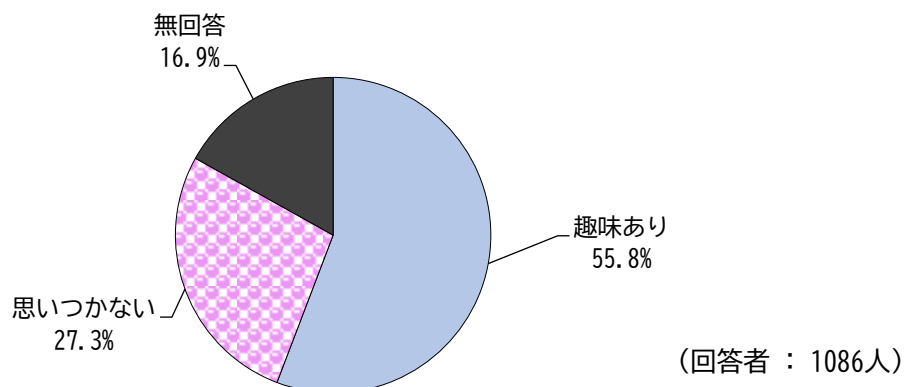
年齢別では、すべての年齢層で5割以上が該当者となっています。

男女別では、「男性」の59.1%、「女性」の51.1%が該当者となっており、男性に該当者が多くなっています。

世帯構成別では、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」に該当者が多く、62.7%が該当者となっています。

## (8) 趣味について

問45 趣味はありますか。(○は1つ)

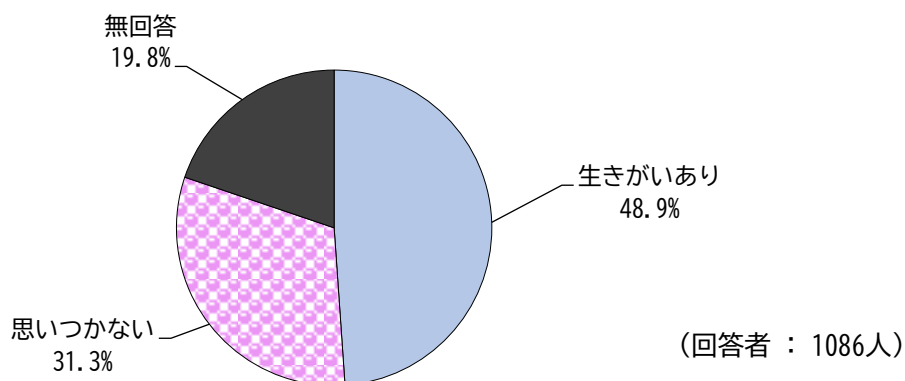


趣味があるかは、「趣味あり」が55.8%、「思いつかない」が27.3%となっています。

また、趣味がある方の具体的な内容では、「カラオケ」、「読書」、「家庭菜園」、「手芸」、「スポーツ」などの回答がありました。

## (9) 生きがいについて

問46 生きがいはありますか。(○は1つ)



生きがいがあるかは、「生きがいあり」が48.9%、「思いつかない」が31.3%となっています。

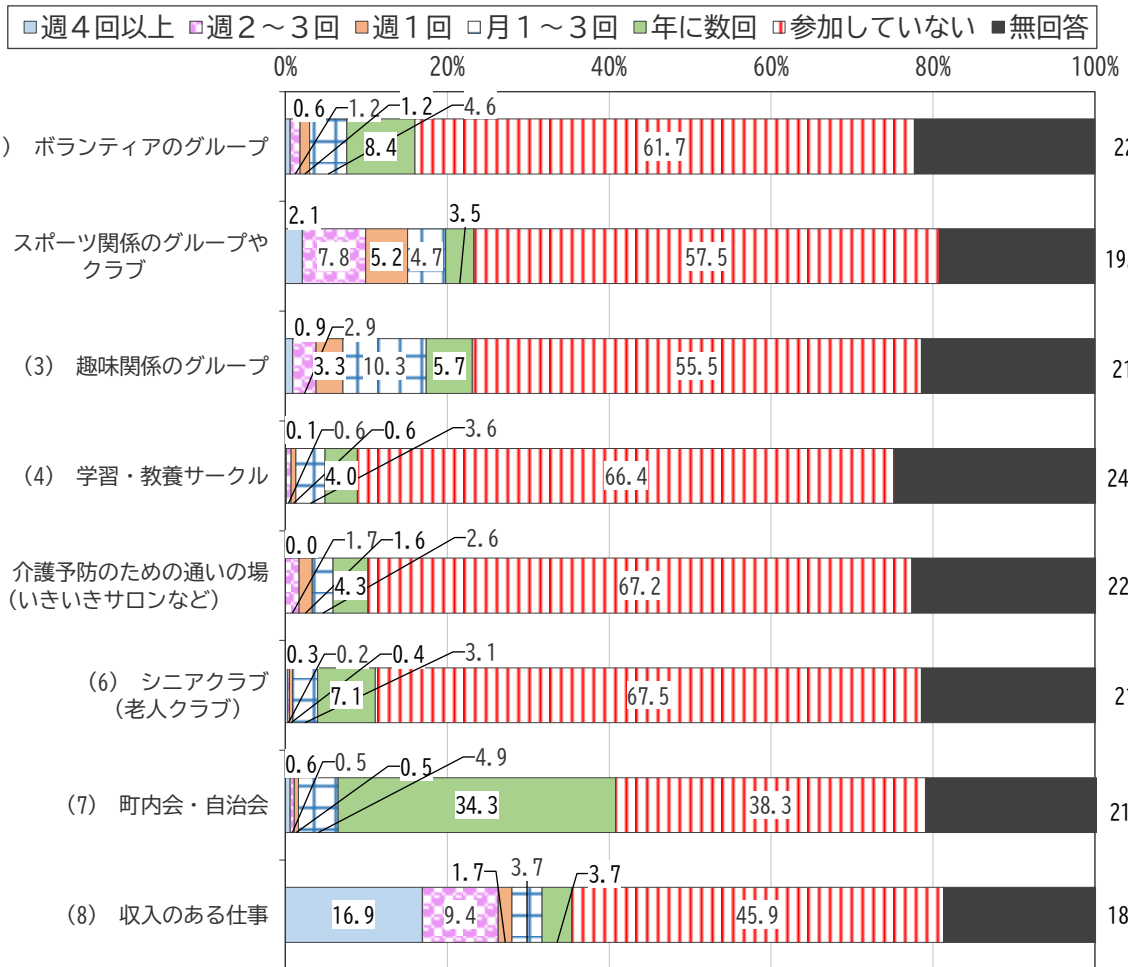
また、生きがいがある方の具体的な内容では、「家族」、「子ども、孫の成長」、「ボランティア」、「家庭菜園」、「スポーツ」、「仕事」、「旅行」などの回答がありました。

## 6 地域での活動について

### (1) グループ活動等の参加頻度

問47 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※ (1) ~ (8) それぞれに回答してください。



(回答者 : 1086人)

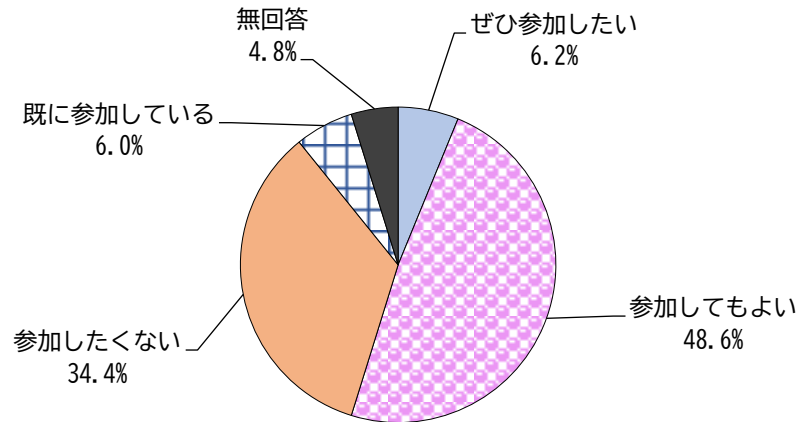
グループ活動等にどのくらいの頻度で参加しているかは、「(7) 町内会・自治会」の参加状況が比較的高く、「参加していない」を除いて、4割以上が参加しています。

また、「参加していない」という回答が最も多かったのは、「(6) シニアクラブ(老人クラブ)」(67.5%)となっています。

前回調査から、(1) ~ (8) のすべての項目で、「参加していない」が10ポイント以上増加しています。

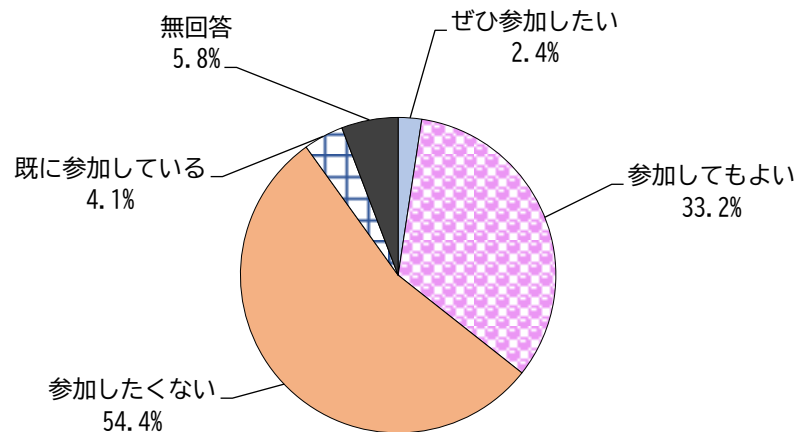
## (2) 社会参加について

問48 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)



(回答者：1086人)

問49 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)



(回答者：1086人)

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいかでは、「ぜひ参加したい」(6.2%)、「参加してもよい」(48.6%)を合わせると、54.8%に参加意向があります。

前回調査では、あなたはその活動に参加者として参加してみたいかでは、「ぜひ参加したい」(7.6%)、「参加してもよい」(41.5%)を合わせると、49.1%に参加意向があるという結果でした。

また、企画・運営としての参加意向は、「ぜひ参加したい」(2.4%)、「参加してもよい」(33.2%)を合わせると、35.6%に参加意向があります。

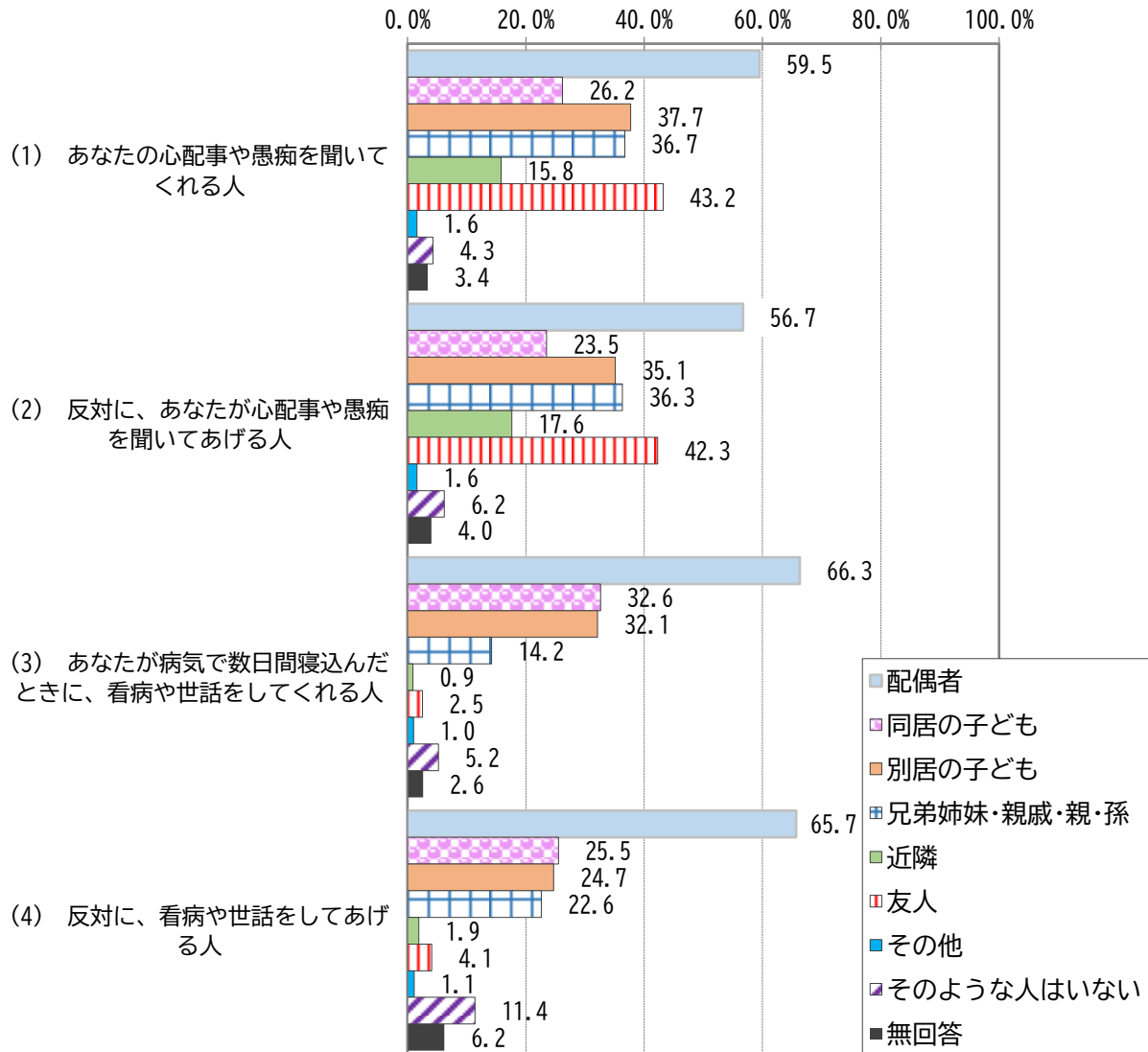
前回調査では、あなたはその活動に参加者として参加してみたいかでは、「ぜひ参加したい」(2.7%)、「参加してもよい」(31.1%)を合わせると、33.8%に参加意向があるという結果でした。

## 7 たすけあいについて

### (1) 「たすけあい」について

問50 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

あてはまる人すべてに○をつけてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。

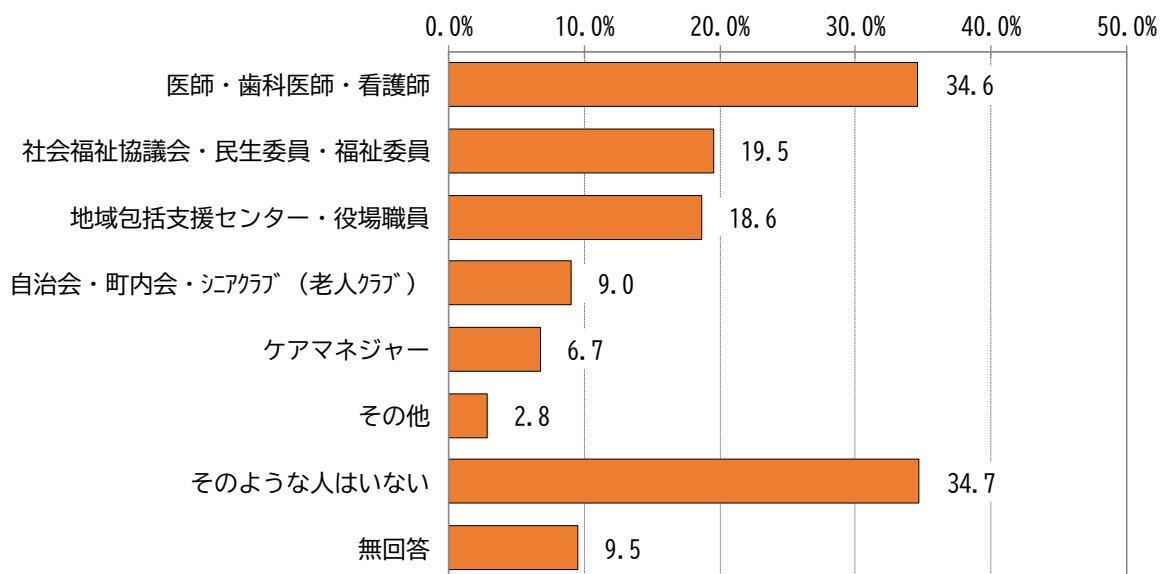


(回答者：1086人)

あなたとまわりの人の「たすけあい」については、全ての項目において「配偶者」という回答が最も多くなっています。

## (2) 家族や友人・知人以外の相談相手

問51 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（〇はいくつでも）



(回答者：1086人)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、「医師・歯科医師・看護師」が34.6%と最も多く、次いで「社会福祉協議会・民生委員・福祉委員」（19.5%）、「地域包括支援センター・役場職員」（18.6%）と続いています。

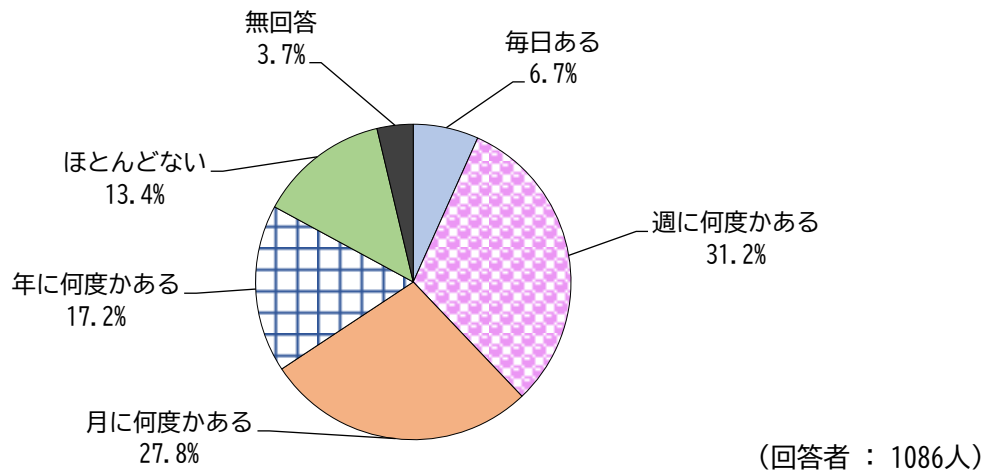
また、34.7%が「そのような人はいない」と回答しています。

前回調査では、「そのような人はいない」が26.5%となっており、8.2ポイント増加しています。

### (3) 友人関係について

問52 友人関係についておうかがいします。

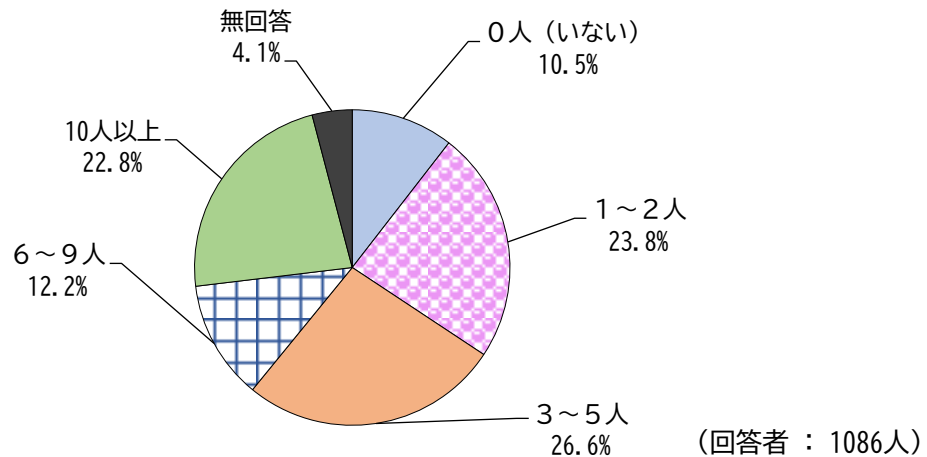
(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)



友人・知人と会う頻度は「週に何度かある」が31.2%と最も多く、次いで「月に何度かある」(27.8%)、「年に何度かある」(17.2%)と続いています。

前回調査では、「週に何度かある」が34.4%と最も多く、次いで「月に何度かある」(30.3%)、「年に何度かある」(13.3%)という結果でした。

(2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

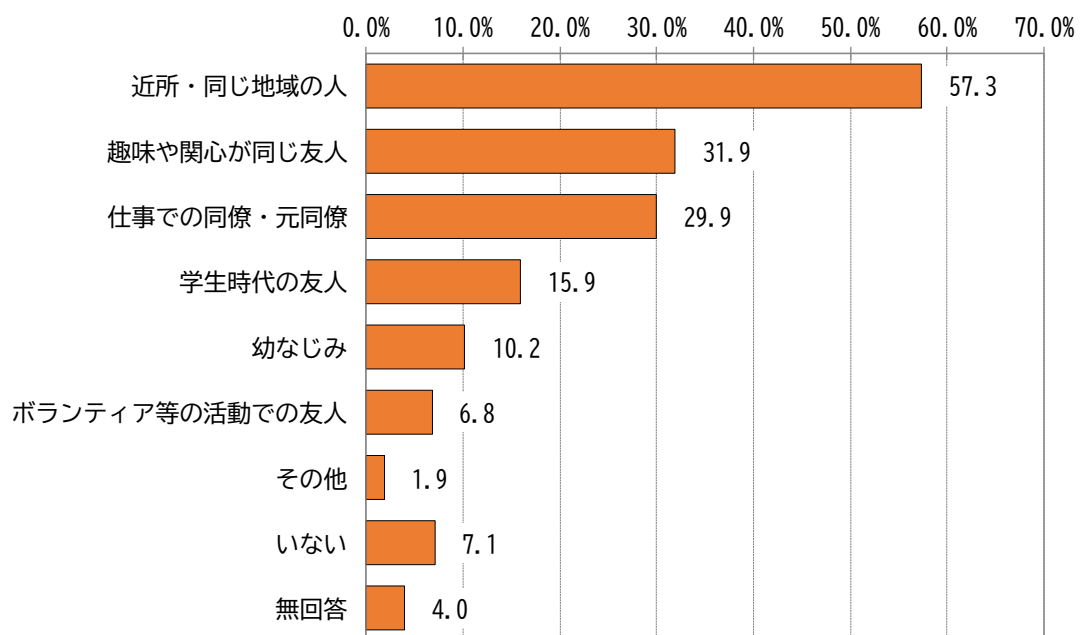


この1か月間、何人の友人・知人と会ったかは、「3~5人」が26.6%と最も多く、次いで「1~2人」(23.8%)、「10人以上」(22.8%)と続いています。

前回調査では、「10人以上」が32.4%と最も多く、次いで「3~5人」(23.8%)、「1~2人」(17.5%)という結果でした。



## (3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)



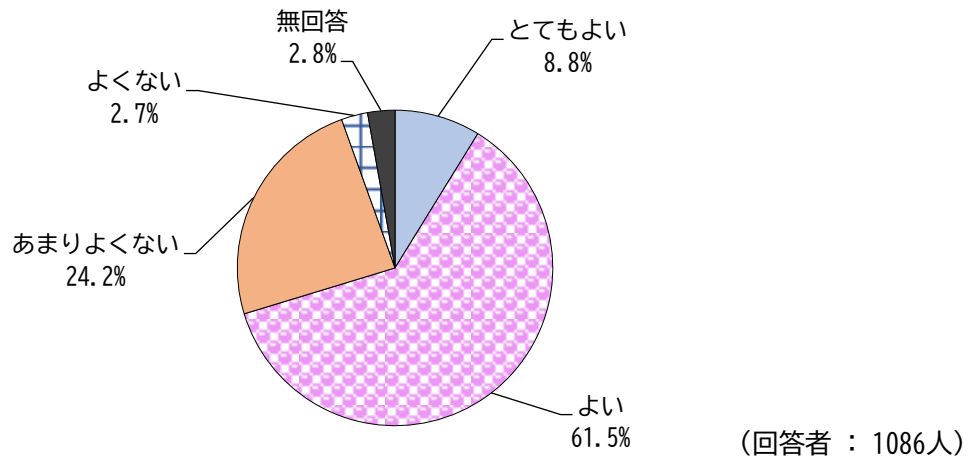
(回答者：1086人)

よく会う友人・知人はどんな関係かは、「近所・同じ地域の人」が57.3%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(31.9%)、「仕事での同僚・元同僚」(29.9%)と続いています。

## 8 健康について

### (1) 健康状態について

問53 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

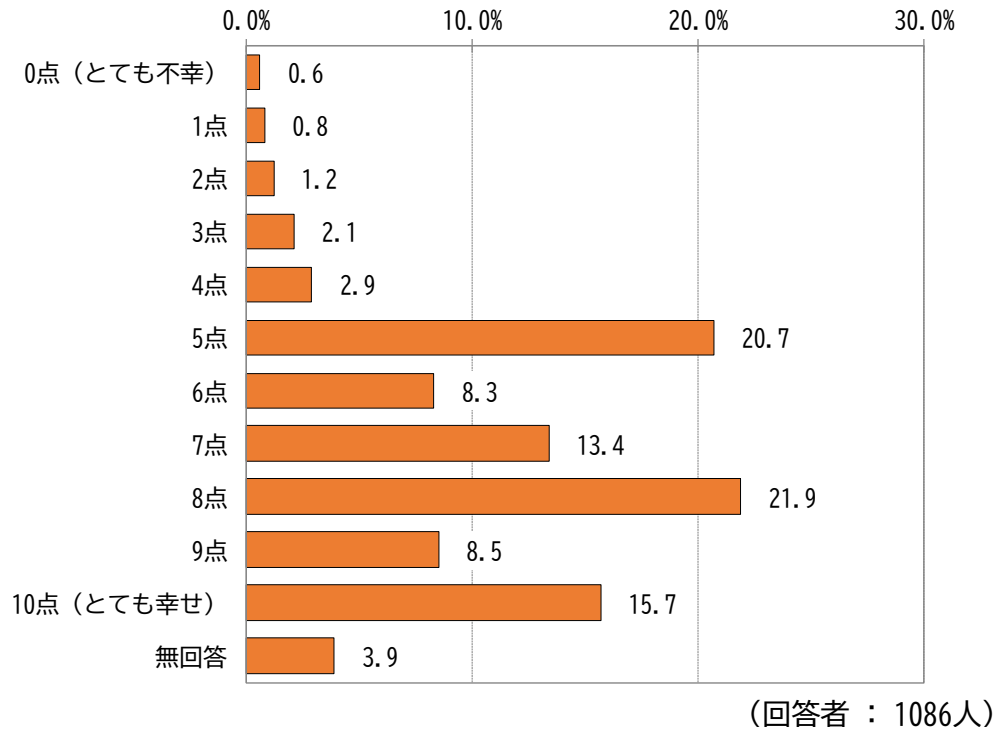


現在の健康状態は、「とてもよい」(8.8%)、「よい」(61.5%)を合わせると、70.3%が健康状態はよいと回答している。また、「よくない」(2.7%)、「あまりよくない」(24.2%)を合わせると、26.9%が健康状態はよくないと回答しています。

前回調査では、「とてもよい」(7.5%)、「よい」(61.5%)を合わせると、69.0%が健康状態はよいという結果で、「よくない」(3.6%)、「あまりよくない」(24.0%)を合わせると、27.6%が健康状態はよくないという結果でした。

(2) 現在どの程度幸せか

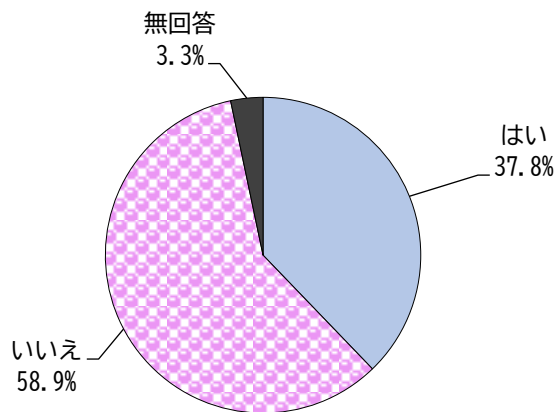
問54 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



現在どの程度幸せかは、「8点」が21.9%と最も多く、次いで「5点」(20.7%)、「10点」(15.7%)と続いており、5点以上の回答が約9割となっています。

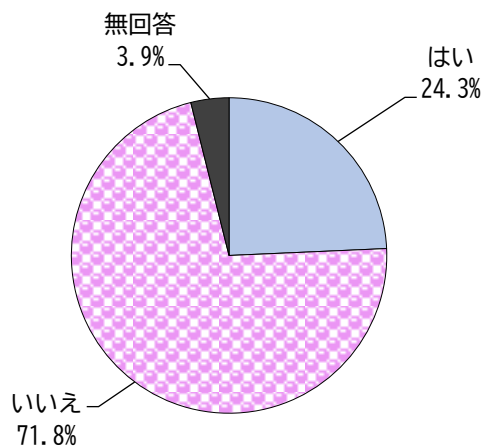
### (3) こころの健康について

問55 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)



(回答者：1086人)

問56 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

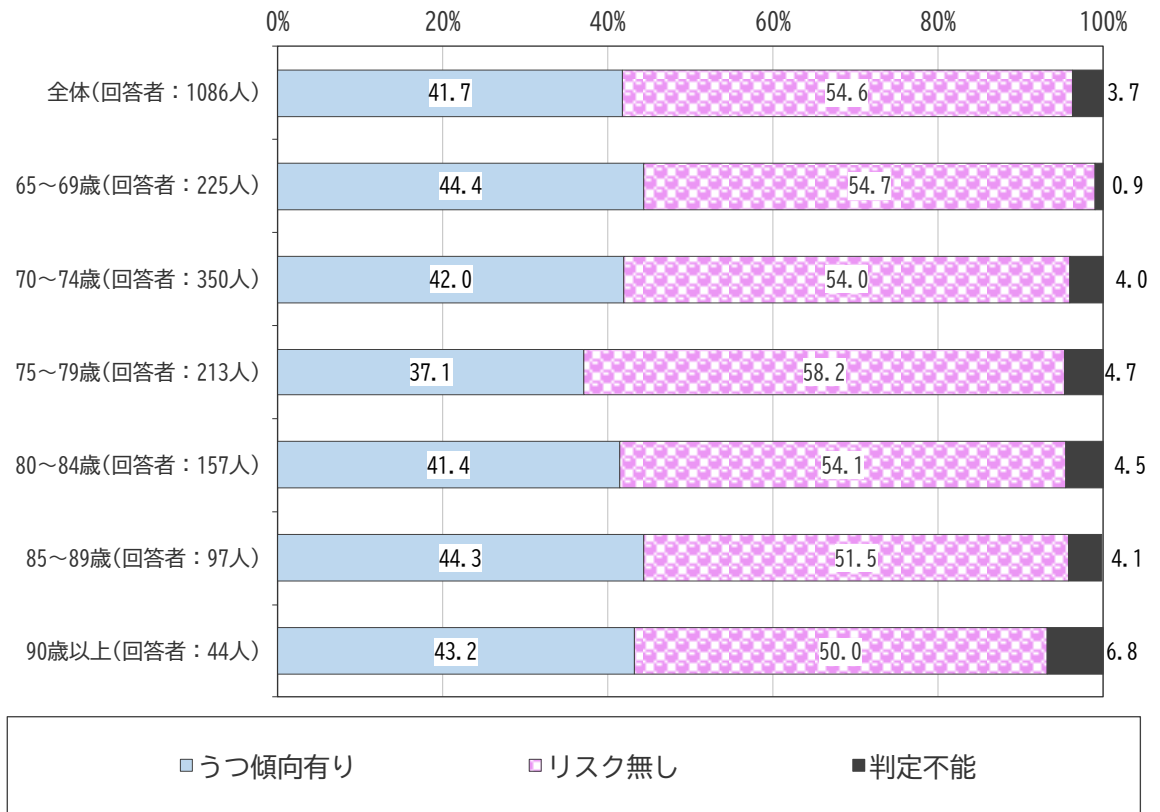


(回答者：1086人)

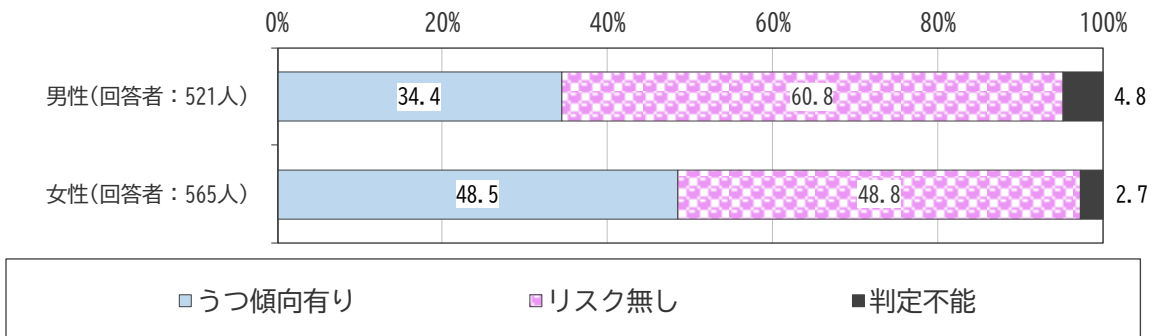
問55、56はうつ傾向を問う設問です。各項目の該当割合は、「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」(37.8%：「はい」)、「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」(24.3%：「はい」)となっており、いずれか1つの設問に該当すると、うつ傾向と判定されます。

(4) うつ傾向について

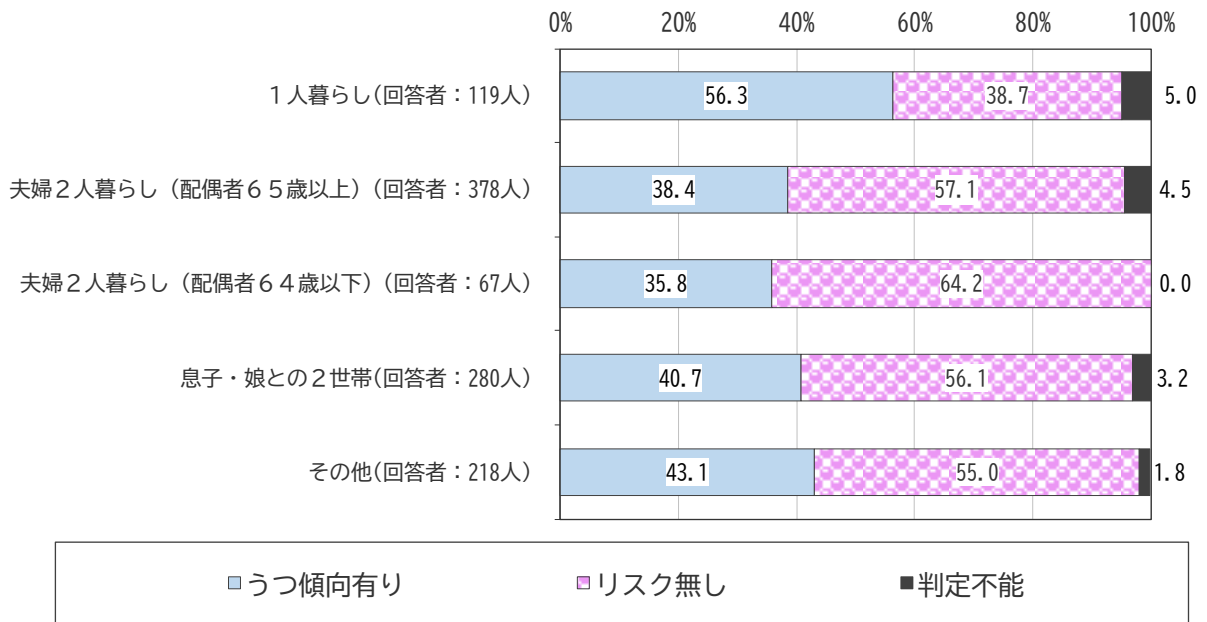
●年齢別うつ傾向



●男女別うつ傾向



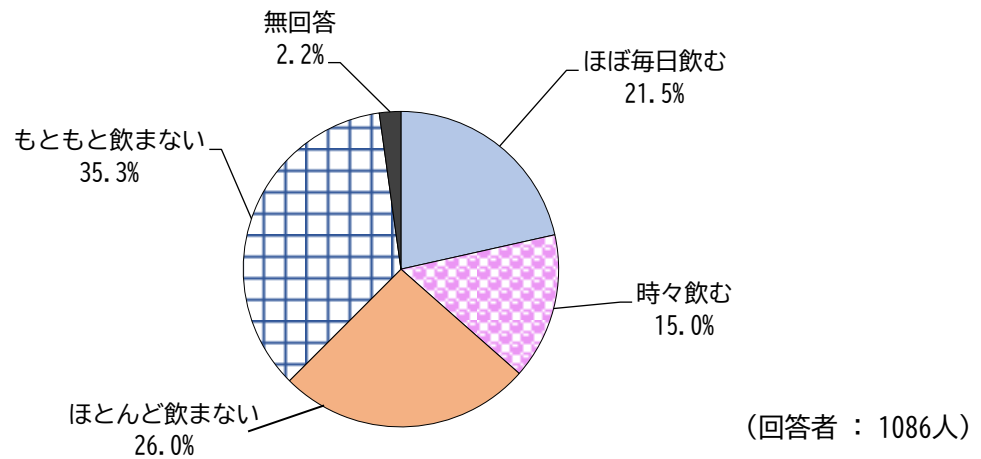
●世帯構成別うつ傾向



うつ傾向は、全体の41.7%が該当者となっています。  
 前回調査では、全体の39.3%が該当者となっており、2.4ポイント増加しています。  
 年齢別では、すべての年齢層で約4割が該当者となっています。  
 男女別では、「男性」の34.4%、「女性」の48.5%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっています。  
 世帯構成別では、「1人暮らし」に該当者が多く、56.3%が該当者となっています。  
 前回調査では、「1人暮らし」の該当者が42.7%となっており、13.6ポイント増加しています。

### (5) 飲酒について

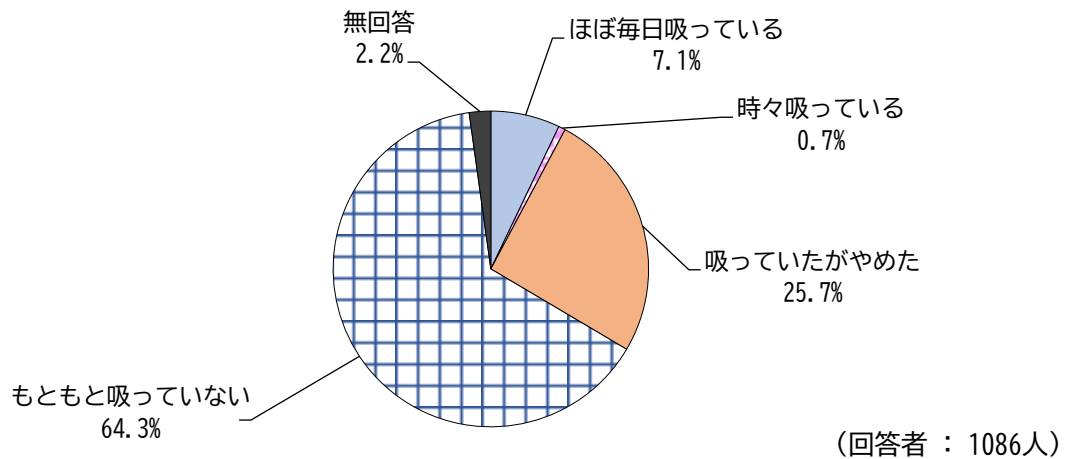
問57 お酒は飲みますか。(○は1つ)



飲酒については、「もともと飲まない」が35.3%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」(26.0%)、「ほぼ毎日飲む」(21.5%)、「時々飲む」(15.0%)となっています。

### (6) 喫煙について

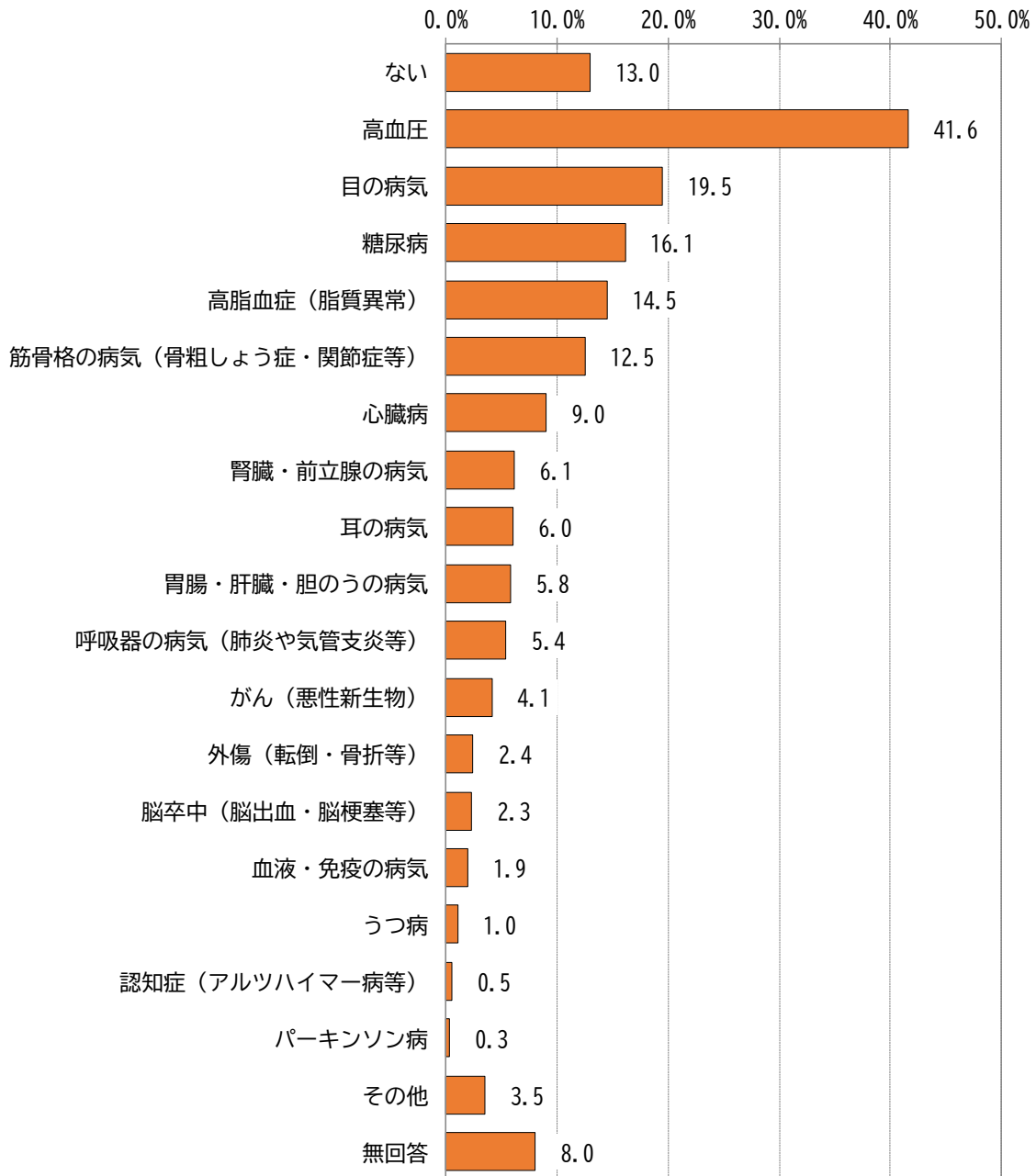
問58 タバコは吸っていますか。(○は1つ)



喫煙については、「もともと吸っていない」が64.3%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(25.7%)、「ほぼ毎日吸っている」(7.1%)、「時々吸っている」(0.7%)となっています。

(7) 治療中、または後遺症のある病気

問59 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)



(回答者：1086人)

現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が41.6%と最も多く、次いで「目の病気」(19.5%)、「糖尿病」(16.1%)と続いています。

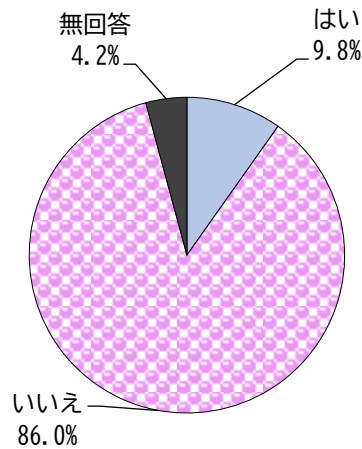
前回調査では、「高血圧」が36.9%と最も多く、次いで「目の病気」(17.5%)、「糖尿病」(14.1%)という結果でした。



## 9 認知症への対応について

### (1) 認知症状の有無

問60 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)



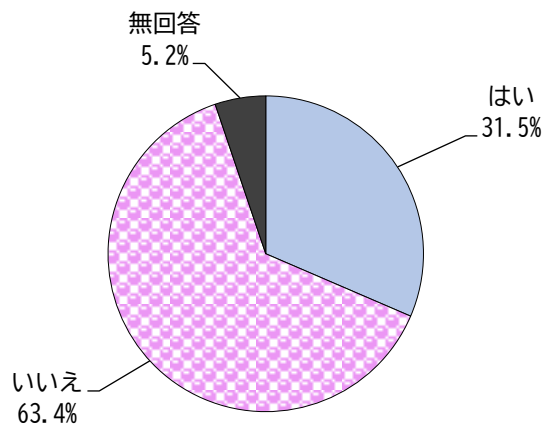
(回答者：1086人)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかは、「はい」(9.8%)、「いいえ」(86.0%)となっています。

前回調査では、「はい」(8.6%)、「いいえ」(79.1%)という結果でした。

### (2) 認知症の相談窓口

問61 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

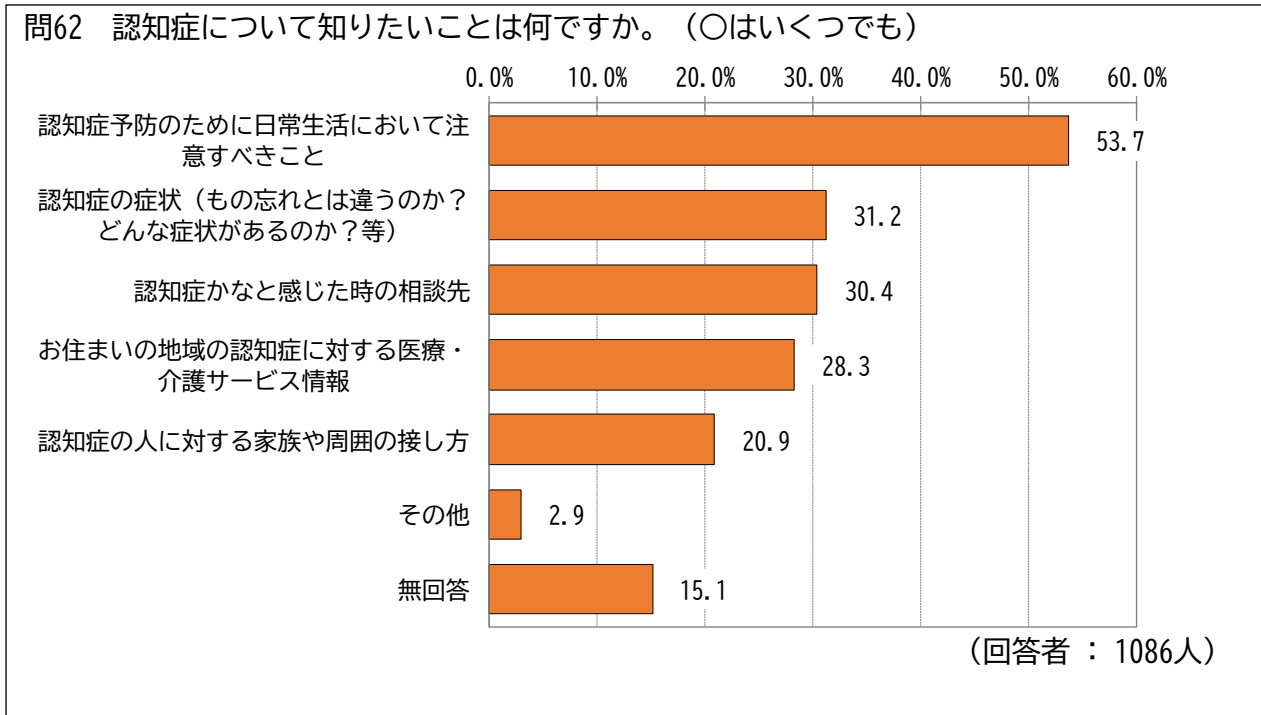


(回答者：1086人)

認知症に関する相談窓口を知っているかは、「はい」(31.5%)、「いいえ」(63.4%)となっています。

前回調査では、「はい」(30.6%)、「いいえ」(56.6%)という結果でした。

### (3) 認知症について知りたいこと

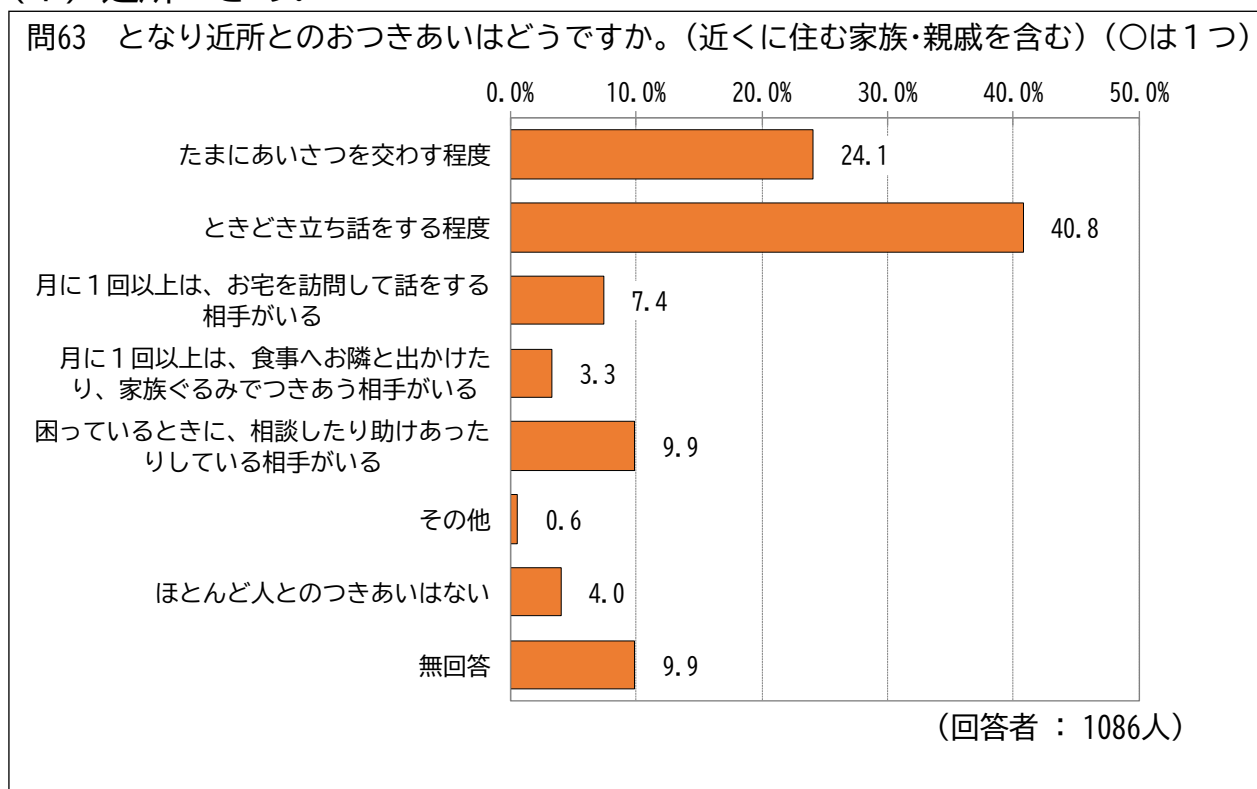


認知症について知りたいことは、「認知症予防のために日常生活において注意すべきこと」が53.7%と最も多く、次いで「認知症の症状(もの忘れとは違うのか?どんな症状があるのか?等)」(31.2%)、「認知症かなと感じた時の相談先」(30.4%)と続いています。

前回調査では、「認知症予防のために日常生活において注意すべきこと」が51.0%と最も多く、次いで「お住まいの地域の認知症に対する医療・介護サービス情報」(26.6%)、「認知症かなと感じた時の相談先」(25.3%)という結果でした。

## 10 地域生活とその支援について

## (1) 近所づきあい



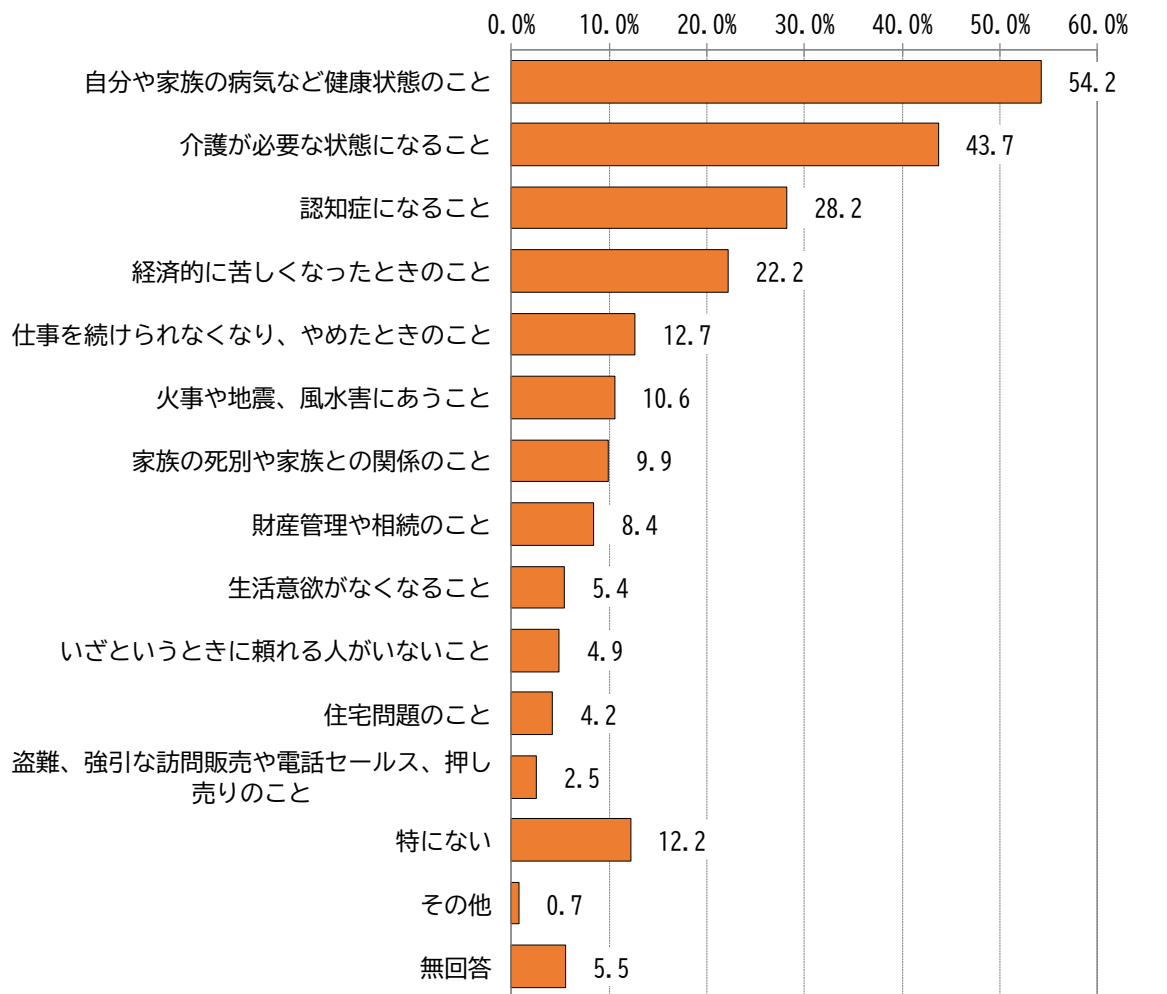
近所づきあいは、「ときどき立ち話をする程度」が40.8%と最も多く、次いで「たまにあいさつを交わす程度」(24.1%)、「困っているときに、相談したり助けあったりしている相手がいる」(9.9%)と続いています。

また、4.0%が「ほとんど人とのつきあいはない」と回答しています。

前回調査では、「ときどき立ち話をする程度」が37.9%と最も多く、次いで「たまにあいさつを交わす程度」(19.8%)、「困っているときに、相談したり助けあったりしている相手がいる」(11.9%)という結果でした。

## (2) 不安に思っていること

問64 現在、不安に思っていることや考えなくてはならないことはどのようなことですか。  
(○は3つまで)



(回答者：1086人)

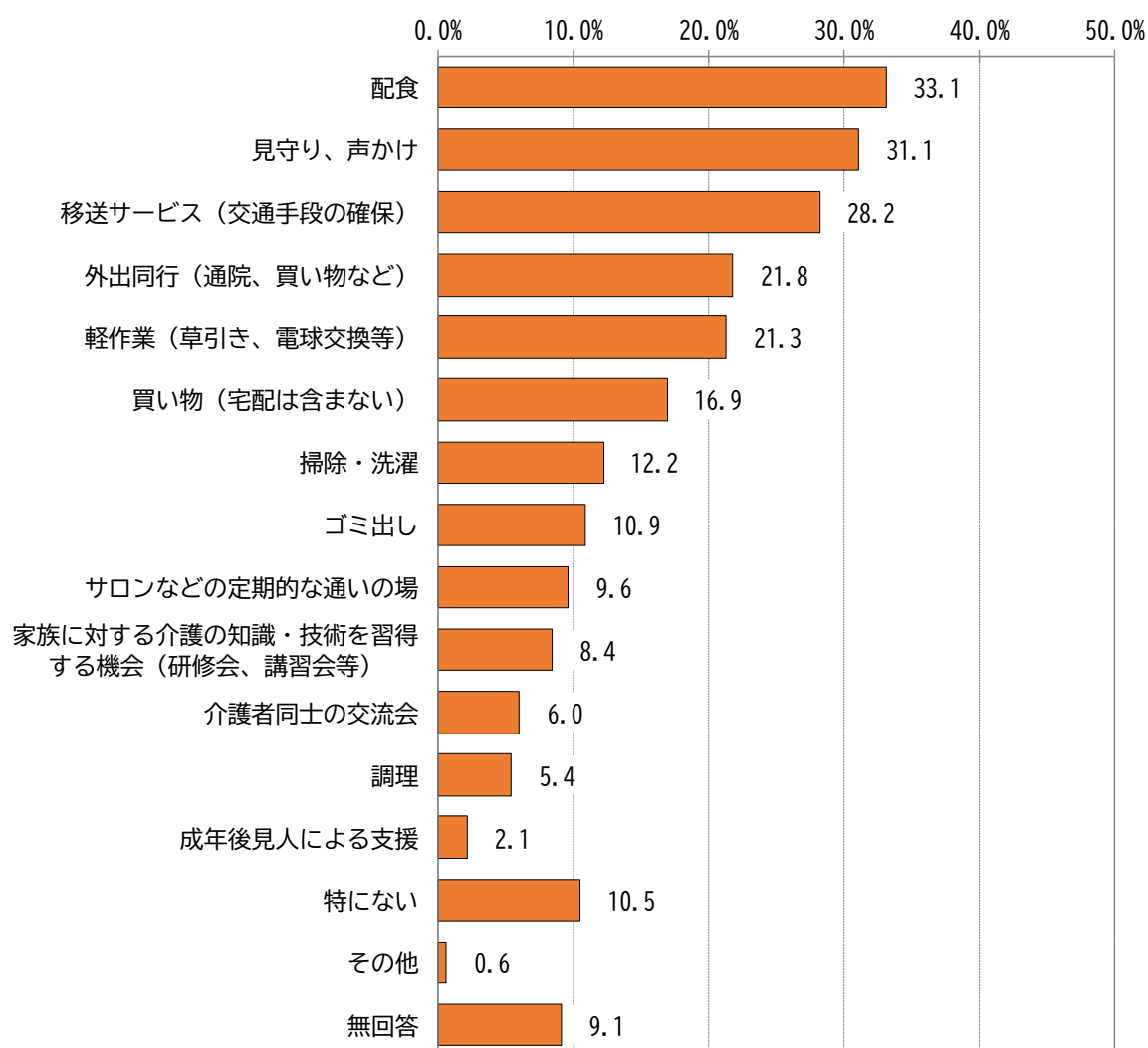
現在、不安に思っていることや考えなくてはならないことは、「自分や家族の病気など健康状態のこと」が54.2%と最も多く、次いで「介護が必要な状態になること」(43.7%)、「認知症になること」(28.2%)と続いています。

また、12.2%が「特にない」と回答しています。

前回調査では、「自分や家族の病気など健康状態のこと」が49.3%と最も多く、次いで「介護が必要な状態になること」(41.3%)、「認知症になること」(23.8%)という結果でした。

## (3) 高齢者を地域で支える生活支援

問65 高齢者の方を地域で支えるためにどのような生活支援があるといいと思いますか。  
(○は3つまで)



(回答者：1086人)

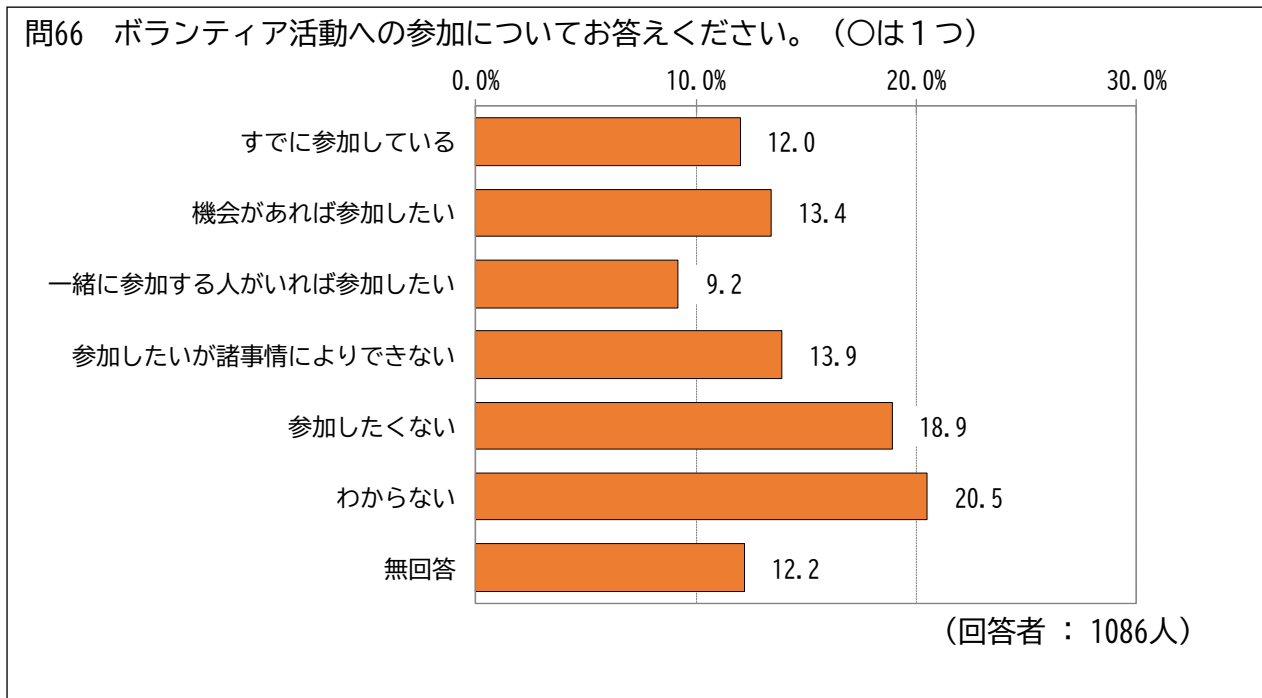
高齢者を地域で支える生活支援は、「配食」が33.1%と最も多く、次いで「見守り、声かけ」(31.1%)、「移送サービス(交通手段の確保)」(28.2%)と続いている。

また、10.5%が「特にない」と回答しています。

前回調査は選択肢が異なっているが、「防犯や安否確認の声かけ」が32.1%と最も多く、次いで「話し相手や相談相手」(25.2%)、「外出支援(交通手段の確保)」(25.0%)という結果でした。

## 11 ボランティア活動への参加について

### (1) ボランティア活動への参加について



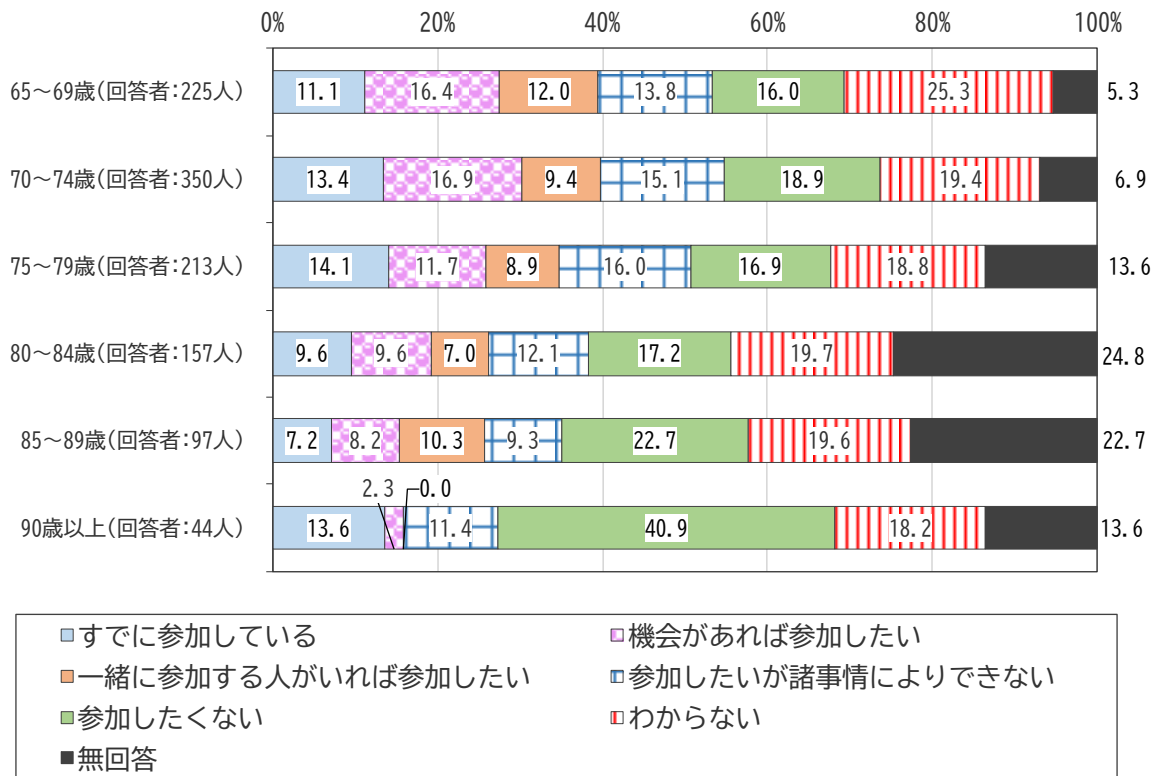
ボランティア活動への参加は、「機会があれば参加したい」(13.4%)、「すでに参加している」(12.0%)、「一緒に参加する人がいれば参加したい」(9.2%)となっており、合わせると34.6%に参加意向があります。

また、「参加したいが諸事情によりできない」(13.9%)、「参加したくない」(18.9%)となっています。

前回調査では、「機会があれば参加したい」が15.3%で最も多く、「すでに参加している」(13.6%)、「一緒に参加する人がいれば参加したい」(8.3%)となっており、合わせると37.2%に参加意向があるという結果でした。

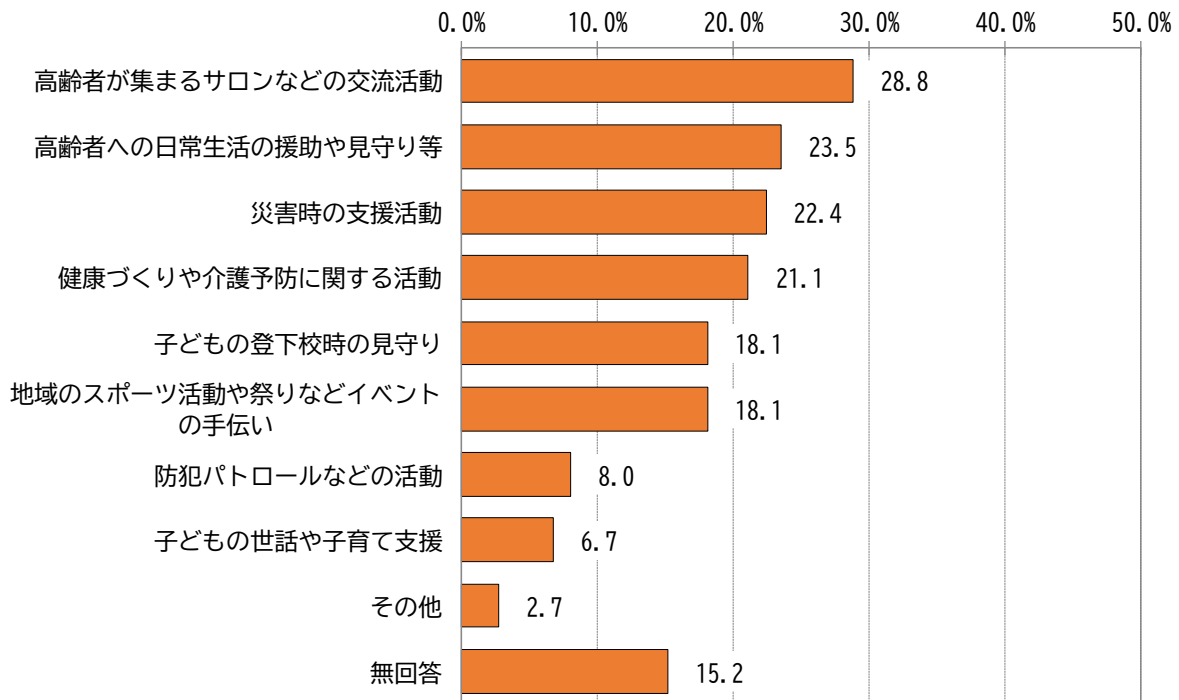
年齢別では、年齢が上がるにつれ、参加意向は低下するものの、前期高齢者(65～74歳)の約4割に参加意向があります。

●年齢別ボランティア活動への参加意向



(2) できること、やってみたいこと

問66-1 問66で「1. すでに参加している」「2. 機会があれば参加したい」「3. 一緒に参加する人がいれば参加したい」とお答えの方にお聞きします。どのようなボランティア活動ができそう、やってみたいと思いますか。(〇はいくつでも)



(回答者 : 375人)

問66で「1. すでに参加している」、「2. 機会があれば参加したい」、「3. 一緒に参加する人がいれば参加したい」と回答した375人に、どのようなボランティア活動ができそう、やってみたいと思うか尋ねると、「高齢者が集まるサロンなどの交流活動」が28.8%で最も多く、次いで「高齢者への日常生活の援助や見守り等」(23.5%)、「災害時の支援活動」(22.4%)と続いています。

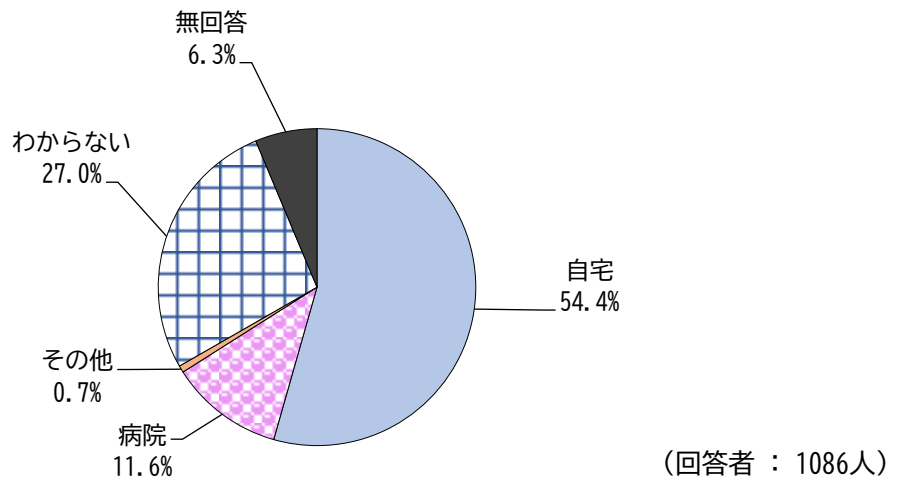
前回調査では、「高齢者が集まるサロンなどの交流活動」が37.5%で最も多く、次いで「災害時の支援活動」(23.7%)、「健康づくりや介護予防に関する活動」(22.8%)という結果でした。



## 12 在宅医療・終末期医療について

### (1) 人生の最期を迎えたい場所について

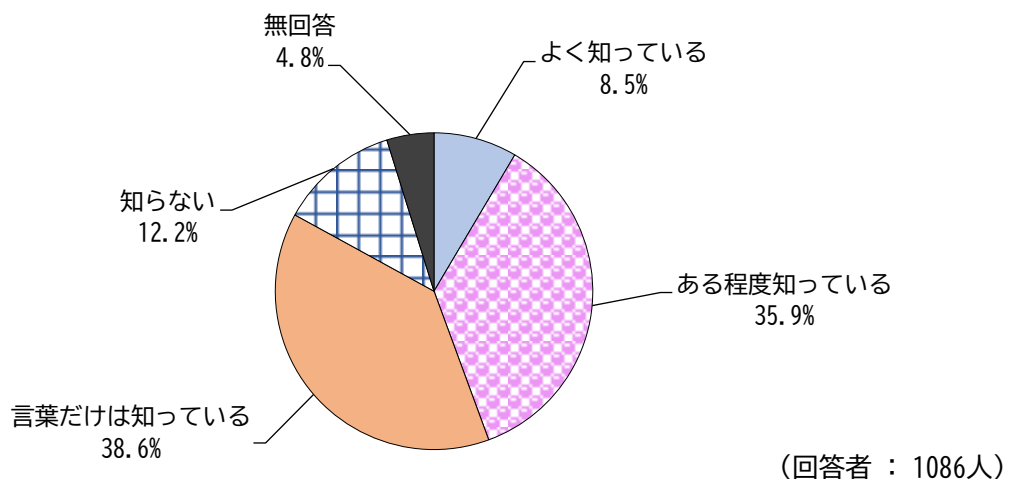
問67 あなたは人生の最後をどこで迎えたいですか。(〇は1つ)



人生の最期を迎えたい場所については、「自宅」が54.4%で最も多く、次いで「病院」(11.6%)となっています。

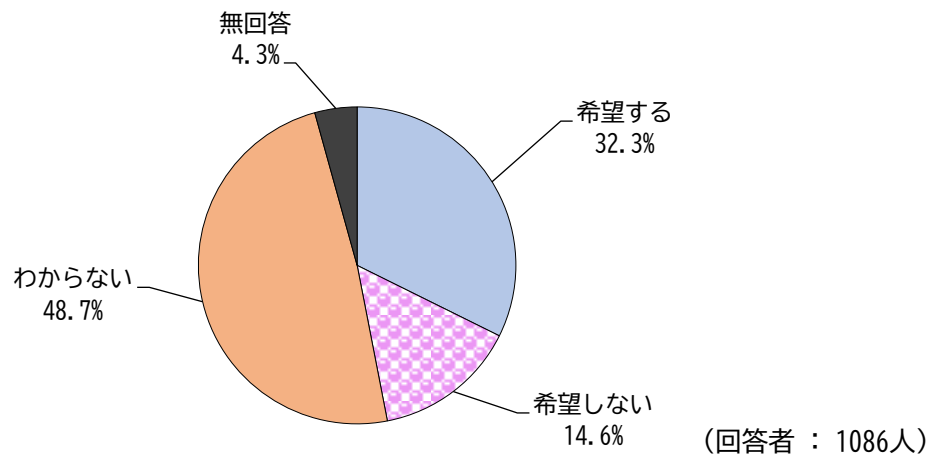
### (2) 在宅医療について

問68 医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、薬剤師などの訪問を受けながら継続的に自宅で治療・療養する医療のあり方を「在宅医療」といいますが、あなたはこの「在宅医療」を知っていますか。(〇は1つ)



在宅医療については、「言葉だけは知っている」が38.6%で最も多く、次いで「ある程度知っている」(35.9%)、「よく知っている」(8.5%)、「知らない」(12.2%)となっています。

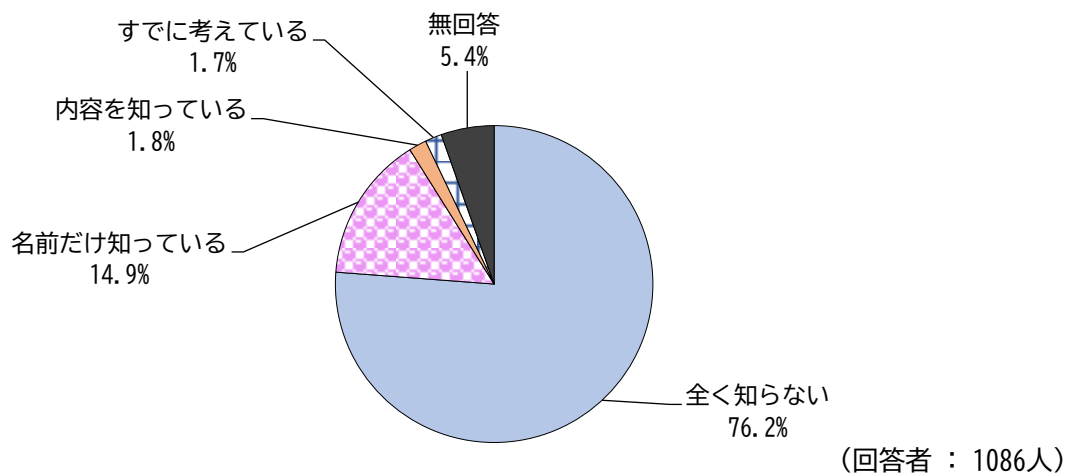
問69 あなたが、病気やけがなどで長期の治療・療養が必要になった場合、在宅医療を希望されますか。(○は1つ)



在宅医療を希望するかについては、「希望する」が32.3%で最も多く、次いで「希望しない」(14.6%)となっています。

### (3) 人生会議 (ACP) について

問70 もしもの時について前もって話し合う、ACP (人生会議) について知っていますか。(○は1つ)

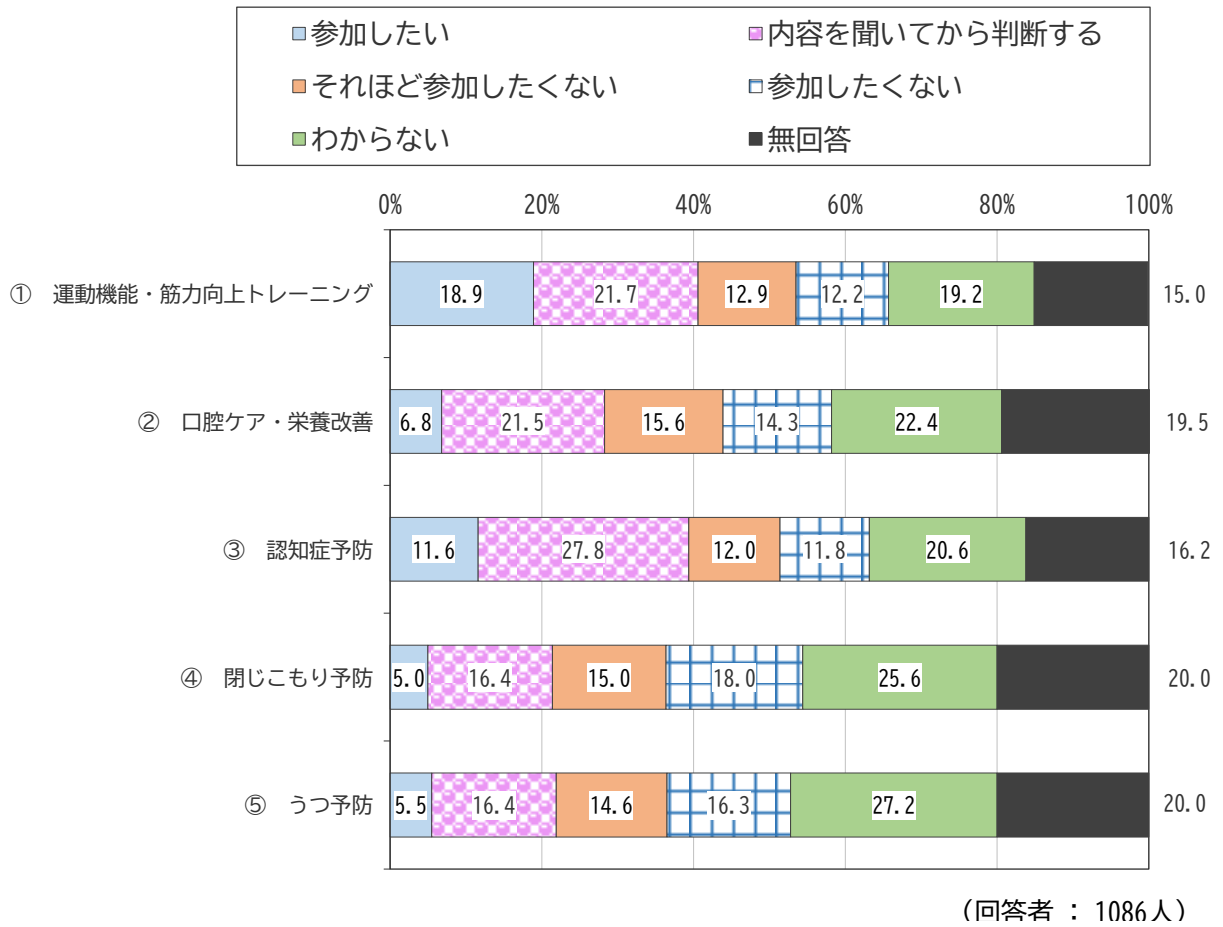


人生会議 (ACP) については、「全く知らない」が76.2%で最も多く、次いで「名前だけ知っている」(14.9%)、「内容を知っている」(1.8%)、「すでに考えている」(1.7%)となっています。

### 13 町施策について

#### (1) 参加したい介護予防事業

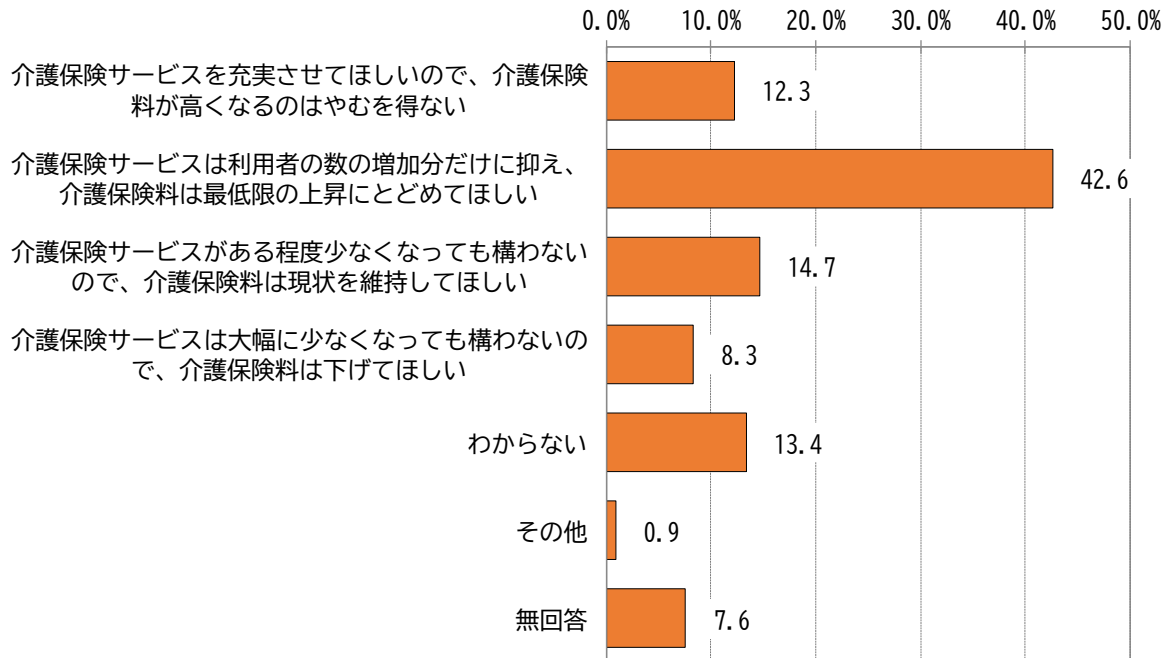
問71 以下のような介護予防事業に、参加したいと思いますか。（それぞれ○は1つ）



参加したい介護予防事業については、「①運動機能・筋力向上トレーニング」の参加意向が18.9%と最も高く、次いで「③認知症予防」（11.6%）となっています。

## (2) 介護保険サービスの費用負担について

問72 介護保険のサービスを利用する人の数や利用額が増えると保険料やサービス利用時の負担も増えることになります。  
 超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(〇は1つ)

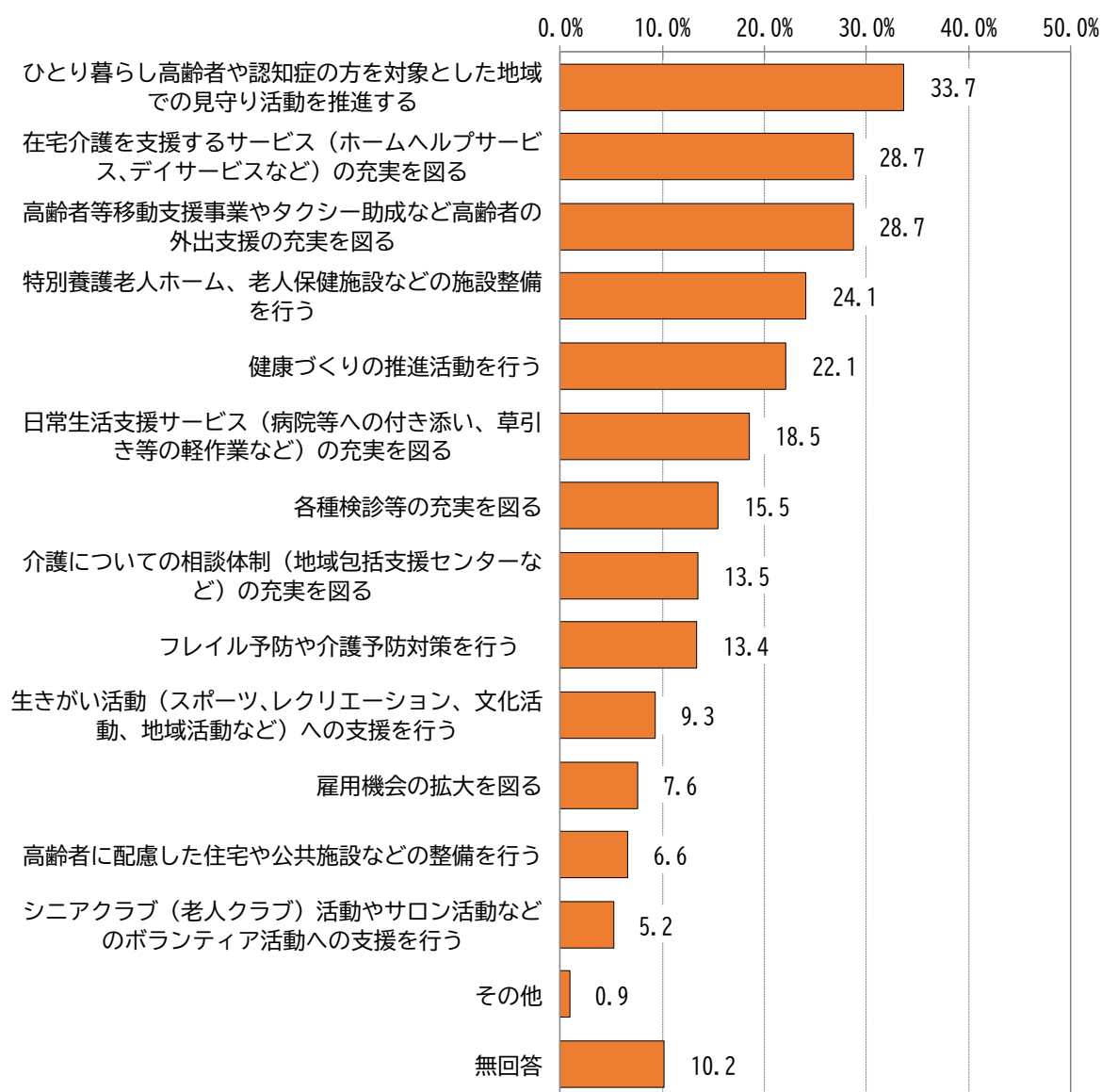


(回答者：1086人)

介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについては、「介護保険サービスは利用者の数の増加分だけに抑え、介護保険料は最低限の上昇にとどめてほしい」が42.6%と最も多く、次いで「介護保険サービスがある程度少なくなっても構わないので、介護保険料は現状を維持してほしい」(14.7%)、「介護保険サービスを充実させてほしいので、介護保険料が高くなるのはやむを得ない」(12.3%)と続いています。

### (3) 町がちからを入れるべきこと

問73 これからの高齢化社会に対応するため、町はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇は3つまで）



(回答者：1086人)

これからの高齢化社会に対応するため、町はどのようなことに力を入れるべきかは、「ひとり暮らし高齢者や認知症の方を対象とした地域での見守り活動を推進する」が33.7%と最も多く、次いで「在宅介護を支援するサービス（ホームヘルプサービス、デイサービスなど）の充実を図る」、「高齢者等移動支援事業やタクシー助成など高齢者の外出支援の充実を図る」（ともに28.7%）と続いています。

前回調査では、「福祉バスやタクシー助成など高齢者の外出支援を行う」が37.3%と最も多く、次いで「ひとり暮らし高齢者や認知症の方を対象とした地域での見守り活動を推進する」（32.8%）、「在宅介護を支援するサービス（ホームヘルプサービス、デイサービスなど）の充実を図る」（28.7%）という結果でした。



### Ⅲ 在宅介護実態調査



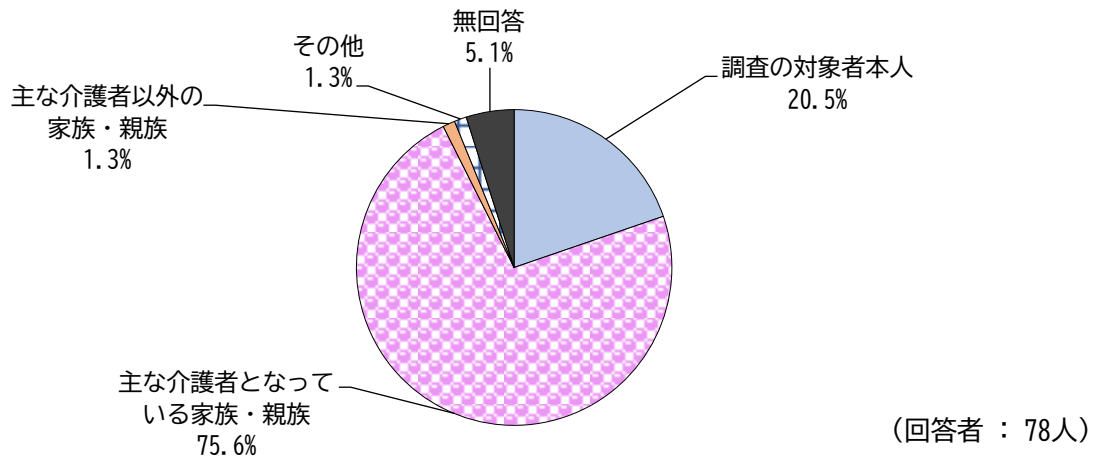


## Ⅲ 在宅介護実態調査

### 1 A票 調査対象者本人について

#### (1) 調査票記入者

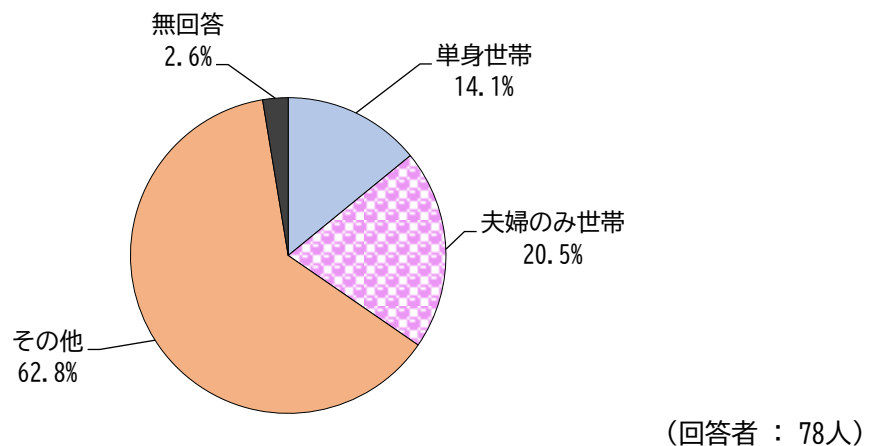
問1 現在、この調査票にご回答いただいている方は、どなたですか。(〇はいくつでも)



調査票の記入者は、「主な介護者となっている家族・親族」が75.6%、「調査の対象者本人」が20.5%、「主な介護者以外の家族・親族」が1.3%となっています。

#### (2) 世帯

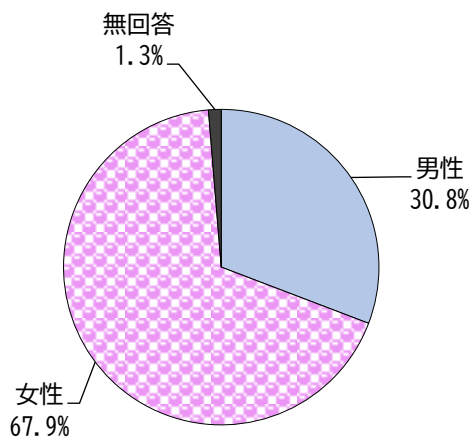
問2 世帯の類型について、ご回答ください。(〇は1つ)



世帯類型は、「単身世帯」が14.1%、「夫婦のみ世帯」が20.5%、「その他」が62.8%となっています。

### (3) 性別

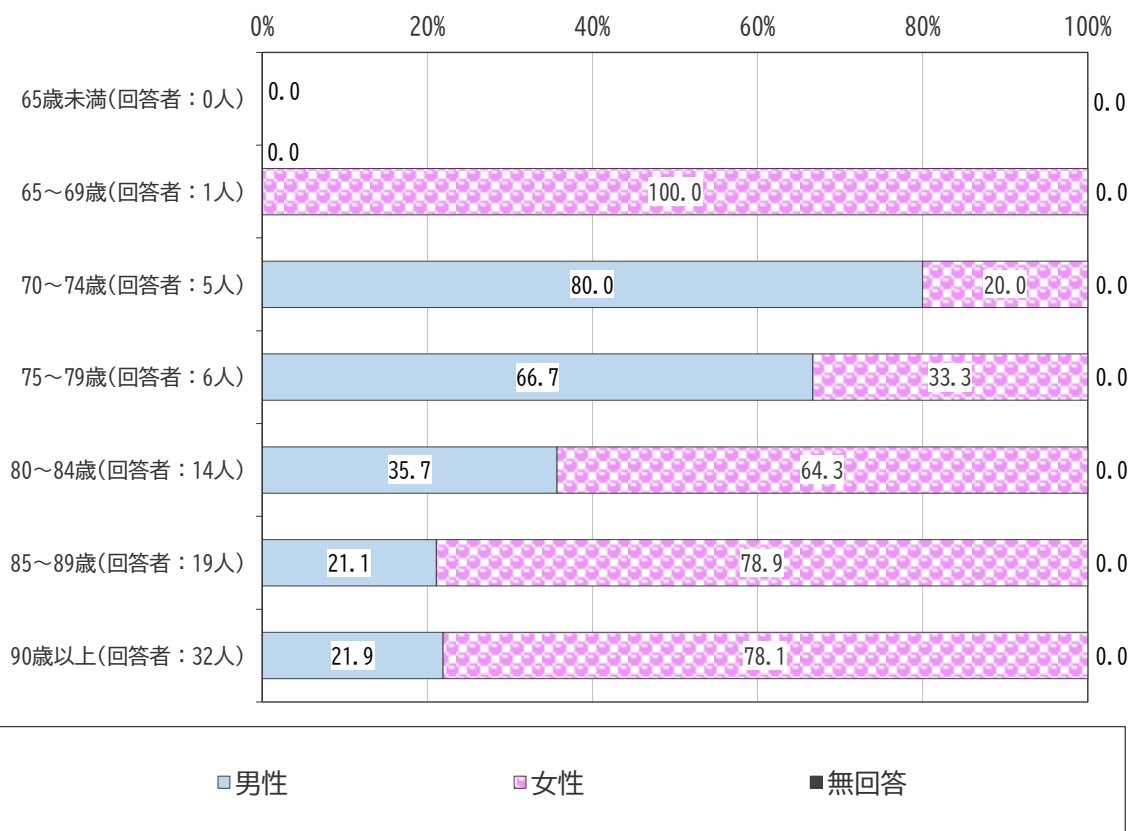
問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(〇は1つ)



(回答者：78人)

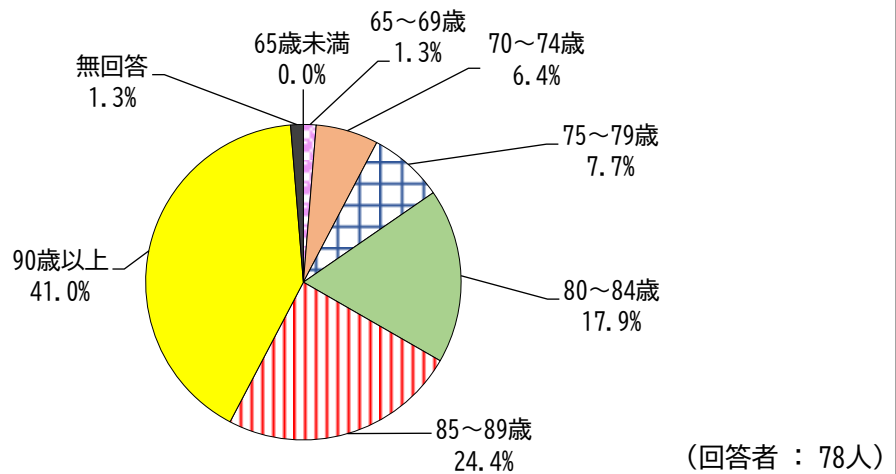
性別は、「男性」が30.8%、「女性」が67.9%となっています。

#### ●年齢別男女比



(4) 年齢

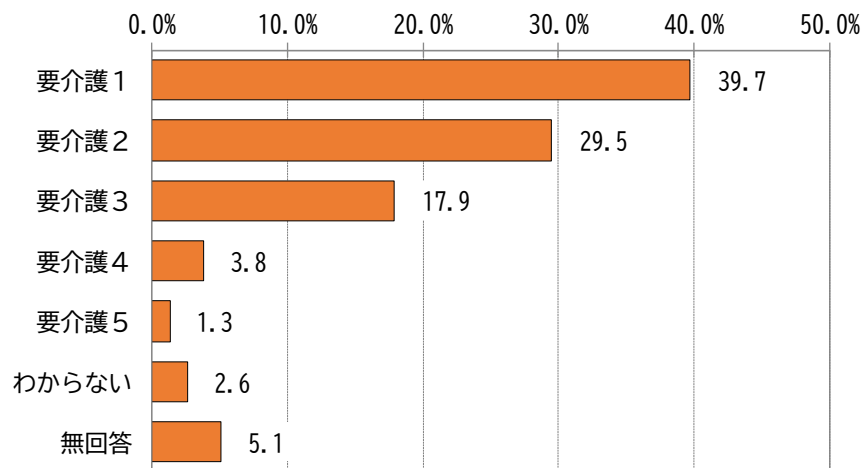
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)



年齢は、「90歳以上」が41.0%で最も多く、次いで「85~89歳」(24.4%)、「80~84歳」(17.9%)、「75~79歳」(7.7%)、「70~74歳」(6.4%)、「65~69歳」(1.3%)、「65歳未満」(0.0%)となっています。

(5) 要介護度

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)

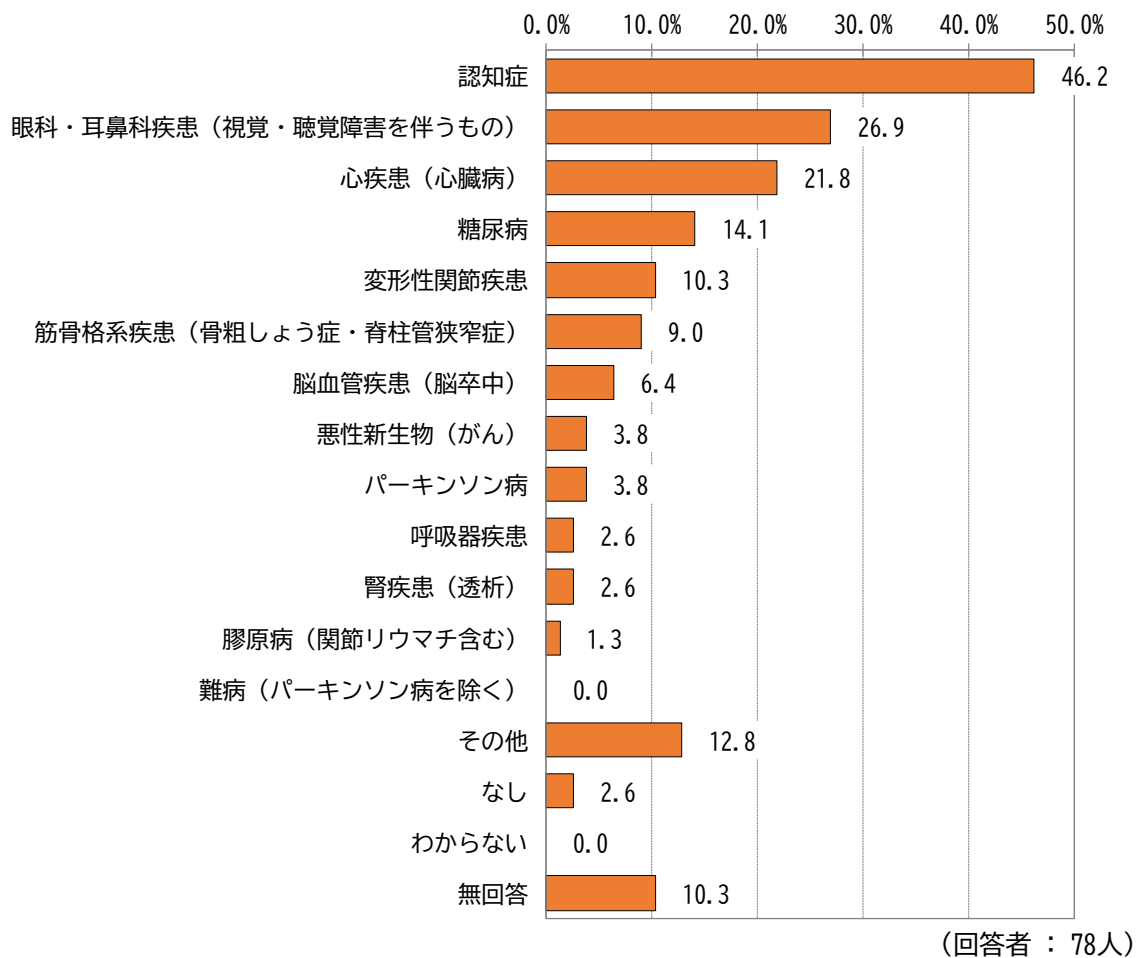


(回答者：78人)

要介護度は、「要介護1」が39.7%と最も多く、次いで、「要介護2」(29.5%)、「要介護3」(17.9%)、「要介護4」(3.8%)、「要介護5」(1.3%)となっています。

## (6) 現在抱えている傷病について

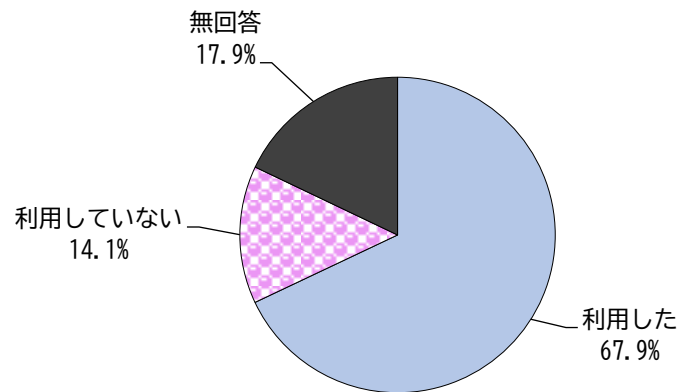
問6 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(〇はいくつでも)



現在抱えている傷病は、「認知症」が46.2%と最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（26.9%）、「心疾患（心臓病）」（21.8%）と続いています。前回調査では、「心疾患（心臓病）」が22.6%と最も多く、次いで「認知症」（16.8%）、「脳血管疾患（脳卒中）」（12.9%）と続いており、認知症が今回の調査では29.4ポイント増加しています。

## (7) 介護保険サービスを利用について

問7 令和4年11月の1ヶ月間に、介護保険サービス（住宅改修・福祉用具の貸与・購入以外）を利用されましたか。（○は1つ）

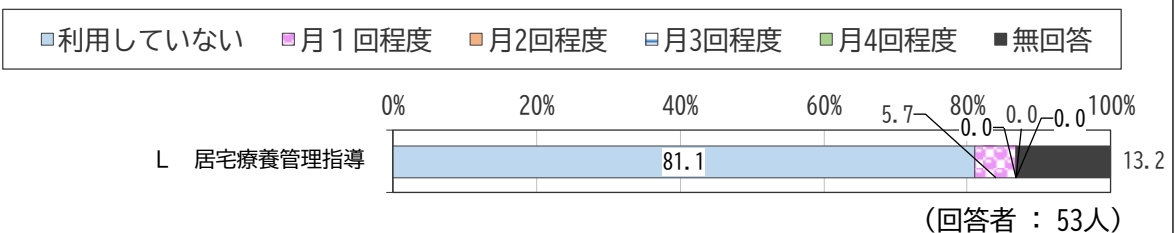
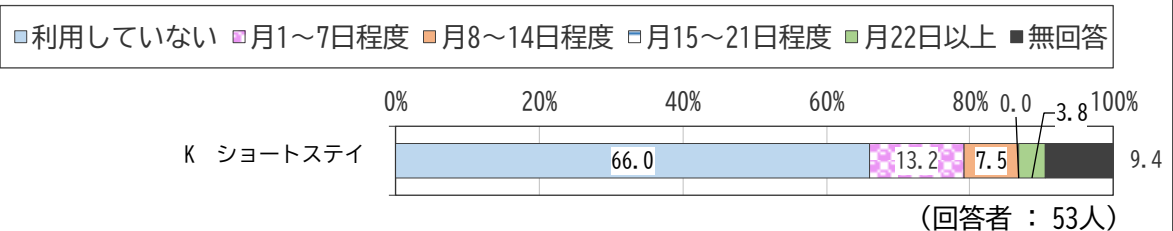
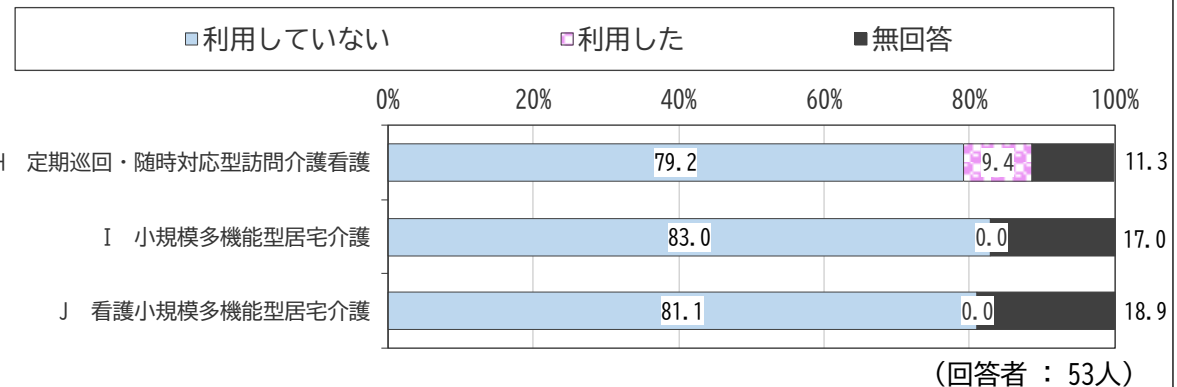
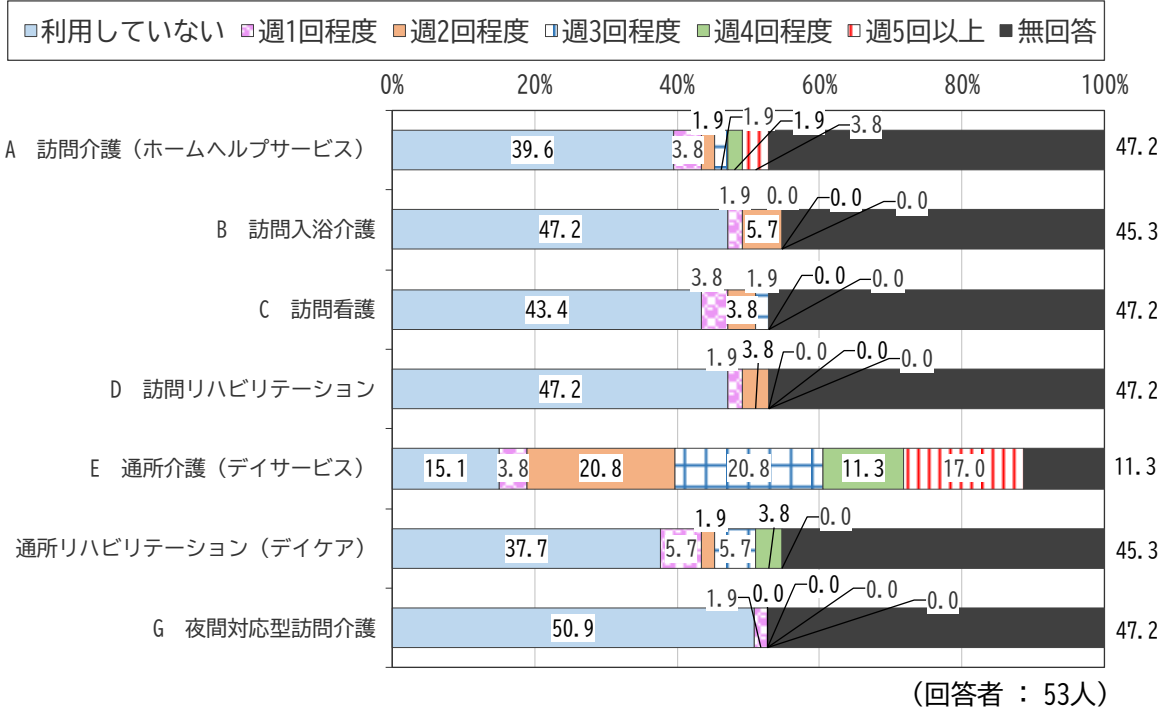


(回答者：78人)

令和4年11月の1ヶ月の間に、介護保険サービスを利用したかは、「利用した」が67.9%、「利用していない」が14.1%となっています。

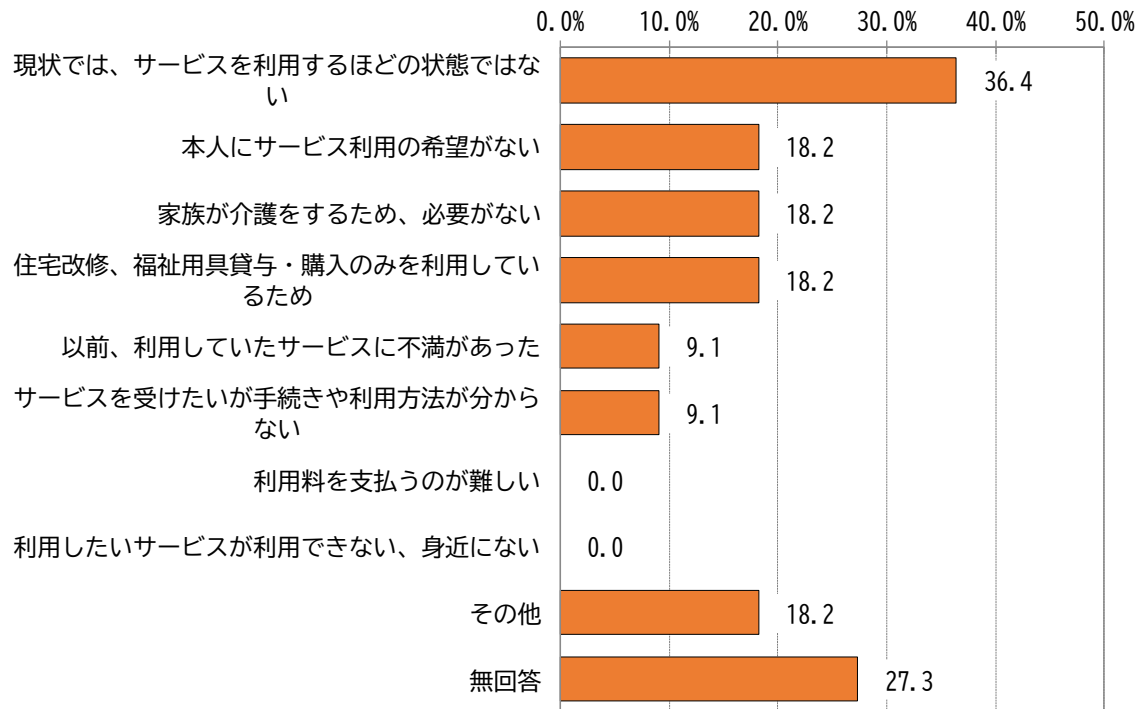
(8) 介護保険サービスを利用状況について

問8-1 問7で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。次の介護保険サービスについて、直近の1ヶ月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。(それぞれ1つに○)



## (9) 介護保険サービスを利用していない理由

問8-2 問7で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

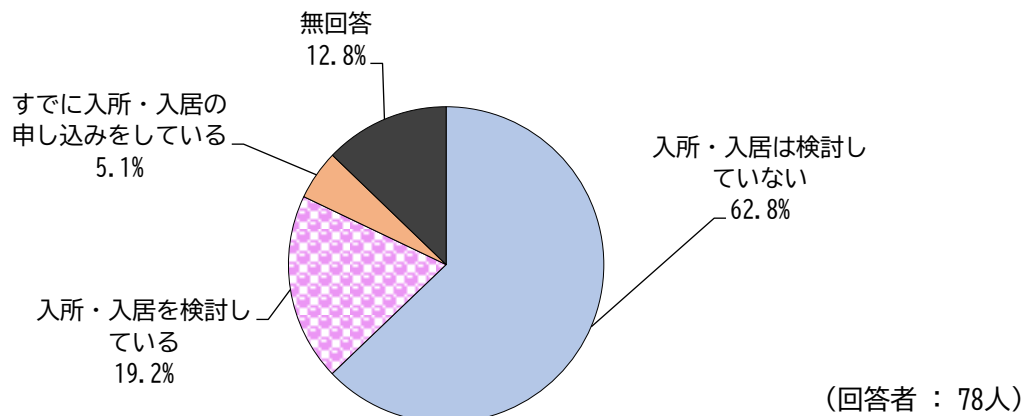


(回答者：11人)

問7で「2. 利用していない」と回答した11人に、介護保険サービスを利用していない理由を尋ねると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が36.4%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため、必要がない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用しているため」（ともに18.2%）と続いています。

### (10) 施設等への入所・入居の検討状況

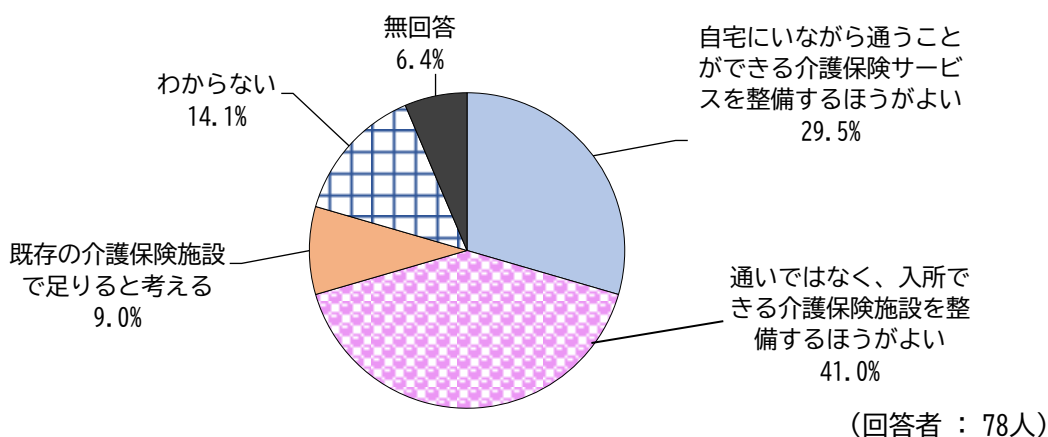
問9 現時点での施設等への入所・入居の検討をしていますか。(○は1つ)



施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が62.8%と最も多く、次いで「入所・入居を検討している」(19.2%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(5.1%)となっています。

### (11) 施設整備のあり方について

問10 超高齢者社会を迎え、介護保険サービスを利用する人の数も増えていくものと思われますが、施設整備のあり方について、あなたのお考えに最も近いものは次のうちどれですか。(○は1つ)

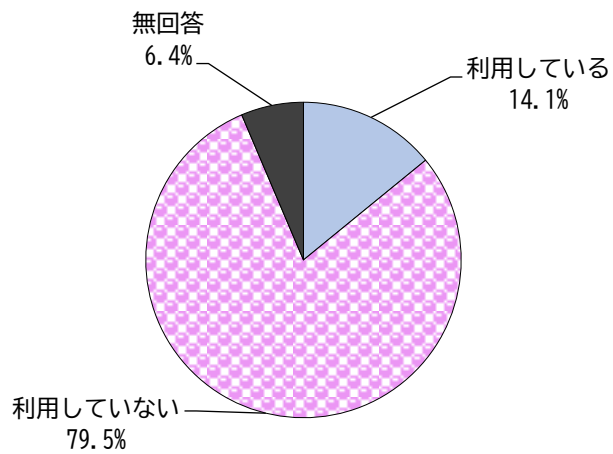


施設整備のあり方についての考え方は、「通いではなく、入所できる介護保険施設を整備するほうがよい」が41.0%と最も多く、次いで「自宅にいながら通うことができる介護保険サービスを整備するほうがよい」(29.5%)、「既存の介護保険施設で足りると考える」(9.0%)となっています。



## (12) 訪問診療について

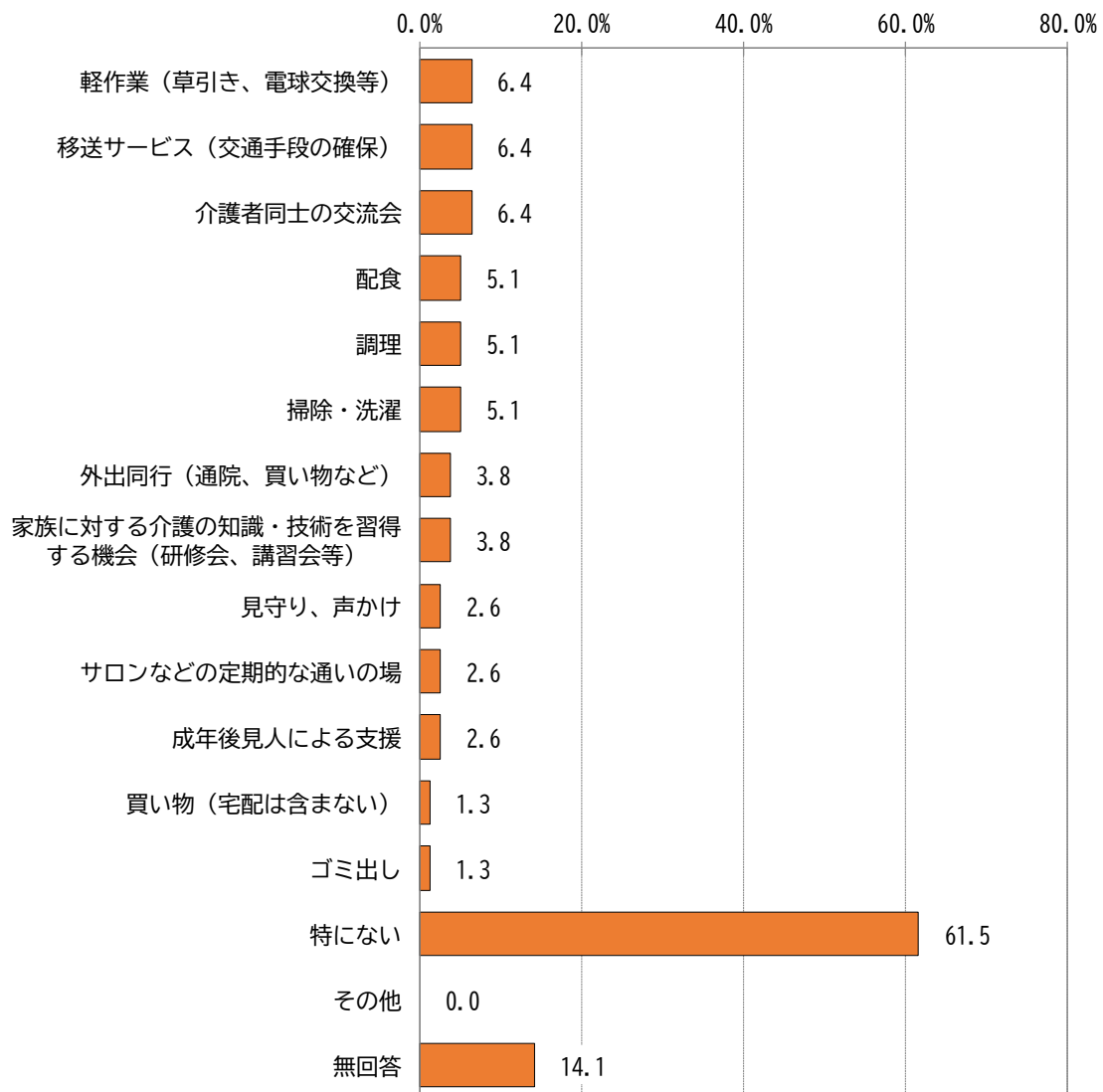
問11 現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)



現在、訪問診療を利用しているかは、14.1%が「利用している」と回答しています。

(13) 「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて

問12 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)

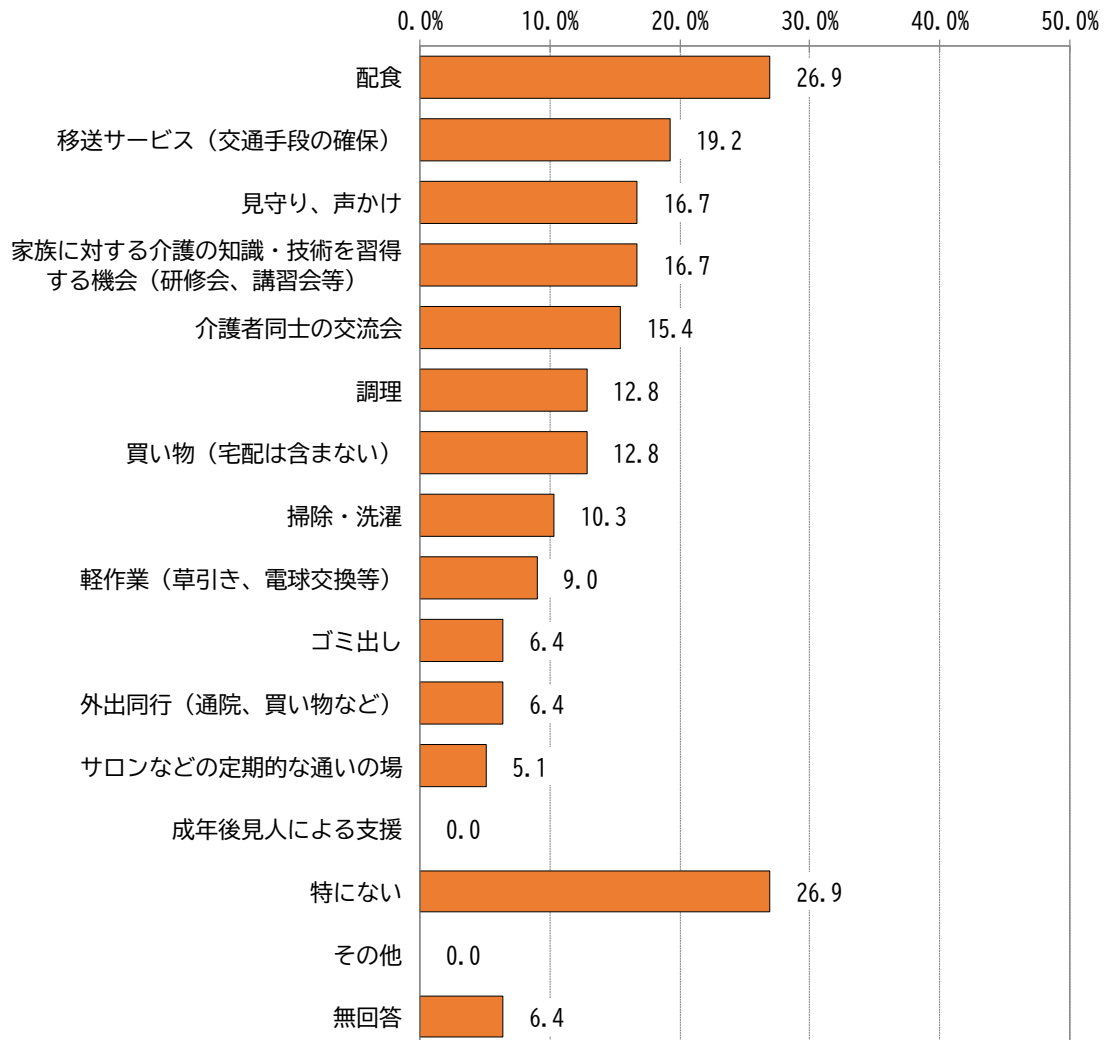


(回答者 : 78人)

現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「軽作業 (草引き、電球交換等)」、「移送サービス (交通手段の確保)」、「介護者同士の交流会」が三つとも6.4%で最も多く、次いで「配食」、「調理」、「掃除・洗濯」(三つとも5.1%)と続いています。また、61.5%は「利用していない」と回答しています。

## (14) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて

問13 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇は3つまで）



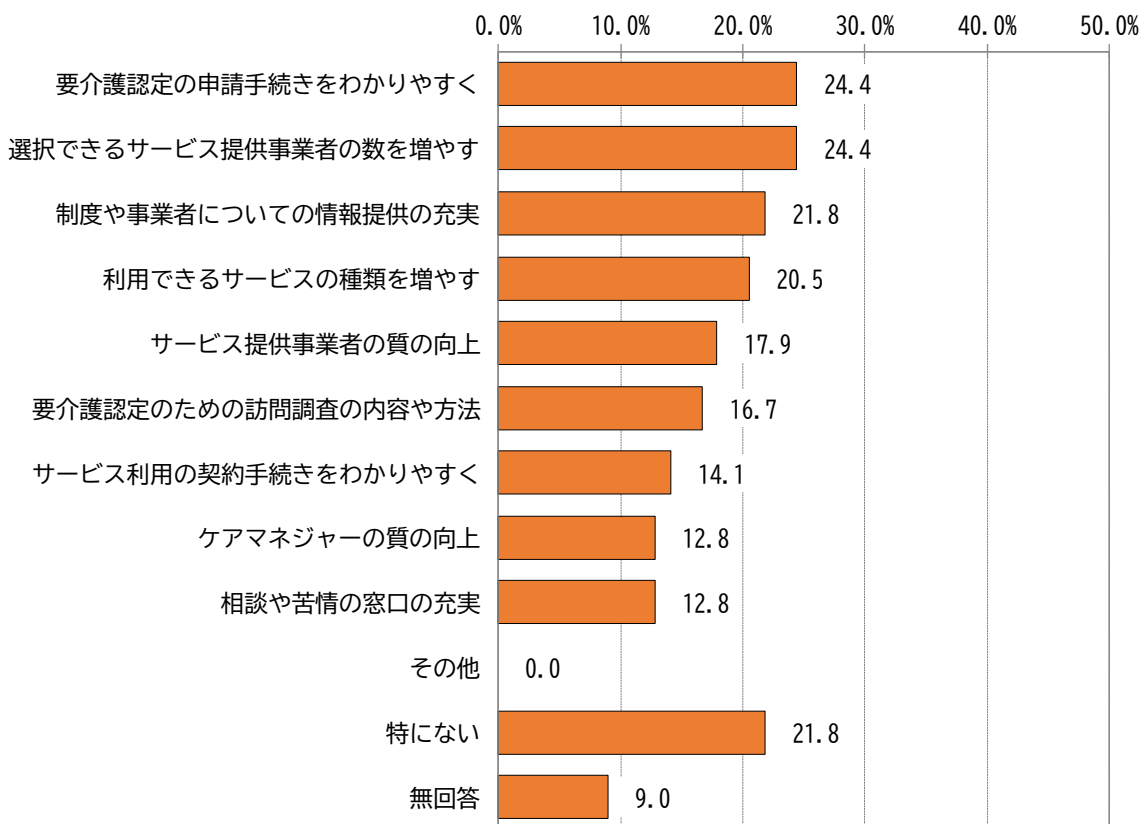
（回答者：78人）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は、「配食」が26.9%で最も多く、次いで「移送サービス（交通手段の確保）」（19.2%）、「見守り、声かけ」、「家族に対する介護の知識・技術を習得する機会（研修会、講習会等）」（ともに16.7%）と続いています。

前回調査では選択肢に変更があるものの、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」がともに14.2%で最も多く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」（ともに10.3%）という結果でした。

(15) 今後改善してほしい支援・サービスについて

問14 介護保険サービスの利用や申請手続きに関して、今後どのようなことを改善して欲しいと思いますか。（○は3つまで）

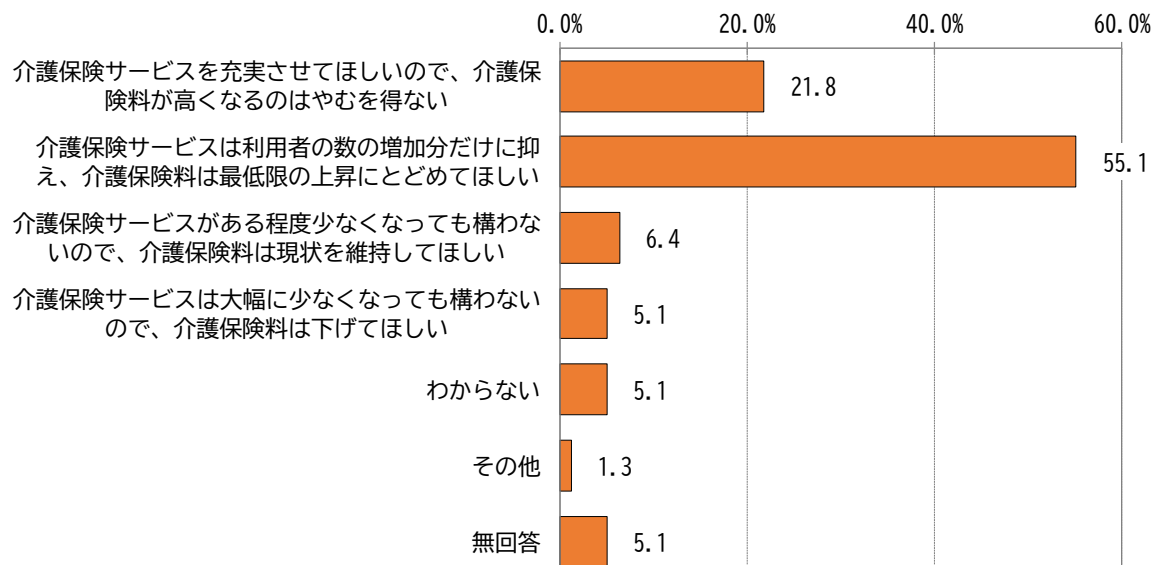


(回答者：78人)

今後改善してほしい支援・サービスは、「要介護認定の申請手続きをわかりやすく」、「選択できるサービス提供事業者の数を増やす」がともに24.4%で最も多く、次いで「制度や事業者についての情報提供の充実」（21.8%）と続いています。

## (16) 介護保険料について

問15 介護保険のサービスを利用する人の数や利用額が増えると保険料やサービス利用時の負担も増えることとなります。超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(〇は1つ)

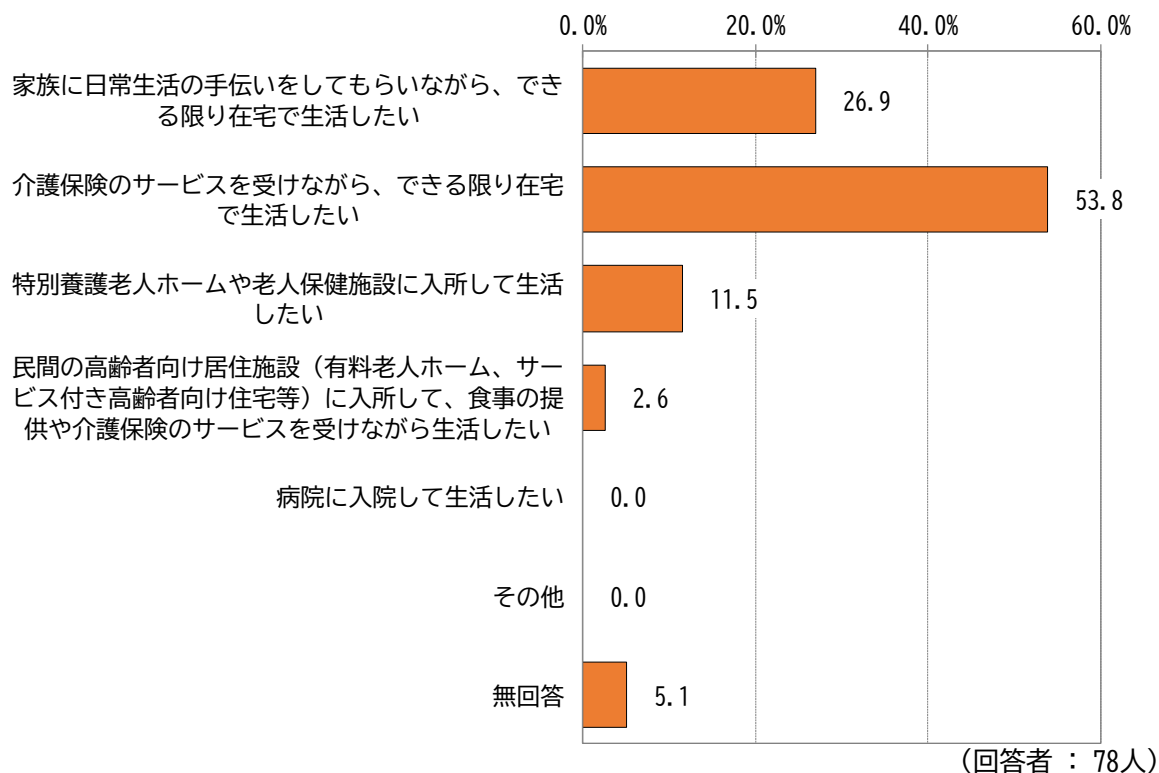


(回答者：78人)

介護サービスの充実と保険料について、どのように考えるかは、「介護保険サービスは利用者の数の増加分だけに抑え、介護保険料は最低限の上昇にとどめてほしい」が55.1%で最も多く、次いで「介護保険サービスを充実させてほしいので、介護保険料が高くなるのはやむを得ない」(21.8%)、「介護保険サービスがある程度少なくなっても構わないので、介護保険料は現状を維持してほしい」(6.4%)となっています。

(17) これからの生活について

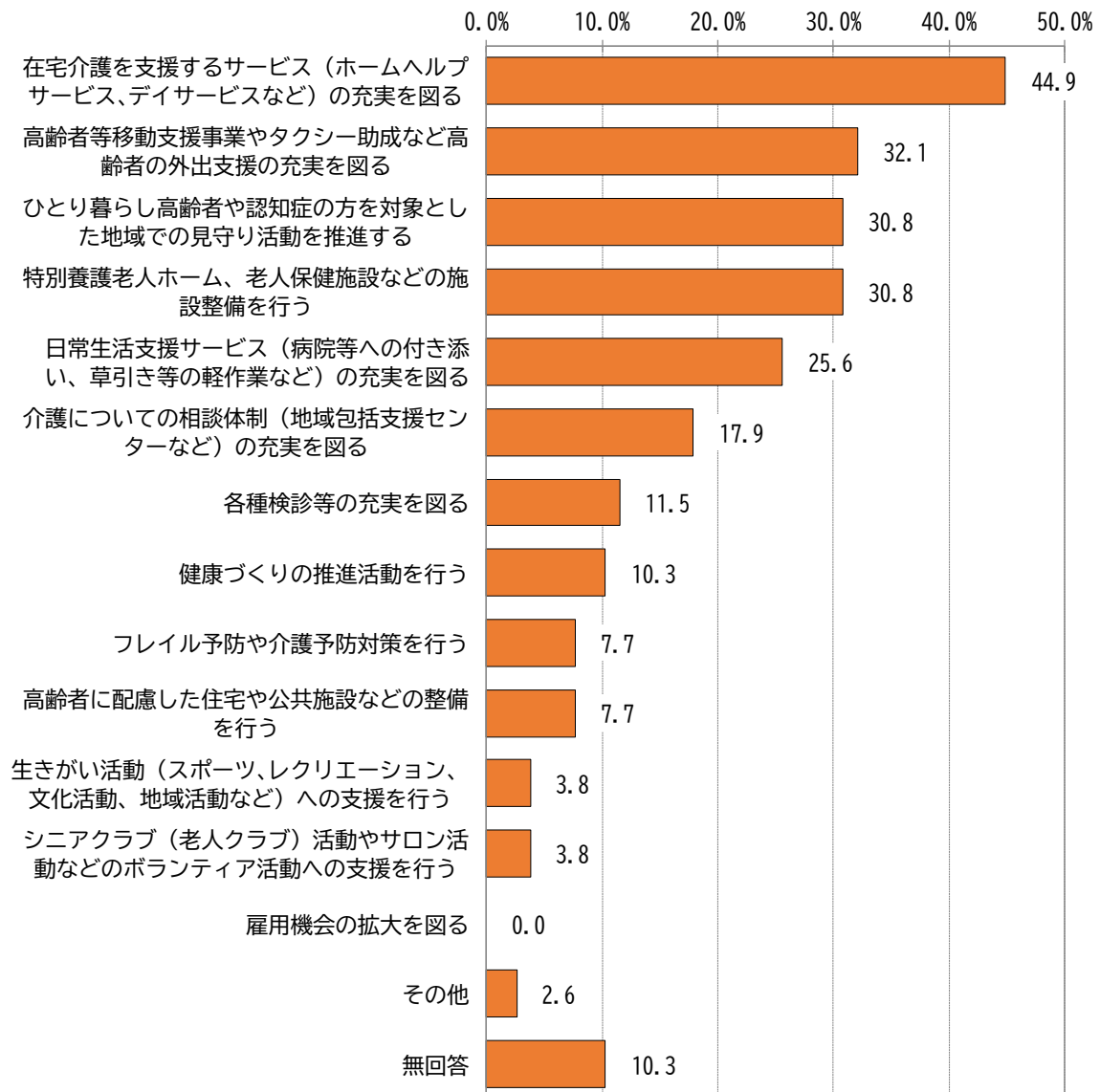
問16 これからの生活をどこでどのように送りたいとお考えですか。(○は1つ)



これからの生活をどこでどのように送りたいかは、「介護保険のサービスを受けながら、できる限り在宅で生活したい」が53.8%で圧倒的に多くなっている。その他「家族に日常生活の手伝いをしてもらいながら、できる限り在宅で生活したい」（26.9%）、「特別養護老人ホームや老人保健施設に入所して生活したい」（11.5%）、「民間の高齢者向け居住施設（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等）に入所して、食事の提供や介護保険のサービスを受けながら生活したい」（2.6%）となっています。

## (18) 町がちからを入れるべきこと

問17 これからの高齢化社会に対応するため、町はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）



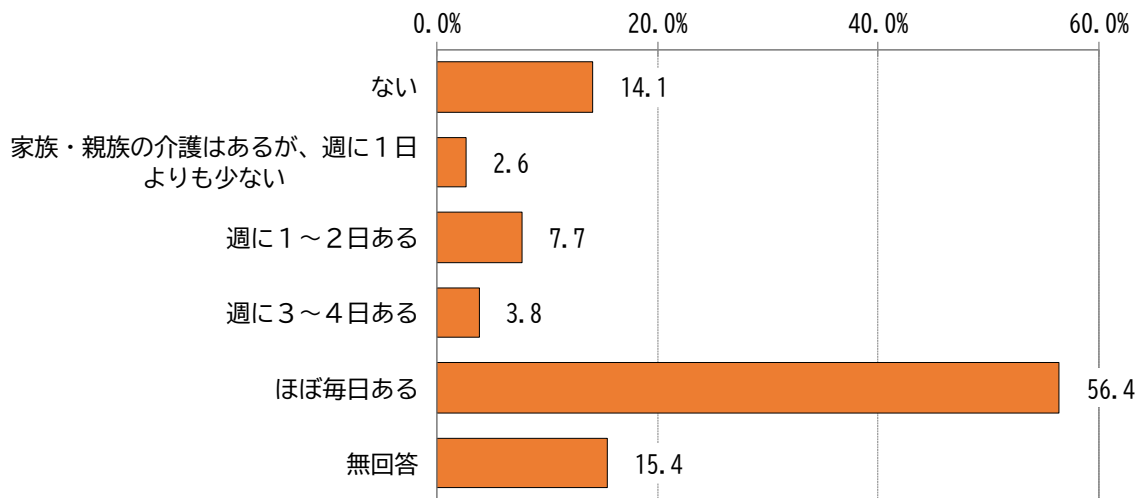
（回答者：78人）

これからの高齢化社会に対応するため、町はどのようなことに力を入れるべきかは、「在宅介護を支援するサービス（ホームヘルプサービス、デイサービスなど）の充実を図る」が44.9%と最も多く、次いで「高齢者等移動支援事業やタクシー助成など高齢者の外出支援の充実を図る」（32.1%）、「ひとり暮らし高齢者や認知症の方を対象とした地域での見守り活動を推進する」、「特別養護老人ホーム、老人保健施設などの施設整備を行う」（ともに30.8%）と続いています。

前回調査では、「在宅介護を支援するサービス（ホームヘルプサービス、デイサービスなど）の充実を図る」が38.7%と最も多く、次いで「ひとり暮らし高齢者や認知症の方を対象とした地域での見守り活動を推進する」（30.3%）、「福祉バスやタクシー助成など高齢者の外出支援を行う」（23.9%）という結果でした。

(19) ご家族やご親族の方からの介護について

問18 家族や親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。同居していない子どもや親族等からの介護を含みます。(〇は1つ)



(回答者：78人)

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいあるかは、「ほぼ毎日ある」が56.4%となっている。その他「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」(2.6%)、「週に1～2日ある」(7.7%)、「週に3～4日ある」(3.8%)となっており、8割以上が家族や親族からの介護を受けています。

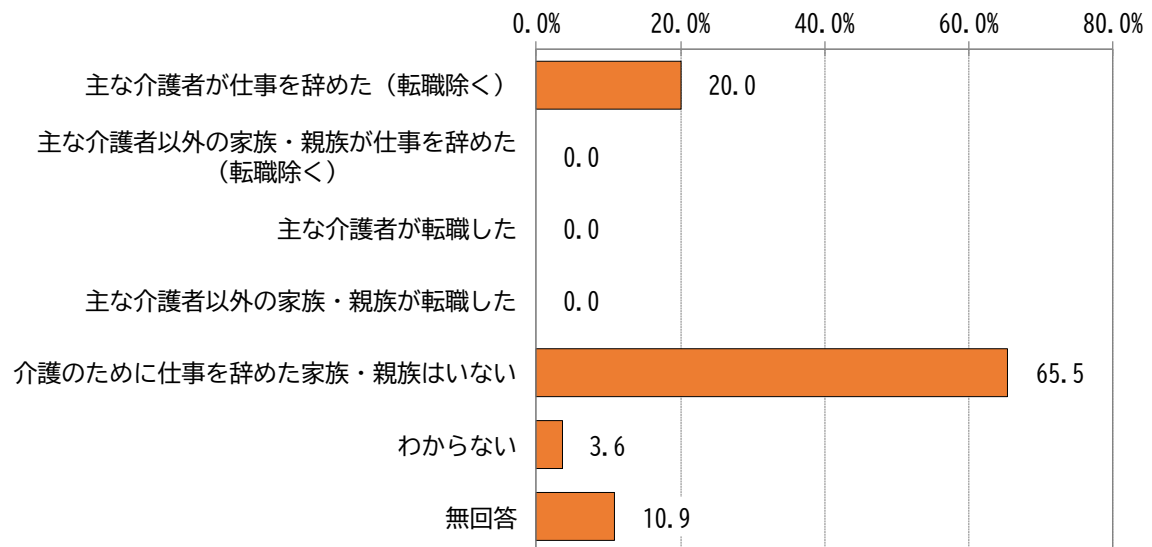
また、14.1%が「ない」と回答しています。



## 2 主な介護者について

### (1) 介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるか

問19 家族や親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。現在働いているかどうかや、勤務形態は問いません。（〇はいくつでも）



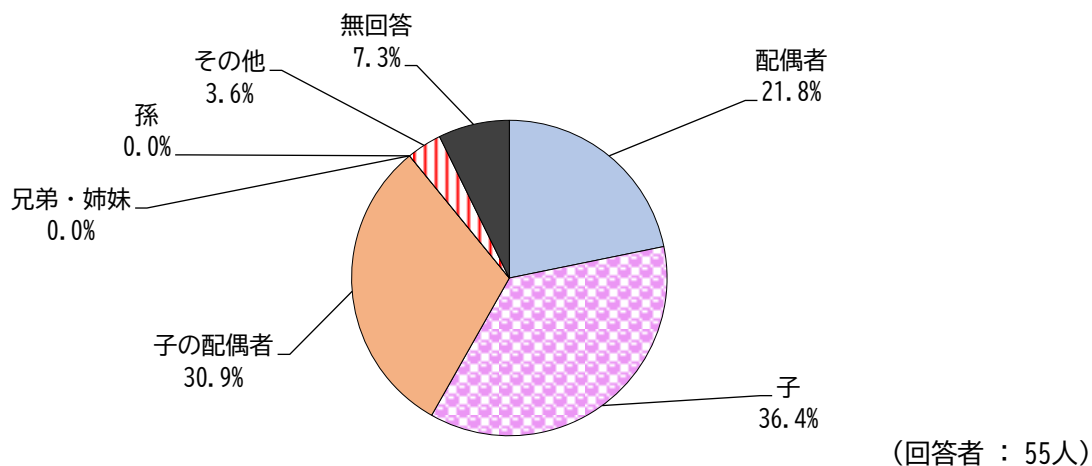
(回答者：55人)

家族や親族の中で、介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかは、65.5%が「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答しています。

その他「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（20.0%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」、「主な介護者が転職した」（ともに0.0%）となっています。

## (2) 主な介護者

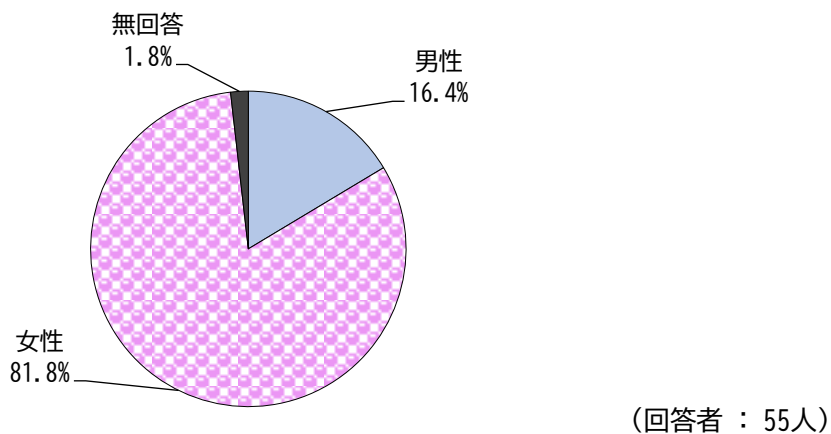
問20 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つ）



主な介護者は、「子」が36.4%と最も多く、次いで「子の配偶者」（30.9%）、「配偶者」（21.8%）、「孫」、「兄弟・姉妹」（ともに0.0%）となっています。

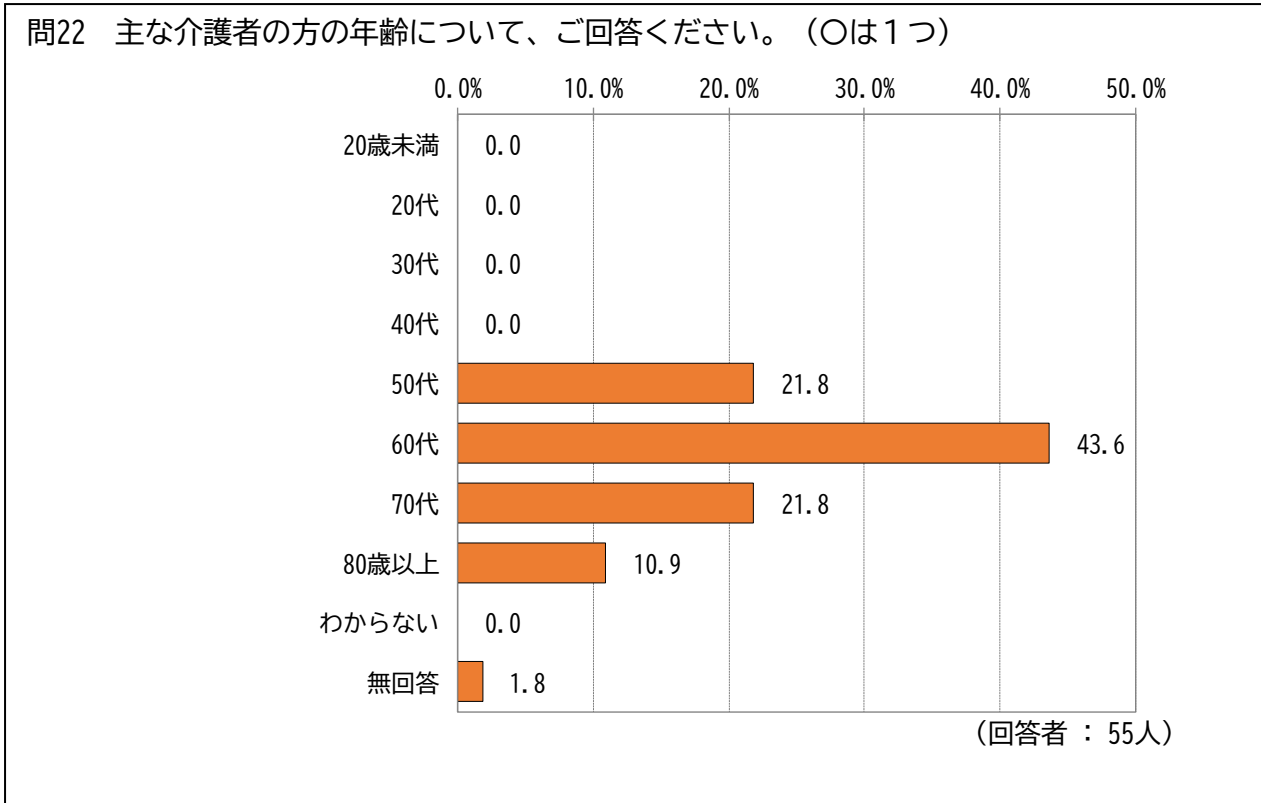
## (3) 主な介護者の性別

問21 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（○は1つ）



主な介護者の性別は、「男性」が16.4%、「女性」が81.8%となっています。

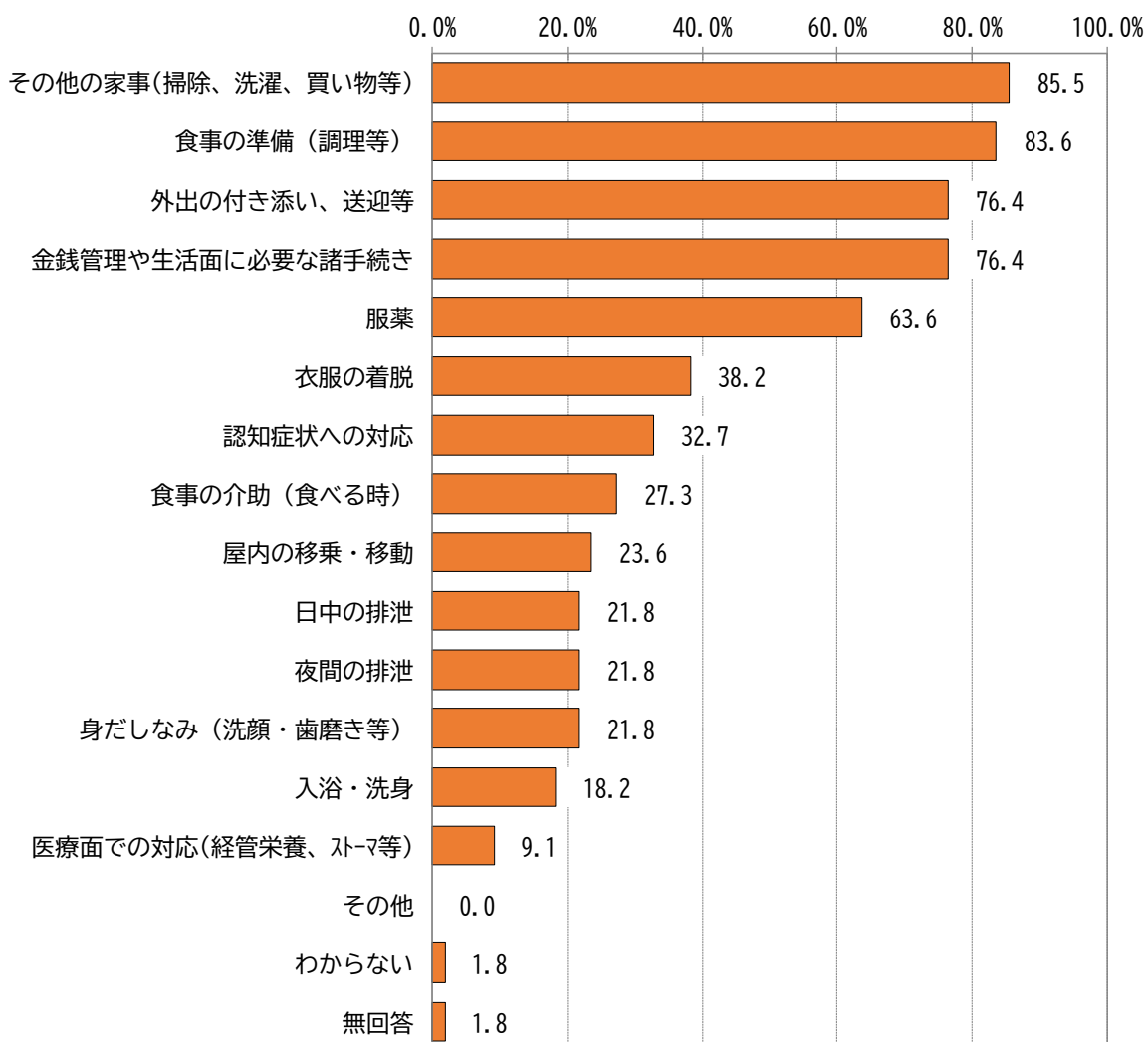
## (4) 主な介護者の年齢



主な介護者の年齢は、「60代」が43.6%で最も多く、次いで「50代」、「70代」（ともに21.8%）と続いています。

(5) 主な介護者の方が行っている介護等について

問23 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

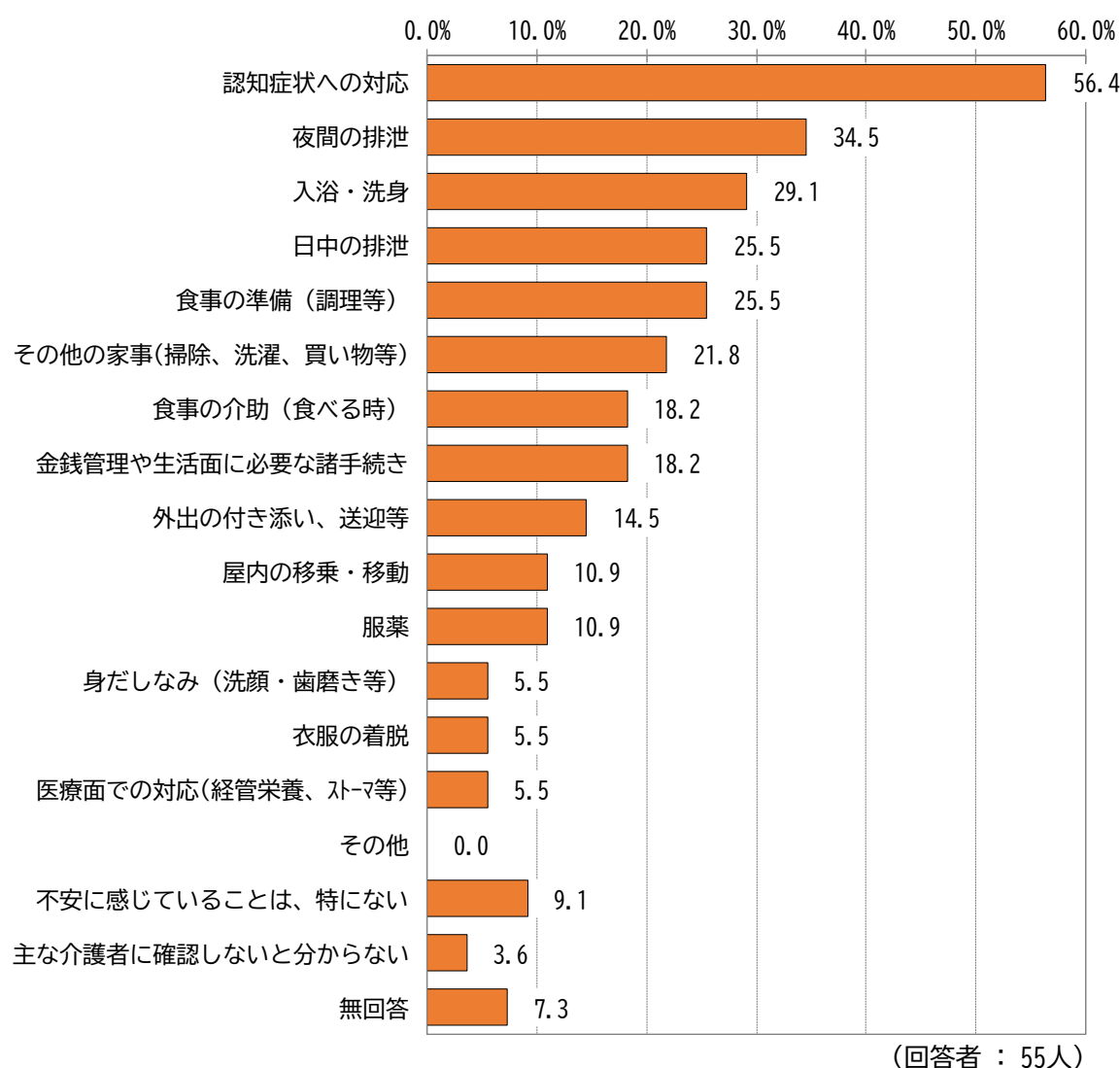


(回答者：55人)

主な介護者が行っている介護等の内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が85.5%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」（83.6%）、「外出の付き添い、送迎等」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（76.4%）と続いています。

## (6) 主な介護者の方が不安に感じる介護等について

問24 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。現状で行っているか否かは問いません。（○は3つまで）



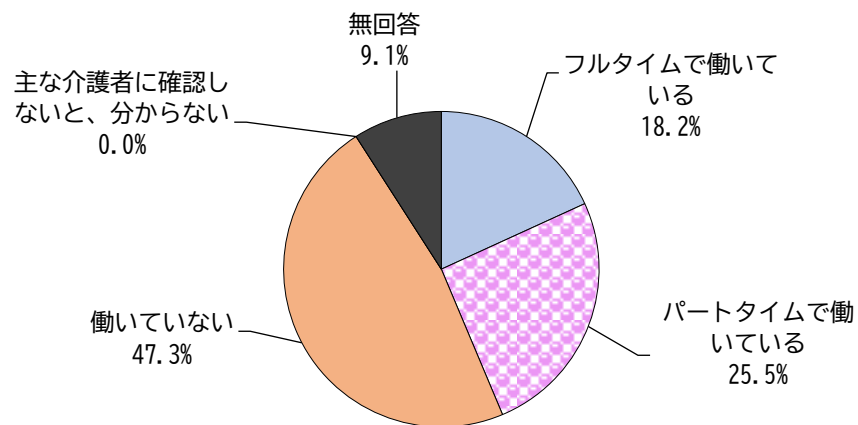
主な介護者が不安に感じる介護等の内容は、「認知症状への対応」が56.4%で最も多く、次いで「夜間の排泄」（34.5%）「入浴・洗身」（29.1%）と続いています。

また、9.1%は「不安に感じていることは、特にない」と回答しています。

前回調査では、「日中の排泄」が16.9%で最も多く、次いで「夜間の排泄」（15.4%）「食事の準備（調理等）」（13.8%）という結果でした。また、「認知症状への対応」が12.3%となっており、44.1ポイント増加しています。

### (7) 主な介護者の方の現在の勤務形態について

問25 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)



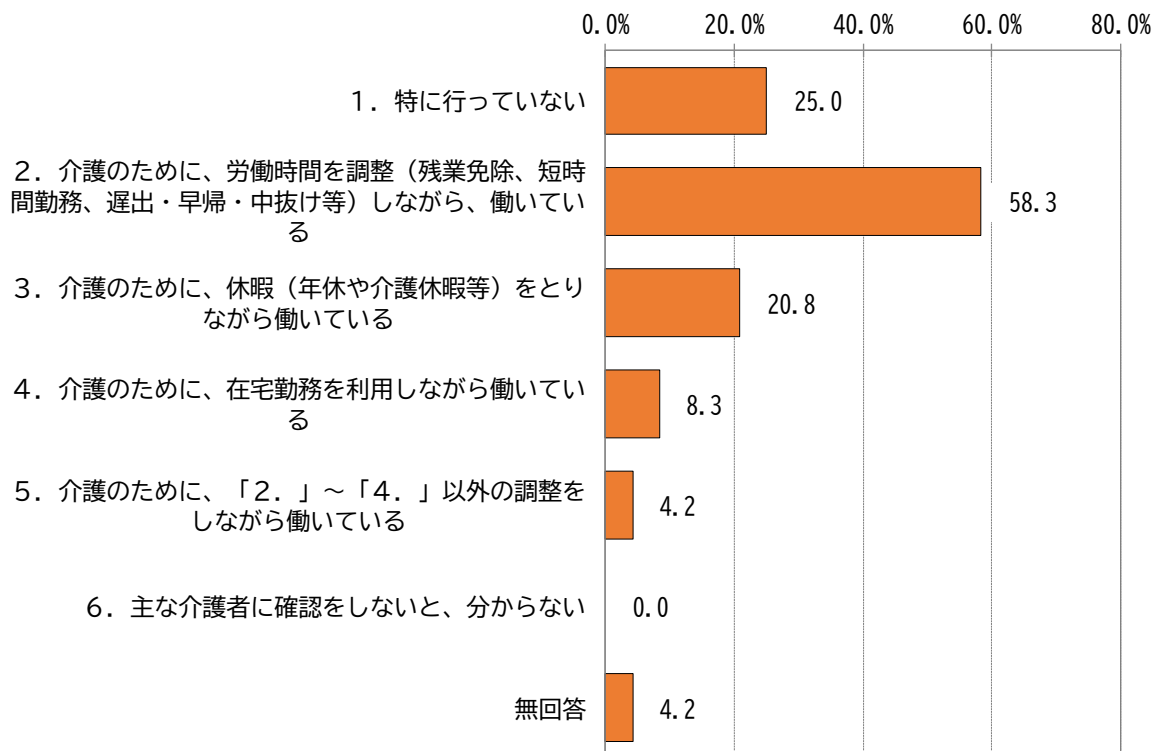
(回答者：55人)

主な介護者の現在の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が18.2%、「パートタイムで働いている」が25.5%となっています。

また、47.3%が「働いていない」と回答しています。

## (8) 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしたか

問26 問24で「1. フルタイムで働いている。」「2. パートタイムで働いている。」と回答された方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（〇はいくつでも）



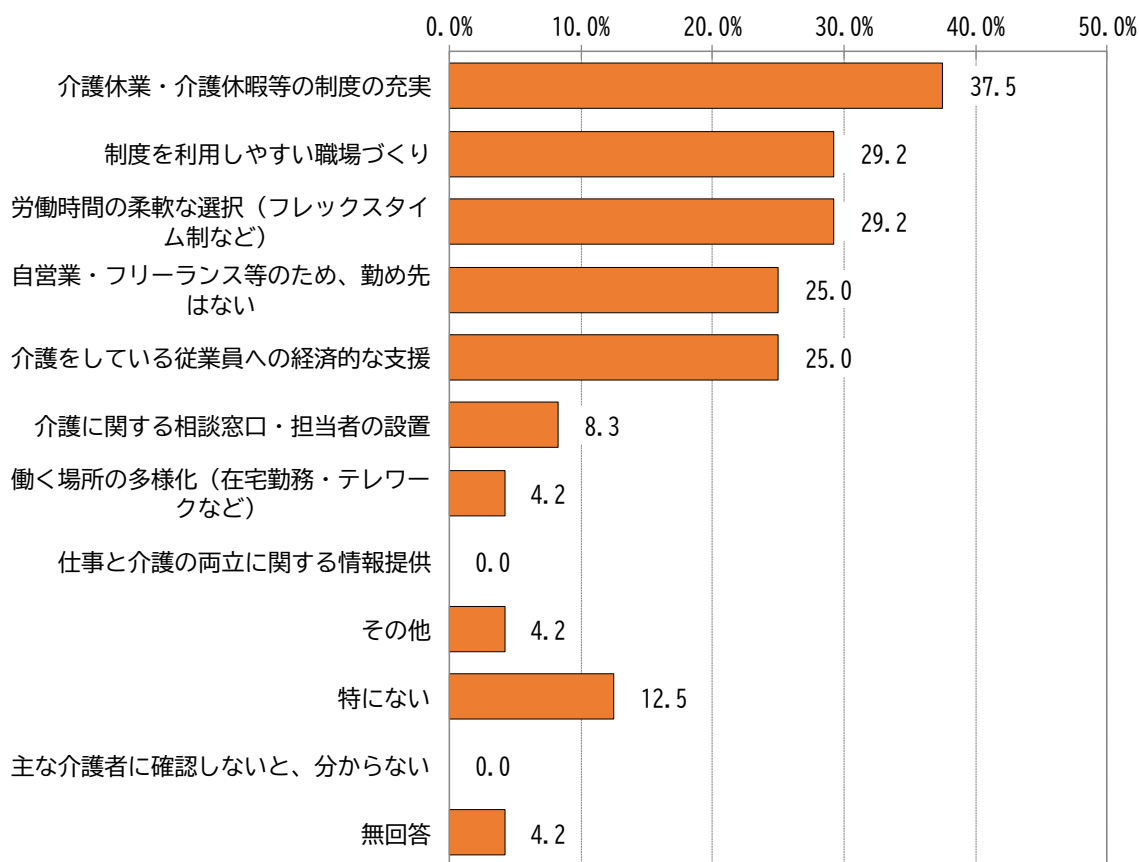
(回答者：24人)

問24で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した72人に介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしたか尋ねると、「2. 介護のために、労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」が58.3%と最も多く、次いで「3. 介護のために、休暇（年休や介護休暇等）をとりながら、働いている」（20.8%）、「4. 介護のために、在宅勤務を利用しながら、働いている」（8.3%）、「5. 介護のために、「2.」～「4.」以外の調整をしながら、働いている」（4.2%）となっています。

また、25.0%が「1. 特に行っていない」と回答しています。

### (9) 仕事と介護の両立に効果がある支援について

問27 問24で「1. フルタイムで働いている。」「2. パートタイムで働いている。」と回答された方にお伺いします。問26 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護を両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)



(回答者：24人)

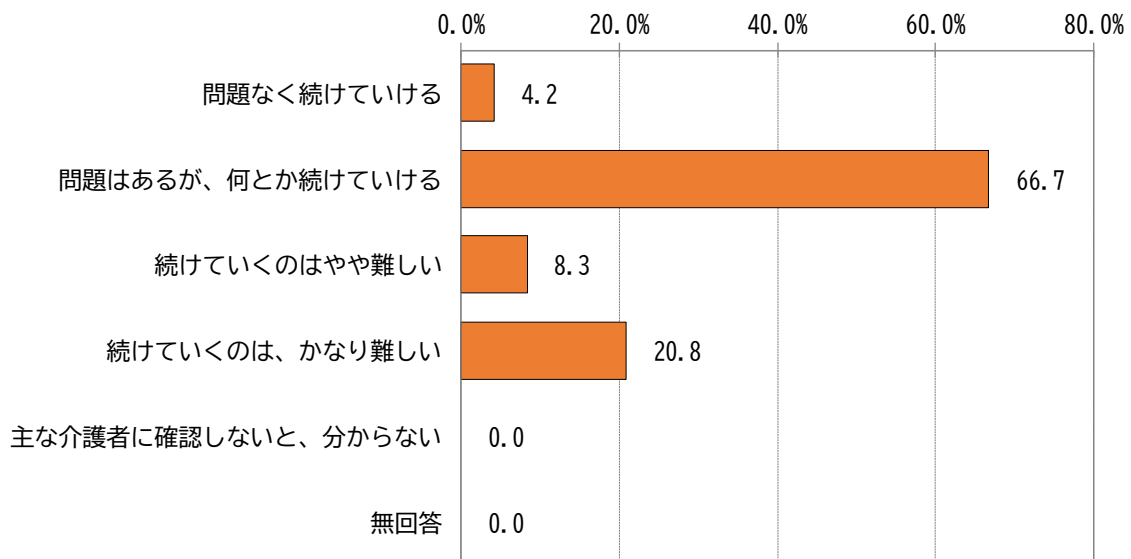
問24で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した24人に、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか尋ねると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が37.5%と最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)」(ともに29.2%)と続いています。

また、12.5%は「特にない」と回答しています。



## (10) 今後も働きながら介護を続けていけそうか

問28 問24で「1. フルタイムで働いている。」「2. パートタイムで働いている。」と回答された方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○は1つ）



(回答者：24人)

問24で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した24人に、今後も働きながら介護を続けていけそうか尋ねると、「問題なく、続けていける」（4.2%）、「問題はあるが、何とか続けていける」（66.7%）を合わせると70.9%は続けていけると回答しています。

また、「続けていくのは、やや難しい」（8.3%）、「続けていくのは、かなり難しい」（20.8%）を合わせると29.1%は続けていくのは難しいと回答しています。

前回調査では、「問題なく、続けていける」（30.6%）、「問題はあるが、何とか続けていける」（54.2%）を合わせると84.8%は続けていけると回答しており、14.9ポイント減少しています。



富加町  
高齢者福祉に関するアンケート調査・  
在宅介護実態調査

調査結果報告書

---

令和5年3月

発行：富加町

企画・編集：福祉保健課

---